

史跡最寄貝塚ガイダンス施設新築工事

平成22年度


網走市



一級建築士事務所 株式会社

歴史環境計画研究所

Historic Environment Planner's and Architect's Studio

図面リスト									
図面番号	図面名	縮尺	図面番号	図面名	縮尺	図面番号	図面名	縮尺	
-	表紙	-	62/A	各部詳細図（8）	1/5	01/S	構造関係特記仕様書（1）	-	
0/A	図面リスト	-	63/A	各部詳細図（9）	1/5	02/S	構造関係特記仕様書（2）	-	
1/A	特記仕様書 1	-	64/A	各部詳細図（10）	1/30	03/S	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）	-	
2/A	特記仕様書 2	-	65/A	各部詳細図（11）	図示	04/S	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）	-	
3/A	特記仕様書 3	-	66/A	各部詳細図（12）	1/10	05/S	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（3）	-	
4/A	特記仕様書 4	-	67/A	各部詳細図（13）	1/5	06/S	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（4）	-	
5/A	特記仕様書 5	-	68/A	各部詳細図（14）	図示	07/S	木質工事特記仕様書（1）	-	
6/A	特記仕様書 6	-	69/A	各部詳細図（15）	1/10	08/S	木質工事特記仕様書（2）	-	
7/A	設計概要・案内図・面積表	図示	70/A	各部詳細図（16）	図示	09/S	鉄筋拘束工法標準仕様書（1）	-	
8/A	床面積求積図	1/200	71/A	各部詳細図（17）	1/10	10/S	鉄筋拘束工法標準仕様書（2）	-	
9/A	求積図	1/600	72/A	各部詳細図（18）	1/5	11/S	鉄筋工事標準図（1）	-	
10/A	仕上表	-	73/A	各部詳細図（19）	1/10	12/S	鉄筋工事標準図（2）	-	
11/A	現況配置図	1/600	74/A	各部詳細図（20）	1/20	13/S	鉄筋工事標準図（3）	-	
12/A	全体計画配置図	1/600	75/A	各部詳細図（21）	1/20	14/S	ポーリング柱状図	-	
13/A	計画配置図	1/500				15/S	地下1階伏図	1/100	
14/A	地下1階平面図	1/100				16/S	基礎・1階RC梁伏図	1/100	
15/A	1階平面図	1/100	1/T	1階 展示室-1 平面詳細図	1/20	17/S	1階床伏図	1/100	
16/A	2階平面図	1/100	2/T	2階 展示室-2 平面詳細図	1/20	18/S	2階床伏図	1/100	
17/A	屋根伏図	1/100	3/T	2階 展示室-2 住居平面図	1/20	19/S	R階伏図	1/100	
18/A	立面図（1）	1/100	4/T	2階 展示室-2 住居小屋伏	1/20	20/S	軸組図(1)	1/100	
19/A	立面図（2）	1/100	5/T	2階 展示室-2 住居断面図	1/20	21/S	軸組図(2)	1/100	
20/A	断面図（1）	1/100	6/T	2階平面詳細図-2	1/20	22/S	軸組図(3)	1/100	
21/A	断面図（2）	1/100	7/T	2階平面詳細図-3	1/20	23/S	軸組図(4)	1/100	
22/A	断面図（3）	1/100	8/T	2階平面詳細図-4	1/30	24/S	軸組図(5)	1/100	
23/A	断面図（4）	1/100	9/T	2階 2-3-1、3Gケース詳細	1/20・1/5	25/S	軸組図(6)	1/100	
24/A	矩形図（1）	1/30	10/T	2階 2-2-1～2-4-3Gケース詳細	1/20, 10	26/S	軸組図(7)	1/100	
25/A	矩形図（2）	1/30	11/T	2階 5-1-1、3、4Gケース詳細	1/20, 10	27/S	軸組図(8)	1/100	
26/A	矩形図（3）	1/30	12/T	2階 5-3Gケース詳細	1/20, 10	28/S	軸組図(9)	1/100	
27/A	矩形図（4）	1/30	13/T	2階 4-2-1、3Gケース詳細	1/20, 10	29/S	部材リスト	-	
28/A	矩形図（5）	1/30	14/T	2階 3-4Gケース詳細	1/20, 10	30/S	階段詳細図(1)	1/50	
29/A	矩形図（6）	1/30	15/T	写真パネル詳細図	1/3	31/S	階段詳細図(2)	1/50	
30/A	地下1階平面詳細図	1/50	16/T	1階 2-1展示パネル詳細図	1/20, 10	32/S	階段詳細図(3)	1/50	
31/A	1階平面詳細図（1）	1/50				33/S	エレベーター詳細図	1/50	
32/A	1階平面詳細図（2）	1/50				34/S	スラブ補強配筋詳細図	-	
33/A	1階平面詳細図（3）	1/30				35/S	接合詳細図(1)	1/10	
34/A	2階平面詳細図（1）	1/50				36/S	接合詳細図(2)	1/10	
35/A	2階平面詳細図（2）	1/50				37/S	接合詳細図(3)	1/10	
36/A	展開図（1）	1/50				38/S	接合詳細図(4)	1/10	
37/A	展開図（2）	1/50				39/S	接合詳細図(5)	1/20	
38/A	展開図（3）	1/50				40/S	接合詳細図(6)	1/20	
39/A	展開図（4）	1/50				41/S	接合詳細図(7)	1/20	
40/A	展開図（5）	1/50				42/S	雑詳細図(1)	1/10	
41/A	展開図（6）	1/50				43/S	雑詳細図(2)	1/10	
42/A	展開図（7）	1/50				44/S	雑詳細図(3)	1/40	
43/A	展開図（8）	1/50							
44/A	展開図（9）	1/50							
45/A	展開図（10）	1/50							
46/A	1階床伏図	1/100							
47/A	地下1階天井伏図	1/100							
48/A	1階天井伏図	1/100							
49/A	2階天井伏図	1/100							
50/A	キープラン 1	1/100							
51/A	キープラン 2	1/100							
52/A	建具表 1	-							
53/A	建具表 2	-							
54/A	建具表 3	-							
55/A	各部詳細図（1）	1/5							
56/A	各部詳細図（2）	1/5							
57/A	各部詳細図（3）	1/5							
58/A	各部詳細図（4）	1/5							
59/A	各部詳細図（5）	1/5							
60/A	各部詳細図（6）	1/5							
61/A	各部詳細図（7）	1/5							
図面総数 -枚									
 一級建築士事務所 都知事登録 第26373号 一級建築士 大臣登録 第75827号 秋山邦雄 (株)歴史環境計画研究所	設計	照査	設計	照査	網走市	工事名称	図面名	縮尺	図面番号
						史跡最寄貝塚 ガイダンス施設新築工事	図面リスト	-	0 / A

史跡最寄貝塚ガイダンス施設新築

工事設計図

平成 年 月(金 校)

仕 様 書

I 工事概要

1. 工事場所

北海道網走市北一条東二丁目14番1内の、14番4内の、19番、20番、21番
北二条東一丁目9番、北二条東二丁目4番
北三条東一丁目9番、北二条東二丁目10番

2. 敷地面積

2 1 . 2 6 8 . 2 6 m²

3. 工事種目

建築工事（昇降機設備工事含む）
※別契約の関連工事
本工事の施工に伴う別契約の関連工事は次のとおりである。
・電気設備工事
・空調・給排水・衛生設備工事
・外構工事
・展示工事

4. 一般事項

4-1 係員
本仕様書でいう係員とは、網走市監督官、及び監理建築士をいう。
この場合において、係員が指示及び承諾する事項で重要なものは、文章により行う。

4-2 届出報告及び提出
(1) 本工事請負者は工事に従事する現場代理人、主任技術者及び下請業者（責任者）の名簿（経歴書共）及び使用材料のメーカー一覧表を係員に提出し承認を受ける。
(2) 工事日報（主な工事、作業内容、作業人数、搬出入資材、天候等）を記入して係員に提出する。
又、工事の進捗状況に応じて全体、月間、週間工程表を係員に提出する。
(3) 工事工程が変わる毎に工事記録写真を撮影し、アルバムに整理して提出する。その場合必ず撮影場所を正確に明記する。（アルバムサイズはA 4版とする。）
(4) 工事の施工に必要なリサイクル法等の官公署その他への手続きは請負者の責任において、速やかに行う。
(5) 請負業者は建設業法及び省令に定めるところにより施工体制台帳を作成し、その写しを係員に提出する。
(6) 以上及びその他届出の提出は網走市建設部建築課請負者提出書類基準による。
(7) その他係員の指示による。

4-3 環境への配慮
(1) 本工事は、「網走市公共工事に係る環境配慮指針」に基づき環境に配慮した工事を実施すること。
(2) 本工事は、低騒音型機械を使用すること。
(3) 本工事は、「北海道建設リサイクル推進行動計画」等に基づき建設廃棄物、建設発生土等のリサイクルの推進に努めること。

4-4 工事打合せ
(1) 本工事の着手に先立ち、近隣住民への工事説明会の資料作成及び工事説明を行うこと。
(2) 工事の着手に先立ち、工事進行に必要な工事進行の順序・作業方法並びに工事工程表等の施工計画書を提出し、係員の承諾を受ける。
(3) 本工事の施工上の打合せ、設計図書に対する疑義は全て打合せ用紙に記録し、その都度速やかに関係者全員に伝達する。
(4) 工事期間中、係員の指示により開催する打合せ会議（総合、工事別）に打合せ記録を作成の上確認して提出する。

4-5 立会検査
(1) 請負者は指定した工程に進んだ時、関係各官公庁の立会を必要とする場合は、係員と打合せの上、その手続きを経て立会期日を定め、検査を受け合格の承諾を得た後、次の工程に移るものとする。
(2) 材料検査及び試験等は、係員の指示に従い行う。指定された材料は加工取付前に検査を受け使用すること。
製品として工事現場に搬入するものは、係員の指示により工事に於ける製品過程で検査を受けなければならない。係員の必要と認めた材料製品は、権威ある試験所にて検査を受け成績書を提出し、承諾を受けなければならない。尚、供試体の採取には係員の立会の上、封印又は検印を付したものを使用する。
材料検査は網走市建設部建築課材料検査実施基準による。
(3) 室内化学物質濃度測定を各住戸棟に1室を実施し、報告書を提出すること。

4-6 その他
別途工事の請負者と、工程並びに作業に関して、互いに誠意をもって緊密に連絡協議して円滑な工事の進行に協力する。建築、電気、機械、昇降機設備の各工事区分は別表による。

工事現場の管理は、関係法規に従い適滞なく行い、又工事現場の労働者その他の出入の監督及び火災、盗難その他の事故防止について十分な注意をする。
工事現場においては、常に諸材料その他の整理及び清掃を行う。

工事完成引渡し後といえども、契約書及び特記により定められた保証期間内に材料の不良又は施工の不備による故障又は破損を生じた場合は、速やかに修理又は交換を行い、その費用は請負者の負担とする。

工事着手にあたり、事前に支持地盤を確認し、係員の承諾を得ること。
工事着手前に周辺宅宅、周辺道路の現状調査を行うこと。
工事着手にあたり、請負者の責任に於いて周辺住民への工事説明を行う。

事後の「テレビ電圧障害障害調査」を行うこと。（※調査地点は事前と同地点とする）
・調査地点数 : 8点
・対象テレビ電波：VHF波（1、3、4、6、8、10、12）、UHF波（東京局、テレビ神奈川局、多摩局）

5. その他
特許権等の調査について
この工事の特殊な施工方法に関する特許権等については、その有無を事前に十分調査する。

労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置等
(1) 労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずべき者として本工事の請負者を指名する。
この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。
(2) 上記の指名に基づき、労働安全衛生法に規定する次に事項を労働基準監督署長に報告した場合は、速やかにその写しを監督官に提出する。
ア 統括安全衛生責任者
イ 元方安全衛生責任者
ウ 店社安全衛生責任者

かし等調査への立会い
工事目的物の引渡し日から、一年以内（又は二年以内）にかし等調査（工事請負契約約款第41条に規定する、か）及び不具合を確認するための調査をいう。）を行うので、請負者はその調査に立会うものとする。

ディーゼル自動車の排出ガス規制について
北海道条例に扱い、ディーゼルの「規制対応報告書」を監督官に提出する。

II 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（平成22年版）」（以下「標仕」という。）による。

2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、●印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と●印の付いた場合は、ともに適用する。
(3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の（別- ）は、標仕の「別図 各部配筋」の当該項目又は当該表を示す。
(5) 特記事項に記載の（別2- ）は、標仕の「別図2 ポルト間隔等及び溶接継手の開先形状」の当該項目を示す。
(6) □印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」の特定調達品目を示す。

章	項 目	特 記 事 項					
I 一般共通通事項	① 適用基準等	●建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 平成22年版） ●工事写真の撮り方（改訂第2版）建築編（建設大臣官房官庁営繕部監修） ・建築物解体工事共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成18年版）					
	② 工事実績情報の登録	※適用する（1. 1. 4）					
	③ 品質計画面等	●建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。（1. 2. 2） ●風速 V ₁₀ =（ 32 ）m/s （平12建告第1454号第2） ●地表面粗度区分 ・ I ● II ・ III ・ IV ●積雪区分 平12建告第1455号 別表（10）					
	④ 電気保安技術者	（1. 3. 3） 工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。 ○要 ・ 不要					
	⑤ 施工条件	下記以外は現場説明書による。（1. 3. 5） ・ 工事用車両の駐車場 ※図示 ・ 資機材置場 ※図示 ・ 建設発生土仮置場 ※図示 ・ ※図示					
	⑥ 発生材の処理等	※現場説明書による ●機外搬出適切な処理（1. 3. 8）					
	⑦ 環境への配慮	化学物質を放散させる建築材料等（1. 4. 1） 本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有するものとし、次の（1）から（5）を満たすものとする。 （1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 （2）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 （3）接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 （4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 （5）（1）、（3）及び（4）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に定める「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。					
		<table><tr><th>ホルムアルデヒド放散量</th><th>該当する材料</th></tr><tr><td>規制対象外</td><td>① JIS及びJASのF☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS規格品 a. 接着剤等不使用 b. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 f. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用</td></tr><tr><td>第三種</td><td>① JIS及びJASのF☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品</td></tr></table>	ホルムアルデヒド放散量	該当する材料	規制対象外	① JIS及びJASのF☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS規格品 a. 接着剤等不使用 b. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 f. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用	第三種
ホルムアルデヒド放散量	該当する材料						
規制対象外	① JIS及びJASのF☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS規格品 a. 接着剤等不使用 b. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 f. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用						
第三種	① JIS及びJASのF☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品						
⑧ 材料の品質等	（1. 4. 2） 本工事に使用する材料は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASのマーク表示のない材料及びその製造者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとする。 （1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること （2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること （3）安定的な供給が可能であること （4）法令等で定める許可、認可、認定、免許等を取得していること （5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること （6）販売、保守等の営業体制が整えられていること なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会等）が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」の評価書の写しを、監督職員に提出して承認を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合は、この限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承認を受ける。						
⑨ 特別な材料の工夫	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。						

4 技能士

（1. 5. 2）

通用工事種別	技能検定作業
仮設工事	○とび作業
鉄筋工事	○鉄筋組立作業
コンクリート工事	○型枠工事作業 ○コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	○構造物鉄工作業 ○とび作業
コンクリートブロック・ALCパネル	・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業
・押出成形セメント板工事	
防水工事	○アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ○セメント系防水工事作業 ○シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業
石工事	・石張り作業
タイル工事	○タイル張り作業
木工事	○大工工事作業

1 鋼材地業

1）材料

杭の種類
・ 鋼管杭（JIS A 5525）
・ H鋼杭（JIS A 5526）
・ 継手
・ 溶接継手
・ 無溶接継手
(4. 4. 2)
(4. 4. 4)

2）工法
・ 打込み工法
ハンマー種別
・ プレボーリング
・ 油圧ハンマー
・ 行う 杭長= m
・ ディーゼルハンマー
・ 行わない
(4. 4. 3)
(4. 4. 5)
工法名 大臣認定番号

3）支持力の算定
※ 平成13年国土交通省告示第1113号による。
※ 認定条件による。

4）試験杭 ※行う（図示） ※行わない
杭長は試験杭結果により調整する場合がある。
試験杭は、本杭を兼ねる。

2 場所打ち
コンクリート杭地業

鉄筋の種類 5章鉄筋工事鉄筋による（4. 5. 3）
セメントの種類 高炉セメントB種 □（4. 5. 3）
コンクリートの種別及び設計基準強度（4. 5. 3）（表4. 5. 1）
（ ）種、かつ、（ ）N/mm²以上
掘削工法 ・ アースドリル工法（・安定液使用 ・無水掘削）（4. 5. 4. 5）
・ リバース工法
・ オールケーシング工法（孔内の水張り ・行う ・行わない）
・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法
・ 底置杭工法（※安定液使用 ・ ）

孔壁測定 ・行う（ ） ・行わない（4. 5. 4. 5）

3 砂利地業
材料 ※再生クラッシュラン □ ・ 切込砂利及び切込砕石（4. 6. 2）

4 床下防湿層
施工箇所 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ビッドを除く）（4. 6. 5）

5 鉄筋工事（構造図による）

1 鉄筋

鉄筋の種類（5. 2. 1）（表5. 2. 1）

種類の記号	呼び名（mm）
・ SD295A	※D16以下
・ SD345	※D19以上
・	
・	

網目の形状、寸法等（5. 2. 2）

網目の形状、寸法等（縦×横）(mm)	鉄筋の径又は呼び名（mm）	規 格
※100×100	※6.0	JIS G 3551による
・	・	

継手方法等（5. 3. 4）（5. 4. 1）（5. 5. 1）

部 位	継手方法	呼び名（mm）
柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手	
その他の鉄筋（ ）	※重ね継手	

鉄筋の重ね継手の長さ（5. 3. 4）
※鉄筋の重ね継手の長さは、建築基準法施行令第73条による。（図示）
・

鉄筋の定着長さ（5. 3. 4）
※鉄筋の定着長さは、建築基準法施行令第73条による。（図示）
・

4 鉄筋のかぶり厚さ（5. 3. 5）（表5. 3. 6）
鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは地底面から算定する。
・ 耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所	標仕表5.3.6の値に加える寸法（mm）
・ 柱、梁、壁及び底等の外気に接する打放し面	※10
・	

5 既製コンクリート杭の杭頭補強（別-1.1）

6 最上階柱頭補強（別-2.1）
※図示

7 帯筋（別-2.2）
組立の形の種別 ※H形（□は除く）

8 壁開口部の補強（別-4.2）（別-表4.3.4）
耐震壁 ※図示

9 梁貫通孔の補強（別-7.1）（別-表7.1～3）
補強形式 ※H形 ・ MH形 ・ M形
配筋種別 ※図示

10 縦横吊上げ用フック（別-7.3）
・ A種（ ）箇所 ・ B種（ ）箇所 ・ C種（ ）箇所

11 圧接完了後の試験（5. 4. 9）
抜取試験 ※超音波探傷試験 ・ 引張試験

12木工工事

①木材

②集成材

③接着剤

④防腐、防蟻処理

⑤床張り用合板及びその他の合板

表面仕上げの程度
現場搬入時の木材の含水率
保存処理木材
構造材及び下地材の品質の基準
造作材の材面の品質の基準
代用樹種を使用しない箇所

・A種 ※B種 ・C種
※A種 ・B種
・使用する（使用箇所：）
※標準12.2.1(b) (4)による
※A種 ・B種
（）

(12.1.4) (表12.1.1)
(12.2.1) (表12.2.1)
(12.2.1)
(12.2.1)
(12.2.1) (表12.2.2)
(12.2.1) (表12.2.3)

集成材及び単板積層材のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外 ・第三種

(12.2.2)

構造用集成材

(12.2.2)

施工箇所	品名	強度等級	材面の品質	接着性能	樹種名	寸法 (mm)
(構造図による)			・1種 ※2種 ・3種	・使用環境A ・使用環境B ・使用環境C		

構造用単板積層材

(12.2.2)

施工箇所	接着性能	曲げ性能	樹種名	寸法 (mm)
(構造図による)	・使用環境1 ・使用環境2			

造作用集成材

(12.2.2)

施工箇所	樹種名	見付け材面の品質	寸法 (mm)
		※1等 ・2等	

化粧板1造作用集成材

(12.2.2)

施工箇所	心材の樹種名	化粧薄板の樹種名	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	寸法 (mm)
				※1等 ・2等	

単板積層材

(12.2.2)

施工箇所	表面の品質	防虫処理	寸法 (mm)
	※天然木化粧加工 ・塗装加工 ・化粧加工しない (・1等・2等・3等)	・する ・しない	

※接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。
ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂（以下「ユリア樹脂等」という）又はホルムアルデヒド系防腐剤を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・第三種

防蟻処理 ※行方（※標準12.2.8 (C) による ・図示 ）
防蟻処理 ・行方（※図示 ・ ）
防蟻、防蟻処理剤の種類及び品質
表面処理用木材保存剤（防蟻・防蟻剤）は監督職員の承諾するものとする。

合板のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種

普通合板

(12.2.3) (表19.7.2)

施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	表板の接着の程度	板面の品質	防虫処理	その他の処理
(床)	6-12.0		※1類 ・2類	広葉樹 ・1等 ※2等 針葉樹 ※C-D	・する ○しない	・難燃処理
(壁、天井)	5.5	・ラウン ・しな	・1類 ・2類		・する ・しない	・難燃処理 ・防炎処理

構造用合板（構造図による）

(12.2.3)

施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理
(床)	12.0		・特類 ※1類	・1級 ※2級	※C-D ・	・する ・しない

天然木化粧合板

(19.7.2)

施工箇所	厚さ (mm)	化粧板の樹種名	接着の程度	防虫処理	その他の処理
(壁、天井)	・3.2 ※4.2 ・6.0	・なら ・しおじ	・1類 ・2類	・する ・しない	・難燃処理 ・防炎処理
壁	5.5	とど松	2類	しない	

特殊加工化粧合板

(19.7.2)

施工箇所	厚さ (mm)	化粧加工の方法	表面性能	加工面	接着の程度	防虫処理	その他の処理
(壁、天井)	※4.0 ・	・オーバーレイ ・プリント ・塗装	・F ・FW ・W ・SW	・表面 ・間面	・1類 ・2類	・する ・しない	・難燃処理 ・防炎処理

①床尺金属板葺

2折板葺

3とい

①ステンレスの表面仕上げ

②アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

3鉄鋼の亜鉛めっき

4軽量鉄骨天井下地

⑤軽量鉄骨壁下地

6金属成形板張り

7アルミニウム製笠木

⑧手すり及びタラップ

屋根葺形式

・横葺
・心木なし瓦葺葺
・立平葺

※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び銅帯（GGLCR-20-AZ150）

①フラット型 W貼着工法 ②エチレンプロピレン樹脂皮膜鋼板

屋根葺工法 ※図示
下葺材料 ※アスファルトルーフィング940

(13.2.2.3) (表13.2.1)

形 式	形状 (mm)	材料 (規格等)	軒先面戸板	断熱材	耐火性能
※重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形	山高（） 山ピッチ（） 板厚 ※0.6 ・0.8	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び銅帯（GGLCR-20-AZ150）	※あり ・なし	※あり 種別（） 厚さ（）mm 防火性能（）時間 ・なし	※30分 ・なし

①の材種 ※配管用鋼管 ・硬質塩化ビニル管（・VP ・RF-VP ）
鋼管製といの防露巻き ※行方（施工箇所 ※標準13.5.5)による ・
防露材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種
①の補給口 ※あり（図示） ・なし

ルーフトレン

(13.5.3) (表13.5.1)

種 別	施工箇所
・ろく屋根用（・たて形 ・横形）	
・バルコニー中継用	
・バルコニー用	

(14.2.1)

種 類	施工箇所
※HL程度	下記以外の見え掛りすべて
・No.2程度	
・鏡面	
・	

(14.2.1) (表14.2.1)

種 別	施工箇所
・B-1種（無着色）	
○B-2種（・ブラウン系 ②ブラック ・ステンカラー）	アルミニウム製建具
・	

(14.2.3) (表14.2.2)

表面処理方法	種 別	施工箇所
溶融亜鉛めっき	・A種	
	・B種	
	・C種	
電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

野縁等の種類

(14.4.2) (表14.4.1)

屋外（・19形 ※25形） 屋内（※19形 ・25形）
屋外の軒天井、ピロティ天井等
野縁受、吊りボルト、インサートの間隔及び周辺部からの距離 ※図示
野縁の間隔 ※図示
耐風圧性を考慮した補強
天井下地材における耐震性を考慮した補強
・行方（補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示）

(14.4.3, 4)
(14.4.4)

スタッド、ランナーの種類 ※標準14.5.1)による ・図示 (14.5.3) (表14.5.1)
スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 (表14.5.1)

(14.6.2) (表14.2.1)

形 状	製 法	材 種	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面処理
・スパンドレル形	・押出し ・ロール	※アルミニウム製			・B-1種 ・B-2種（）
・パネル形	※プレス	・			・

伸縮調整継手 ※設けない ・設ける（施工箇所は図示）

(14.6.3)

(14.7.2) (表14.2.1) (表14.7.1)

種 類	最小呼称肉厚 (mm)	表面処理	固定間隔	備 考
・250形	1.6	※A-1又はB-1種	※固定方法及び間隔は図示による。	コーナ一部、突当り部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	1.8			
・350形	2.0	・B-2種（）		
・100形				
・				

(14.2.1) (14.8.2.3) (表14.2.2)

種 類	材料の種類	表面処理
	※ステンレスSUS304	※HL程度 ・鏡面程度 ①珪状塗装
手すり	・鋼	亜鉛めっき 外部 ※C種 内部 ※E種
タラップ	※ステンレスSUS304	※研磨なし ・ 亜鉛めっき 内外外部 ※C種

①モルタル塗り

②床コンクリート直均し仕上げ

③セルフレベリング材塗り

④仕上塗材仕上げ

吸気調整材

(15.2.2)

性能

全固形分 (%)	吸水率 (g)	接着強度 (N/mm ²)	界面破壊率 (%)
表示値±1.0以内	30分間で1以下	0.98以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

防水剤（防水モルタル塗りの混入剤）
防水剤の種類は建築用のモルタルに用いるセメント防水剤とする。（JIS A 1404による試験）
(15.2.2)

混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント重量の5%以下	JIS R 5201の試験8において 始発 10時間以上 終結 10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下 (294.0 kPaの水圧を1時間かける)

安定性、曲張性のひび割れ及びそりがないこと。（JIS R 5201の試験9）

既製目地材 ※適用しない ・適用する
床目地 ・設ける（工法 ※押し目地 ・ ）
(15.2.5)

下表以外は標準仕様6.2.4及び標準仕様15.3.2)による
(表6.2.4) (15.3.1.2)

施工箇所	平たんさ (mm)	備 考
・フリーアクセスフロア（パネル構造）範囲	1mにつき10以下	塗料塗りの場合も含む
・フリーアクセスフロア（滑床構造）範囲	3mにつき7以下	
・		

(15.4.2) (表15.4.1)

・せつこう系（施工箇所及び厚さ ※仕上表による ・図示 ・）
②セメント系（施工箇所及び厚さ ※仕上表による ②図示 ・）

仕上塗材の種類、仕上りの形状等
(15.5.2) (表15.5.1)

種 類	呼び名	仕上りの形状等
①準付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・
	・可とう形外装薄塗材Si	・
	①外装薄塗材E	・砂壁状 ②着色骨材砂壁状
	・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状
	・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状
	・外装薄塗材S	砂壁状
	・内装薄塗材C	・
	・内装薄塗材L	・
	・内装薄塗材Si	・
	・内装薄塗材E	・
・内装薄塗材W	・京壁状じゅらく	
・複層仕上塗材	・複層塗材CE	・ゆず肌状 ・凹凸模様
	・複層塗材Si	耐候性 ※耐候形3種
	・複層塗材E	上塗材
	※複層塗材RE	溶媒 ※水系 ・溶剤系
	・可とう形複層塗材CE	樹脂 ※アクリル系
	・複層塗材RS	外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック
	・防水形複層塗材CE	防水形の増塗材 ※行方
	・防水形複層塗材E	
	・防水形複層塗材RS	
	・防水形複層塗材RS	
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	砂壁状
	・こて塗用軽量塗材	平たん状

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた仕上塗材のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・第三種
防火材料の指定
※屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする。

5ロックウール吹付け

ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 (15.7.2)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 (15.7.2)
吹付け厚さ (mm) ※図示 ・25 (15.7.3)

6ノンフロン湿式不燃断熱材吹付け

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
吹付け厚さ (mm) ※図示 ・25
エスケー化研 セラミライトエコQ両等品以上

16建具工事

①アルミニウム製建具

①見本の製作等

2防犯建物部品

性能等級等

(16.2.2) (表16.2.1)

外部に面する建具

種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	施工箇所
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	※図示
②B種	S-5	②A-4	②W-5	・	※図示
・C種	S-6	A-4	W-5	100	

防音ドアセット、防音サッシ ②適用する 遮音性の等級（T-2）
断熱ドアセット、断熱サッシ ②適用する 断熱性の等級（）
耐震ドアセット ・適用する 内面変形追随性の等級（）
(16.2.4) (表14.2.1)

表面処理

外部に面する建具
※B-1種 ②B-2種（・ブラウン系 ②ブラック ・ステンカラー）
屋内建具
※C-1種 ②C-2種（・ブラウン系 ②ブラック ・ステンカラー）

網戸

(16.2.3)

防虫網の材種 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製（SUS316）
形式 ※外部可動式 ・固定式

4鋼製建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による
(16.3.2) (表16.3.1)
外部に面する建具の耐風圧性の適用は建具表による
(16.3.2) (表16.2.1)

5鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による
(16.4.2)

6ステンレス製建具

⑦木製建具

⑧建具用金物

⑨自動ドア開閉装置

11重量シャッター

12軽量シャッター

13オーバーヘッドドア

④ガラス

ガラス留め材

(16.13.2) (表9.6.1)

建具の種類	材 種
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガasket（FIX部はシーリング材）
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材
防火戸のガラス留め材は、防火戸が建築基準法に基づき定められ又は認定を受けた条件による。	

板ガラスをはめ込む溝の大きさ
標準16.13.3 以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は（社）日本建築学会
JASS 17 ガラス工事「納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する。
(16.13.3)

ガラス用フィルム

名 称	種 類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D1
・			

品質 JIS A 5759)による

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による
(16.3.2) (表16.3.1)
外部に面する建具の耐風圧性の適用は建具表による
(16.3.2) (表16.2.1)

表面仕上げ ※HL ・鏡面
曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ（補強あり）
(16.5.5)

かまち戸の樹種 かまち（） 鏡板（）
(16.6.2)
ふすまの上張り
※新鳥の子又はビニル紙程度（押入等の裏面は除く） ・鳥の子
(表16.6.3)
建物内部の木製建具に使用する表面材（合板）及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
(16.6.2)
※規制対象外 ・第三種

鍵
マスターキー ・製作用する ・製作しない
(16.7.4)
鍵箱
市販品
形式 ・30組用 ・60組用 ・120組用
(16.7.4)

(16.8.2.3) (表16.8.1-3)

ドアの種類	センサーの種類
※スライディングドア	・マツトスイッチ ※光線（反射）スイッチ
種類 ②SSLD-1 ・SSLD-2	・熱線スイッチ ・音波スイッチ
・DSL-1 ・DSL-2	・光電スイッチ ・電波スイッチ
・スイングドア	・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ
種類 ・SMD-1 ・SMD-2	・ペダルスイッチ ・多機能使用スイッチ

①凍結防止措置（適用箇所は建具表による）
(16.8.3)

材料 ※SUS304、アルミニウム製等防錆性能を有するもの
(16.9.2)
性能 ※製造所標準仕様による
(16.9.3) (表16.9.1)
※標準仕様16.9.1)による
・製造所標準仕様による
(16.10.2)

シャッターの種類	性 能
・一般重量シャッター	耐風圧性能（）N/m ²
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能（）N/m ²
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

開閉機能 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式
(16.10.2) (表16.10.1)
危害防止機構 ※障害物感知装置（自動閉鎖型）
(16.10.2)
一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない
(16.10.2)

開閉形式 ※手動式 ・上部電動式（手動併用）
(16.11.2) (表16.11.1)
スラット 材質 ※JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び銅帯）
(16.11.3)
又はJIS G 3318（塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び銅帯）
・銅板
形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形
(16.11.4)
ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm）
(表16.11.2)
耐風圧性能（）N/m²

(16.12.2.3)

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バラン式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイルフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板（SUS304）

耐風圧性能（）N/m²

板ガラスの種類、厚さ等は建具表による
(16.13.2)
・ガラスブロック
(16.13.5)

表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色 調	防火認定
・正方形 ・長方形	・	・	※クリア ・熱線反射 ・乳白色 ・カラー（）	※なし ・あり

ガラス留め材
(16.13.2) (表9.6.1)

建具の種類	材 種
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガasket（FIX部はシーリング材）
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材
防火戸のガラス留め材は、防火戸が建築基準法に基づき定められ又は認定を受けた条件による。	

板ガラスをはめ込む溝の大きさ
標準16.13.3 以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は（社）日本建築学会
JASS 17 ガラス工事「納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する。
(16.13.3)

ガラス用フィルム

名 称	種 類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D1
・			

品質 JIS A 5759)による

一級建築士事務所 都知事登録 第26373号
一級建築士 大臣登録 第75827号 秋山邦雄

設計 照査

設計 照査

網走市

史跡最寄貝塚
ガイダンス施設新築工事

工事名称

図面名

縮 尺

図面番号

特記仕様書 3

3 / A

17
カーテンウォール工事

1
メタルカーテンウォール

カーテンウォール材料の種類(17.2.2)

種類	規格等
※アルミニウム製	※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による
・	・

カーテンウォール方式

・方立方式

・バックマリオン方式（・単純2辺支持法・SSG構法）

・スバンドリル方式

・パネル方式

・小型パネル組合せ方式（・ノックダウン方式・ユニット方式）


シーリング材及びガラス取付け材料(9.6.2) (17.2.2) (表9.6.1)

下記以外は標仕表9.6.1による

シーリング材の種類			
被着体の組合せ	記号	主成分による区分	耐久性による区分
金属	ガラス		
	石、タイル		
ガラス	ガラス		

構造用ガスケット ※適用しない
・適用する

施工箇所 ※図示

断熱材  ※適用しない
・適用する

種類（ ） 厚さ（ ）mm

施工箇所 ※図示

製品の寸法許容差 ※標仕表17.2.1による
・製作所標準製作規定寸法許容差による

アルミニウムの表面処理(17.2.3) (表17.2.1)

種別	色彰等			
・A-1種	・B-1種	無着色		
・A-2種	・B-2種	※ブラウン系	・ブラック	・ステンカラー
・着色塗膜	塗装材料（ ）	焼付け方法（ ）	コート（ ）	ベーク

耐風圧性能(17.1.3)

性能値 ※建築基準法施行令第87条及び平成12年建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。

・正圧（ ）N/m²以上及び負圧（ ）N/m²以上に対して安全であること。

主要部材のたわみ

支点間距離（h）	たわみ量	状態
※4m以下	※±（1/150）×h	※部材の破損、残留変形及び有害な変形が起こらないこと
・4mを超える	・かつ、絶対量20mm以下	

耐震性能(17.1.3)

設計用震度 水平方向（K） ※1.0

垂直方向（K） ※0.5

建物の構造種別	層間変位量（h＝支点間距離）	変位後の状態
鉄骨造	※±（1/100）×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な変形が起こらないこと
鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上	シーリングは補修程度の損傷であること
鉄骨鉄筋コンクリート造	・	

水密性 ・W-4 ・W-5(17.1.3)

気密性 ・A-3 ・A-4(17.1.3)

耐火性能 ※適用しない
・適用する（ ）時間

施工箇所 ※図示

映像調整 ※行わない ・行う（建具表による）

製作所 性能等の確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける

2
PCカーテンウォール

2
PCカーテンウォール

コンクリートの種類及び品質(17.3.2)

※標仕17.3.2による

・下表による。ただし、下表以外は標仕17.3.2による。

コンクリートの種類	設計基準強度（f _c ）	所要スランプ（cm）

鉄筋の種類 ※SD295A

取付け用金物の表面処理（鉄鋼の亜鉛めっき）及び材質(14.2.3) (表14.2.2)

金物種類及び部位	内 部	外 部
PC版打込み金物	※E種	※A種
PC版打込み取付けボルト	※E種	※ステンレスボルト
二次ファスナー	※E種	※A種
取付けボルト	※E種	※A種
レベル調整ボルト	※E種	※A種
・	・	・

上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による


シーリング材料(9.6.2) (17.3.2) (表9.6.1)

下記以外は標仕表9.6.1による

シーリング材の種類			
施工箇所	記号	主成分による区分	耐久性による区分
カーテンウォール板間目地			

耐火目地材 ・適用する

施工箇所 ※図示

断熱材  ※適用しない
・適用する

種類（ ） 厚さ（ ）mm

施工箇所 ※図示

製品の寸法許容差 ※標仕表17.3.1による
・製作所標準製作規定寸法許容差による

表面仕上げ（ ）

耐風圧性能(17.1.3)

性能値 ※建築基準法施行令第87条及び平成12年建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。

・正圧（ ）N/m²以上及び負圧（ ）N/m²以上に対して安全であること。

耐震性能(17.1.3)

設計用震度 水平方向（K） ※1.0

垂直方向（K） ※0.5

建物の構造種別	層間変位量（h＝支点間距離）	変位後の状態
鉄骨造	※±（1/100）×h以上	※部材の損傷及び破損脱落が起こらないこと
鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上	ガラス等の破損が起こらないこと
鉄骨鉄筋コンクリート造	・	シーリングは補修程度の損傷であること

18
塗装工事

18
塗装工事

①材料

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量(18.1.3)

※規制対象外 ・第三種

建物内部に使用する塗料の材質 ・水性系

防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。(18.1.3)

・次の箇所を除き防火材料とする。（施工箇所： ）

重めめっき鋼面の素地ごしらえの種類(18.2.4) (表18.2.3) (表18.3.4)

種別	施工部位及び塗料種類
A種	2液形ポリウレタンエナメル塗り、常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り、アクリルシリコン樹脂エナメル塗りの場合
B種	A種、C種以外
C種	下塗りに変成エポキシ樹脂塗料を塗装する場合及び鋼製建具等

せつこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえの種類(18.2.7) (表18.2.7)

種別 ・A種 ・B種（施工箇所： ）

3 床用塗料塗り

材質 ウレタン樹脂系塗料（※標準色 ・ ）

仕上種類 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ

塗布量 プライマー塗りのうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/m²以上とする

4 防塵用塗料塗り

材質 水性アクリル系樹脂塗料（※標準色 ・ ）

仕上種類 コーティング（ローラーばけ塗り）

塗布量 主剤2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/m²以上とする。

5 撥水剤

大日技研工業株式会社 ランデックスコートWS 疎水剤 同等品以上

19
内装工事

19
内装工事

①接着剤（内装工事全般）

(19.2.2) (19.3.3) (19.5.5.6) (19.7.2) (19.8.2) (19.9.2)

壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等又はホルムアルデヒド系防腐剤を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外 ・第三種


※接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

ビニル床シート及びビニル床タイルの特殊機能(19.2.2)

帯電防止 ・帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2以上～3.2未満


又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1×10¹⁰Ω程度

耐動荷重 JIS A 1454による、へこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、摩耗性試験、層間はく離強度試験（発泡層のあるビニル床シートのみ）及びキャスター性試験等の試験後、異常がないこと

ビニル床シート  (19.2.2)

種類	記号	施工箇所	色柄	厚さ（mm）	特殊機能
※発泡層のないもの	※NC	図示	※無地	※2.5	・帯電防止
・発泡層のあるもの	・		・マーブル柄	・	・耐動荷重
			・柄柄物	・	・帯電防止
			・無地	・	・耐動荷重

工法 ※熱溶接工法 ・突付け（施工箇所： ）(19.2.3)

ビニル床タイル  (19.2.2)

種類	記号	施工箇所	色柄	寸法（mm）	厚さ（mm）	特殊機能
・30°ジグザグ	CT		※無地	・300×300	※2.0	・帯電防止
・20°ジグザグ（半硬質）	・柄物		・柄物	・450×450	・	・耐動荷重
・30°ジグザグ	CTS		※無地	・300×300	※2.0	・帯電防止
・20°ジグザグ（軟質）	・柄物		・柄物	・450×450	・	・耐動荷重
・45°ジグザグ	HT		※無地	・300×300	※2.0	・帯電防止
・60°ジグザグ	・柄物		・柄物	・450×450	・	・耐動荷重
・直置き20°ジグザグ	HTL		※無地	・500×500	・	・帯電防止
・	・		・	・	・	・耐動荷重

ビニル幅木(19.2.2)

材質 ※軟質 ・硬質

高さ（mm） ※60 ・75 ・100

厚さ（mm） ※2.0

ゴム床タイル(19.2.2)

色柄（ ）

厚さ（mm） ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0

寸法（ ）

絨じゅうたん(19.3.3) (表19.3.1)

種別	パイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備考
・A種	・カットパイル	・タタミ織	※無地	※人体帯電圧	
・B種	・ループパイル	・タタミ織	※無地	3kV以下	
・C種	・カット、ループ併用	・タタミ織	（標準品）	・	

下敷き材 ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ8mm

タフテッドカーペット(19.3.3.4) (表19.3.2)

パイル形状	パイル長さ（mm）	工 法	帯電性	備考
・カットパイル	※5～7	※全面接合工法	※人体帯電圧	
・ループパイル	※4～6	・グリッパー工法	3kV以下	
・レベルループパイル	※4	・	・	
・カット、ループ併用	・	・	・	

下敷き材 ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ8mm

ニードルパンチカーペット(19.3.3)

厚さ（mm）

帯電性 ※人体帯電圧3kV以下

備考

タイルカーペット(19.3.3.4)

パイル形状	種 別	寸法（mm）	総厚さ（mm）	帯電性	備考
※ループパイル	※第一種	※500×500	※6.5	※人体帯電圧3kV以下	
	・第二種	・	・	数枚範囲	
・カットパイル				・	
・カット、ループ併用				・	

タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し

階段部分 ※模様流し ・市松敷き

見切り、押え金物 ・適用する（材質、形状等 ※図示 ・ ）(19.3.3)

4 合成樹脂床床

(19.4.2.3) (表19.4.1～7)


種 別	施工箇所	仕 上 げ の 種 別
・弾性ウレタン塗床材		※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂塗床材		※薄膜流し膜べ仕上げ
		・厚膜流し膜べ仕上げ（※平滑 ・防滑）
		・樹脂モルタル仕上げ（※平滑 ・防滑）
		・防滑仕上げ

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量(19.4.2)

※規制対象外 ・第三種


②フローリング張り

②フローリング張り

単層フローリング  (19.5.2～6) (表19.5.1,2)

種 類	樹 種	厚さ（mm）	大きさ（mm）	継ぎ目材	工 法
①フローリングボード	根太張用	※なら	幅 ※75	※合成樹脂発泡シート	②釘留め工法
	直張用	・	長さ 500以上	・	・接着工法
・フローリングブロック	直張用	※なら	※303×303	※合成樹脂発泡シート	・モルタル埋込み工法
	・	・	・	・	・接着工法
・モザイクパーケット	直張用	・なら	・8	※合成樹脂発泡シート	接着工法
	・	・	・	・	・

単層フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種

天然木化粧複合フローリング  (19.5.2,3,5,6) (表19.5.3,4)

種 類	樹 種	種別又は大きさ（mm）	防湿処理又は継ぎ目材	工 法
・複合1種	根太張用	※なら	・A種	・釘留め工法
・複合2種	・	・	・B種	・
・複合3種	直張用	・	※C種	・防湿処理を行う
		厚さ 8以上	※合成樹脂発泡シート	・釘留め工法
		幅 75以上	・	・
		長さ 900以上	・	・

複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種

仕上げ塗装 ・塗装品（ ）(19.5.7)

・無塗装品

・塗装する 施工箇所： （ ）

種類 ※ウレタン樹脂ワニス塗り

・オイルステインのうすワックス塗り

・生地のままワックス塗り

6 畳敷き(19.6.2) (表19.6.1)

下地の種類

量の種別

・標仕表12.5.1による床組


※B種

・ポリスチレンフォーム床下地

※C種

畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする

7 ポリスチレンフォーム床下地材

A種（ノンフロンのもの）  (19.6.2)

畳下地 厚さ（mm） ※40 ・65 ・80（不燃）

フローリング類下地 厚さ（mm） ※80 ・95（不燃）

③せつこうボード、その他ボード及び合板張り

③せつこうボード、その他ボード及び合板張り

せつこうボード及びその他ボードの厚さ、規格等(19.7.2) (表19.7.1)

種 類	JISの記号	厚さ（mm）、規格等
③せつこうボード	GB-R	・9.5（準不燃） ③2.5（不燃） ③15.0（不燃）
③シーシングせつこうボード	GB-S	③12.5（不燃）
・強化せつこうボード	GB-F	・12.5（不燃） ・15.0（不燃）
・せつこうラスボード	GB-L	9.5
・化粧せつこうボード（木目）	GB-D	12.5（不燃） 幅440mm程度
		模様（※柱目 ・板目） 専用下地材付き
・不燃積層せつこうボード	GB-NC	9.5（不燃） ・化粧なし（下地張り用）

・けい酸カルシウム板

0.8FK

1.0FK

タイプ2（無石棉）

・6 ・8

③ロックウール化粧吸音板

DR

③フラットタイプ（※9（不燃）・12 ・ ）

・凹凸タイプ（※12（不燃）・15 ・19 ・ ）

・ロックウール吸音ボード1号


RW-B

・25


・グラスウール吸音ボード2号32K

GW-B


・25（ガラスクロス包）

・硬質木毛セメント板  HW


・15 ・20 ・25

・普通木毛セメント板  NW

・15 ・20 ・25

・硬質木片セメント板  HF


・12 ・15 ・18 ・21


・普通木片セメント板  NF

・30

・単板張り


・無研磨板（VN） ・研磨板（VS）

・パーティクルボード  ・10 ・12 ・15 ・18

・化粧パーティクルボード  ・単板オーバーレイ（DV）

・グラスウールパイル（D0） ・塗装（DC）


・10（難燃） ・12（難燃）

・メディアムデンシティファイバーボード  MDF

・素地MDF（RS）


・化粧MDF（・DV ・D0 ・DC）

・3 ・7 ・9 ・12

・ハードボード（素地）  HB


・未研磨板（RN） ・研磨板（RS）

・2.5 ・3.5 ・5 ・7

・ハードボード（化粧）  HB

・内装用化粧（D1） ・外装用化粧（DE）

・2.5 ・3.5 ・5 ・7

・インシュレーションボード  IB

A級二次加工品（・天井仕上 ・内装仕上 ・ ）

・9 ・12 ・15 ・18

・メラミン樹脂化粧板

JIS K 6903による 厚さ1.2

パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量(19.7.2)

※規制対象外 ・第三種

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材(19.7.2) (表9.6.1)

※適用する ・適用しない

天井及び壁に使用する合板は、12章木工事5床張り用合板及びその他の合板による。(19.7.2)

合板類の張付け ・A種 ※B種(19.7.3) (表9.7.3)

設計

照査

設計

照査

網走市

史跡最寄貝塚
ガイダンス施設新築工事

図面名

特記仕様書 4

縮 尺

－

図面番号

4 / A

一級建築士事務所 都知事登録 第26373号
一級建築士 大臣登録 第75827号 秋山邦雄

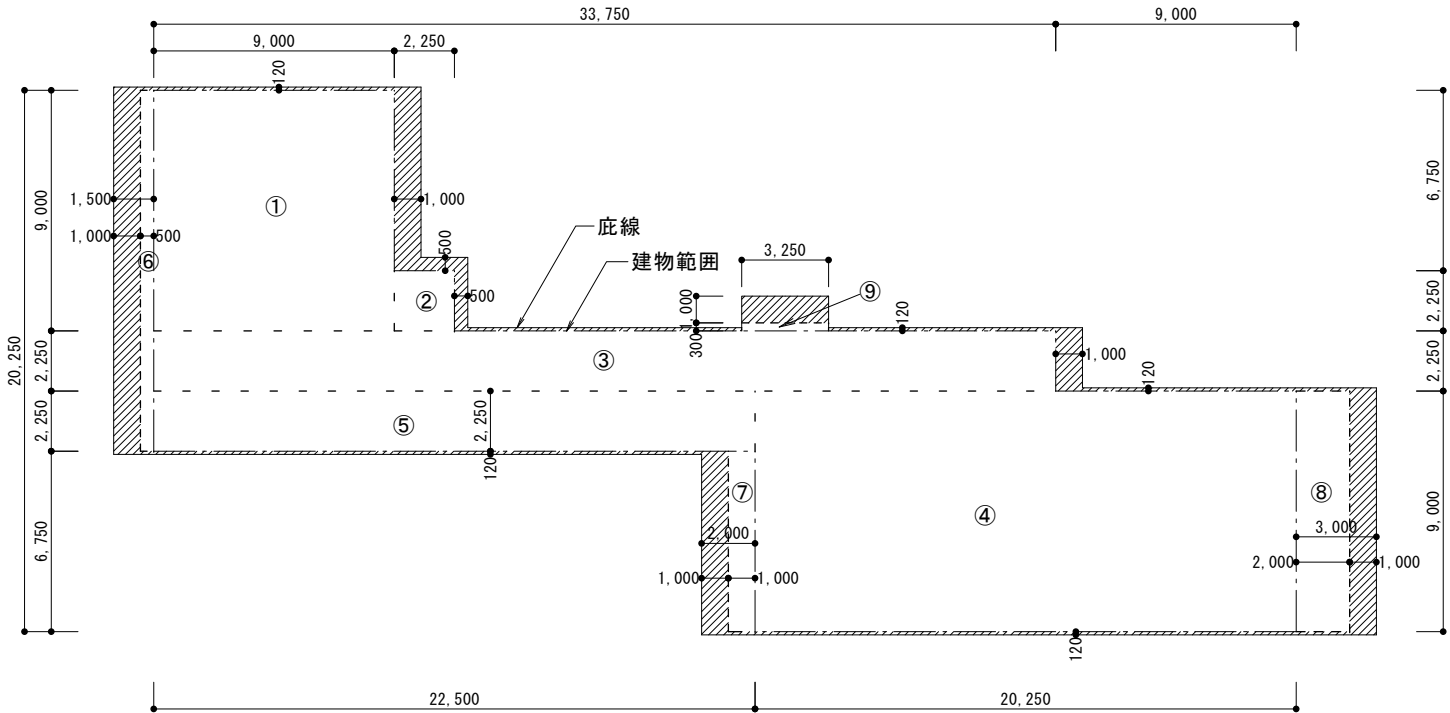
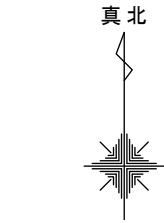
株式会社 歴史環境計画研究所

[illegible]

設計概要

1 一般事項										
敷 地 道 路 面 積	工事名称	史跡最寄貝塚ガイダンス施設新築工事			建築主	氏名： 網走市長 水谷洋一				
	敷地位置	北海道網走市北一条東一丁目19番 北一条東二丁目14番1の内、14番4の内、19番、20番、21番 北二条東一丁目9番、北二条東二丁目4番 北三条東一丁目9番、北三条東二丁目10番			住所	北海道網走市南6条東4丁目				
	用途地域	第2種住居地域			工事概要	工事種別	新築			
		建ぺい率： 60%		容積率： 200%		主要用途	別表第1(3)学校、体育館その他これらに類する物（博物館用途）			
		外壁の後退距離：				駐車場等	-			
	防火地域	法22条区域				工作物等	-			
		その他の地域				工期予定	着工： -	竣工： -		
		日影規制				日影時間： -	測定面の高さ： -			
	道路	道路巾員	5.5m 市道モヨロ線（42条1項1号道路）			形態規制	絶対高さ制限	-		
		壁面線指定					道路斜線	勾配 1.25： 適応距離 20m		
		敷地面積	21,268.26㎡				隣地斜線	勾配 1.25： 立上り 20m		
積	申請部分		申請以外	合 計	北側斜線		なし			
	建築面積	427.35	㎡	-	㎡		427.35	㎡		
	延床面積	681.41	㎡	-	㎡		681.41	㎡		
	駐車場等の床面積		㎡		㎡					
2 建築物概要										
建物用途	博物館その他これらに類する物				床面積	棟名・階	㎡（ 坪）	階高（m）	階別用途	
工事種別	新築					1階	344.25	（ 〃 ）	2.7	展示施設
構 造	木造					2階	248.06	（ 〃 ）	3.7	展示施設
基礎・杭	ベタ基礎					地下1階	89.10	（ 〃 ）	2.4	展示施設
						合 計	681.41	（ 〃 ）		
建築設備の種類	電気、給排水、衛生、空調、換気、排煙、昇降機					最高の高さ：設計G.L.＋	＋7.930 m		（平均地盤面＋8.075m）	
消防設備の種類	誘導標識（誘導灯に代替）・自動火災報知設備 誘導灯・消火器具・非常警報設備・避難器具					最高の軒高：設計G.L.＋	＋7.734 m		（平均地盤面＋7.879m）	

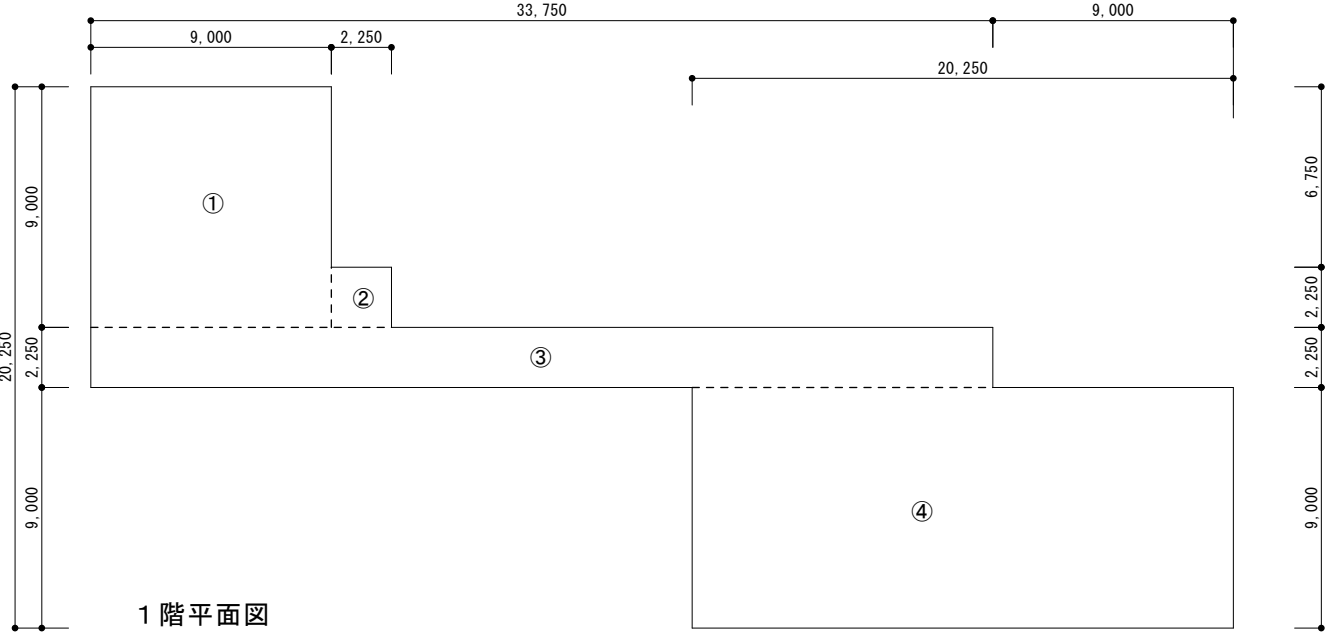
3 案内図 S=N.S	
<div>真北</div>	



建築面積			
①	9*9	=	81.0 ㎡
②	2.25*2.25	=	5.0625 ㎡
③	33.75*2.25	=	75.9375 ㎡
④	20.25*9	=	182.25 ㎡
⑤	22.5*2.25	=	50.625 ㎡
⑥	(9+2.25+2.25)*0.5	=	6.75 ㎡
⑦	1*6.75	=	6.75 ㎡
⑧	2*9	=	18.0 ㎡
⑨	3.25*0.3	=	0.975 ㎡

建築面積 = ①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨ = 427.35㎡

延べ床面積表



1階床面積

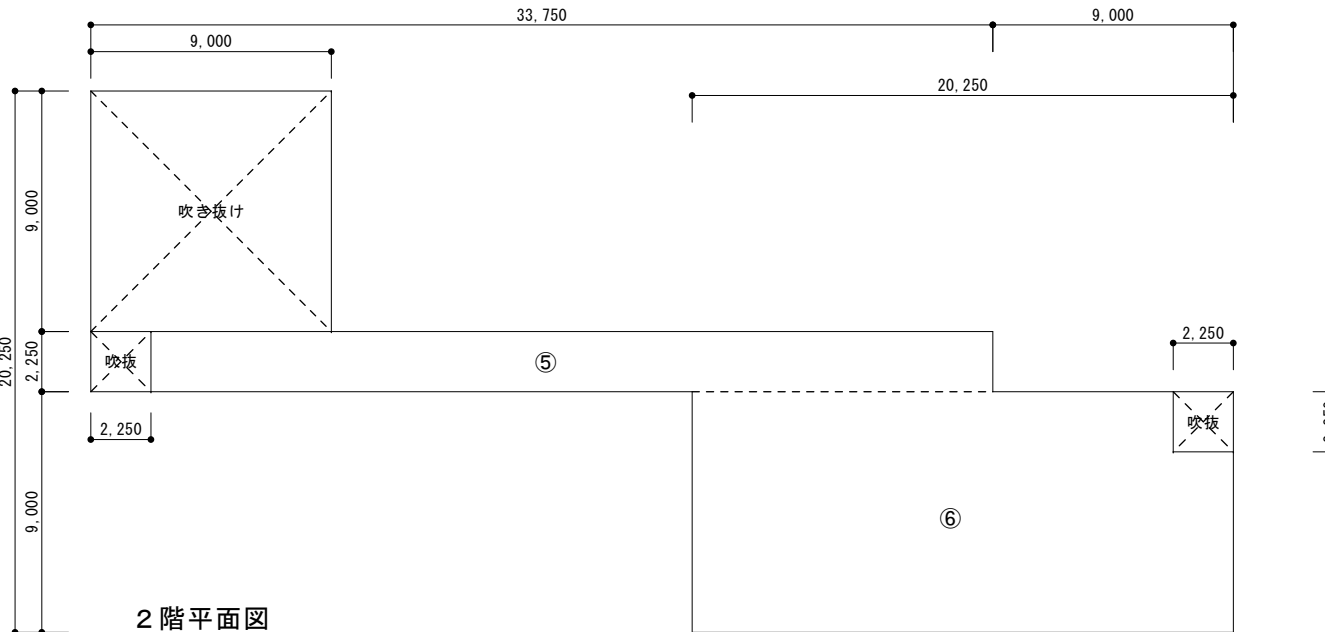
① $9 \times 9 = 81 \text{ m}^2$

② $2.25 \times 2.25 = 5.0625 \text{ m}^2$

③ $33.75 \times 2.25 = 75.9375 \text{ m}^2$

④ $20.25 \times 9 = 182.25 \text{ m}^2$

1階床面積計 ①+②+③+④ = 344.25 m^2



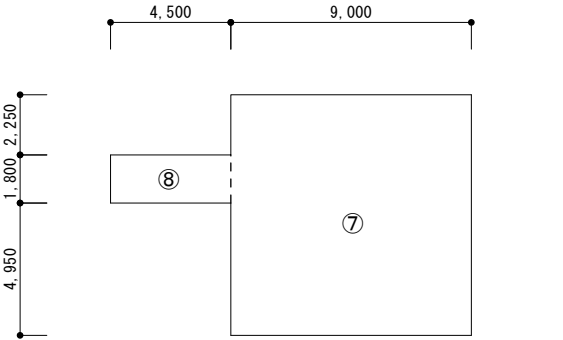
2階床面積

⑤ $(33.75 - 2.25) \times 2.25 = 70.875 \text{ m}^2$

⑥ $20.25 \times 9 - 2.25 \times 2.25 = 177.1875 \text{ m}^2$

2階床面積計 ⑦+⑧ = 248.0625 m^2

地下1階平面図



地下1階床面積

⑦ $9 \times 9 = 81 \text{ m}^2$

⑧ $4.5 \times 1.8 = 8.1 \text{ m}^2$

地下1階床面積計 ⑩+⑪ = 89.1 m^2

延べ床面積

1階+2階+3階 = 344.25+248.0625+89.1 = 681.4125 m^2



一級建築士事務所 都知事登録 第26373号
一級建築士 大臣登録 第75827号 秋山邦雄

(株)歴史環境計画研究所

設計

照査

設計

照査

網走市

工事名称

史跡最寄貝塚
ガイダンス施設新築工事

図面名

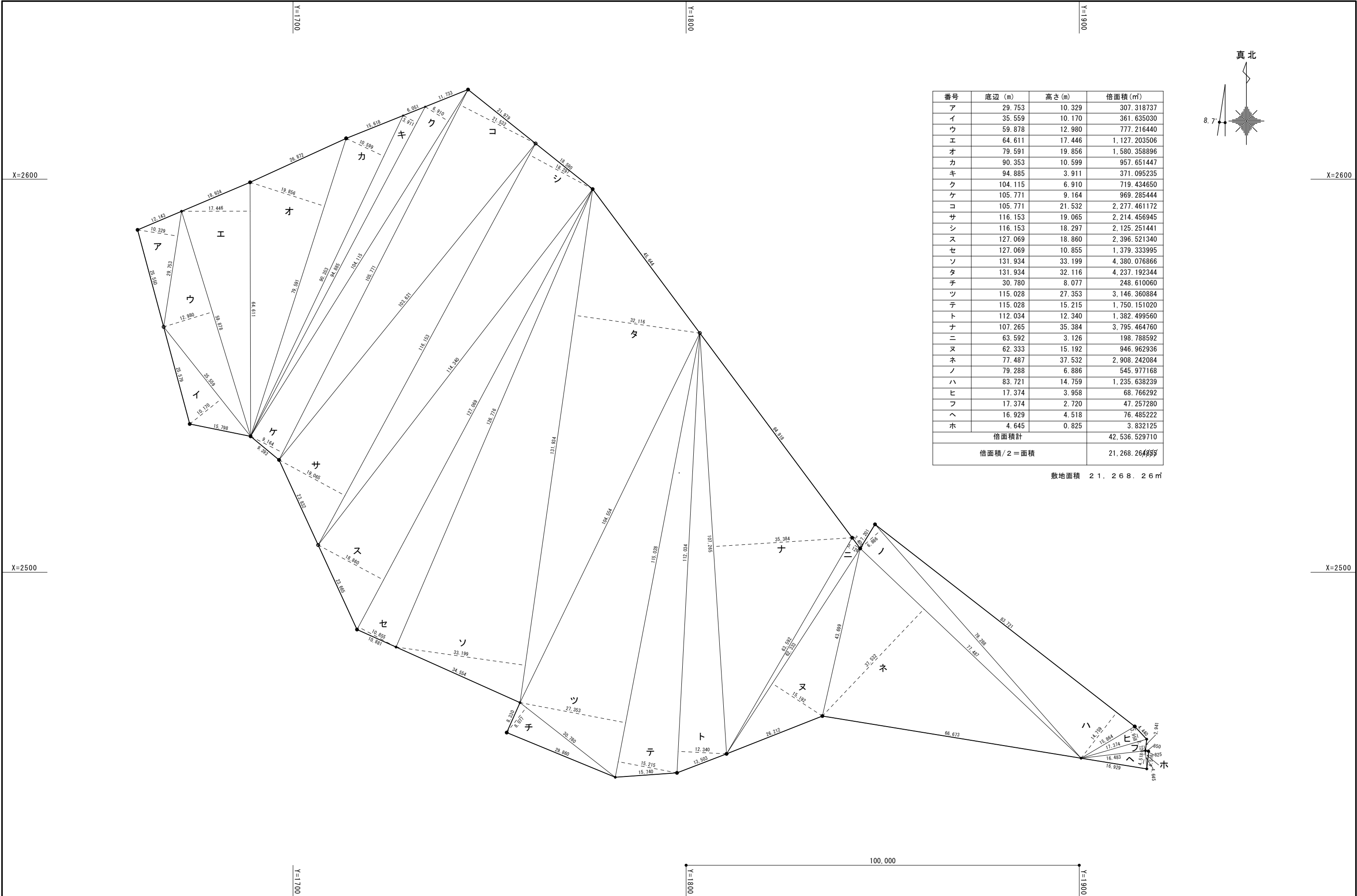
床面積求積図

縮尺

1/200

図面番号

8 / A



番号	底辺 (m)	高さ (m)	倍面積 (㎡)
ア	29.753	10.329	307.318737
イ	35.559	10.170	361.635030
ウ	59.878	12.980	777.216440
エ	64.611	17.446	1,127.203506
オ	79.591	19.856	1,580.358896
カ	90.353	10.599	957.651447
キ	94.885	3.911	371.095235
ク	104.115	6.910	719.434650
ケ	105.771	9.164	969.285444
コ	105.771	21.532	2,277.461172
サ	116.153	19.065	2,214.456945
シ	116.153	18.297	2,125.251441
ス	127.069	18.860	2,396.521340
セ	127.069	10.855	1,379.333995
ソ	131.934	33.199	4,380.076866
タ	131.934	32.116	4,237.192344
チ	30.780	8.077	248.610060
ツ	115.028	27.353	3,146.360884
テ	115.028	15.215	1,750.151020
ト	112.034	12.340	1,382.499560
ナ	107.265	35.384	3,795.464760
ニ	63.592	3.126	198.788592
ヌ	62.333	15.192	946.962936
ネ	77.487	37.532	2,908.242084
ノ	79.288	6.886	545.977168
ハ	83.721	14.759	1,235.638239
ヒ	17.374	3.958	68.766292
フ	17.374	2.720	47.257280
ヘ	16.929	4.518	76.485222
ホ	4.645	0.825	3.832125
倍面積計			42,536.529710
倍面積 / 2 = 面積			21,268.264855

敷地面積 21,268.26㎡

外部仕上表

	仕上げ		仕上げ		仕上げ
屋 根	エチレンプロピレン樹脂皮膜銅板防水 t=0.4 溶着工法 (NE-0025)	外 壁	フッ素樹脂塗装ガルバニウム鋼板 t=0.4 角型スパンドレル t=19	ポーチ	磁器質タイル張 300角 t=13(無軸Ⅰ類) 視覚障害者用タイル (磁器質タイル)
	下 地 : アスファルトルーフィング敷込		下 地 : 防水シート757mm幅・フック22kg貼り + 構造用合板 t=15 + グラスウール 24K t=100	軒 裏	耐湿ロックウール化粧吸音板 t=12 (NM-8599) 下地 : 耐水石膏ボード t=12.5 (NM-8619) + 木下地
	野地板 : 構造用合板 t=15		ガラスウール 16K t=100 (+ 構造用合板 t=15 + 石膏ボード t=15) + 防湿シート※リフレンフォーム t=0.15	建 具	アルミニウム、 木製
	断熱材 : 発泡ウレタン吹付 t=75			昇降機	1台 600kg 9人乗 かご内寸法 1050X1520X2300mm
		外部化粧梁 等 笠木		地下防水	外壁 : 改質757mmシート防水 t=3.2 (冷工法) 床 : 改質757mmシート防水 t=3.2 (冷工法)、保護シート t=6 (※リフレン低発泡性シート)
			フッ素樹脂塗装ガルバニウム鋼板 t=0.4	バルコニー	床 : 再生木材 手摺 : アルミ製 H=1,100
			防鳥ワイヤー・ワイヤー SUS ニットメッシュ仕上 / 支柱 スチールクロムメッキ仕上		

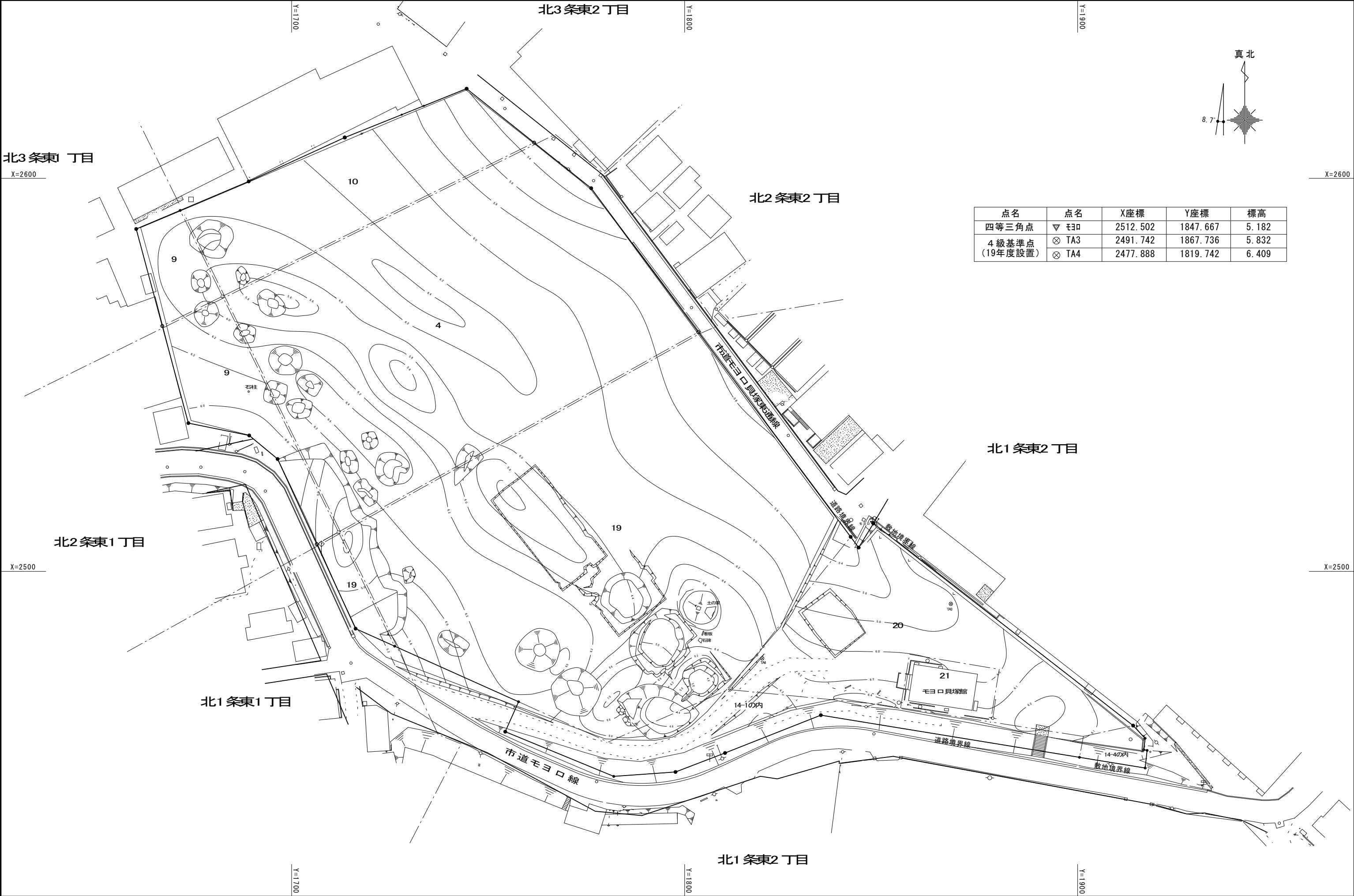
内部仕上表

階	室名	床		巾木	壁		認定番号等	天井		認定番号等	廻り縁	天井高	取付物	備考
地下 1 階	展示室 (3)	仕上	ビニル床シート t=2.5	木製 CL H=75	仕上	ビニルクロス貼	NM-8619	仕上	RC打放し	NM-8599	塩ビ製	2,500~2,700 吹抜 5.621		手摺、消火器 (別途)、消火器ケース、防煙たれ壁
		下地	構造用合板 t=12+木下地+押出法※リフレンフォーム保温板 t=50+モルタル珪砂 (以下ビニル床シート①)		下地	石膏ボード t=12.5 木下地+押出法※リフレンフォーム保温板 t=50		下地	天井一部・吹抜部分 : ロックウール化粧吸音板 t=9 石膏ボード t=12.5+木下地					
1 階	階段室 (3)	仕上	段部 : ビニル床シート t=2.5 アンダーレイシート t=4+構造用合板 t=24 (以下ビニル床シート) 段部 : 階段用ノスリッパ SUS304 HL 4台入	木製 CL H=75	仕上	ビニルクロス貼	NM-8619	仕上	ロックウール化粧吸音板 t=9 石膏ボード t=12.5+ガラスウール t=50 +木下地 (以下ロックウール①)	NM-8599 NM-8619	塩ビ製	2,600 (1FLより)	ビクトリア 点字ブロック (塩ビ)	手摺
	下地		下地		石膏ボード t=12.5 木下地+押出法※リフレンフォーム保温板 t=50 (地下部分)	下地			NM-8619					
	展示室 (1)	仕上	ビニル床シート t=2.5 モルタル (以下 ビニル床シート④)	木製 CL H=75	仕上	ビニルクロス貼	NM-8619	仕上	ロックウール①	NM-8599 NM-8619	塩ビ製	2,600	ブラインドボックス	展示間仕切り
	下地		下地		石膏ボード t=12.5 (外壁側 : 防湿シート※リフレンフォーム貼り t=0.15)	下地			NM-8619					
	ロビー ミュージアムショップ コーナ	仕上	フローリング t=15 (化粧合板 t=12+緩衝材 t=3) 構造用合板 t=15+※リフレンシート t=0.15 +木下地+押出法※リフレンフォーム保温板 t=50 (以下フローリング)	木製 CL H=75	仕上	ビニルクロス貼	NM-8619	仕上	ロックウール①	NM-8599 NM-8619	塩ビ製	2,600	ブラインドボックス ビクトリア	点字ブロック (塩ビ)、消火器 (別途)、消火器ボックス (埋込) 受付カウンター、床下点検口、ビッドタラップ
	事務室	仕上	フローリング		下地	石膏ボード t=12.5 (外壁側 : 防湿シート※リフレンフォーム貼り t=0.15)		下地						
	E V	仕上	防水モルタル仕上 t=30 RC 打放し		仕上	防水モルタル t=30 (1FL±0~-1,280) 石膏ボード t=12.5 (1FL±0~-) (外壁側 : 防湿シート※リフレンフォーム貼り t=0.15)	NM-8619	仕上					ビクトリア	昇降機、昇降路
	だれでもトイレ	仕上	ビニル床シート t=2.5 構造用合板 t=15+木下地+押出法※リフレンフォーム保温板 t=50 (以下 ビニル床シート②)		仕上	タイル張 150X150 t=5.5 (施釉Ⅲ類) 耐水石膏ボード t=12.5 (以下 タイル張) (外壁側 : 防湿シート※リフレンフォーム貼り t=0.15)	NM-9639	仕上	ロックウール①	NM-8599 NM-8619	塩ビ製	2,500	ビクトリア	シタメツクX1、フックX2、多目的シート、ベビーチェア、チャームボックス はね上げ式手摺、L型補助手摺、背もたれ、鏡、おしよけサイン 床下点検口、ビッドタラップ
	男子便所	仕上	ビニル床シート② おだれ石 t=12.5		仕上	タイル張 (外壁側 : 防湿シート※リフレンフォーム貼り t=0.15)	NM-9639	仕上	ロックウール①	NM-8599 NM-8619	塩ビ製	2,500	ビクトリア	トイレブース、L型補助手摺、小便器用補助手摺、手洗補助手摺、鏡 ベビーチェア、洗面カウンター、洗面所ライニング、小便器ライニング おだれ石、床下点検口、ビッドタラップ
	女子便所	仕上	ビニル床シート②		仕上	タイル張 (外壁側 : 防湿シート※リフレンフォーム貼り t=0.15)	NM-9639 NM-9639	仕上	ロックウール①	NM-8599 NM-8619	塩ビ製	2,500	ビクトリア	トイレブース、L型補助手摺、手洗補助手摺、鏡、ベビーチェア 洗面カウンター、洗面所ライニング、掃除用ライニング 床下点検口、ビッドタラップ
	遺構展示室	仕上	ビニル床シート② (Y3+2,250~Y6間 ビッド部分 : 押出法※リフレンフォーム保温板 t=50)	木製 CL H=75	仕上	ビニルクロス貼	NM-8619	仕上	ロックウール化粧吸音板 t=9 石膏ボード t=12.5+木下地 (以下 ロックウール②)	NM-8599 NM-8619	塩ビ製	4,201~5,902 一部 2,600		ガラス床、手摺、消火器 (別途)、消火器ケース 下り天井
	展示回廊	仕上	ビニル床シート②		下地	石膏ボード t=12.5 (外壁側 : 防湿シート※リフレンフォーム貼り t=0.15)		下地	ロックウール①	NM-8599 NM-8619	塩ビ製	2,600		床下点検口、ビッドタラップ
	風除室	仕上	タイル張 300角 t=13 (無釉Ⅰ類) モルタル スラブ下 : 押出法※リフレンフォーム保温板 t=50	木製 CL H=75	仕上	ビニルクロス貼	NM-8619	仕上	ロックウール①	NM-8599 NM-8619	塩ビ製	2,600		点字ブロック (磁器質タイル)
	階段室 (1)	仕上	段部 : ビニル床シート t=2.5 FL部 : ビニル床シート③④ アンダーレイシート t=4 段部 : 階段用ノスリッパ SUS304 HL 4台入		下地	石膏ボード t=12.5 (外壁側 : 防湿シート※リフレンフォーム貼り t=0.15)		下地	ロックウール②	NM-8599 NM-8619	塩ビ製	5,785~6,674 (1FLより)		手摺 点字ブロック (塩ビ)
2 階	階段室 (2)	仕上	段部 : ビニル床シート t=2.5 FL部 : ビニル床シート②③ アンダーレイシート t=4 段部 : 階段用ノスリッパ SUS304 HL 4台入	木製 CL H=75	仕上	ビニルクロス貼	NM-8619	仕上	ロックウール②	NM-8599 NM-8619	塩ビ製	4,204~6,227 (1FLより)		手摺 点字ブロック (塩ビ)
	下地		下地		石膏ボード t=12.5 (外壁側 : 防湿シート※リフレンフォーム貼り t=0.15)	下地			NM-8619					
	展示室 (2)	仕上	ビニル床シート t=2.5 構造用合板 t=15+木下地 (以下 ビニル床シート③)	木製 CL H=75	仕上	ビニルクロス貼	NM-8619	仕上	ロックウール②	NM-8599 NM-8619	塩ビ製	2,400~3,705 (2FLより)	ブラインドボックス	消火器 (別途)、消火器ケース、避難用ロープはしご 展示間仕切り
	下地		下地		石膏ボード t=12.5 (外壁側 : 防湿シート※リフレンフォーム貼り t=0.15)	下地			NM-8619					
		展示海廊	仕上	ビニル床シート③	木製 CL H=75	仕上	ビニルクロス貼	NM-8619	仕上	ロックウール②	NM-8599 NM-8619	塩ビ製	2,627~3,619 (2FLより)	ブラインドボックス
	E V	仕上		下地		石膏ボード t=12.5 (外壁側 : 防湿シート※リフレンフォーム貼り t=0.15)	下地		石膏ボード t=12.5 木下地	NM-8619		3,400 (2FLより)	ビクトリア	点字ブロック (塩ビ)
	床下ビット	仕上	RC 打放し		仕上	押出法ポリスチレンフォーム保温板 t=50 (外部側) RC 打放し		仕上						

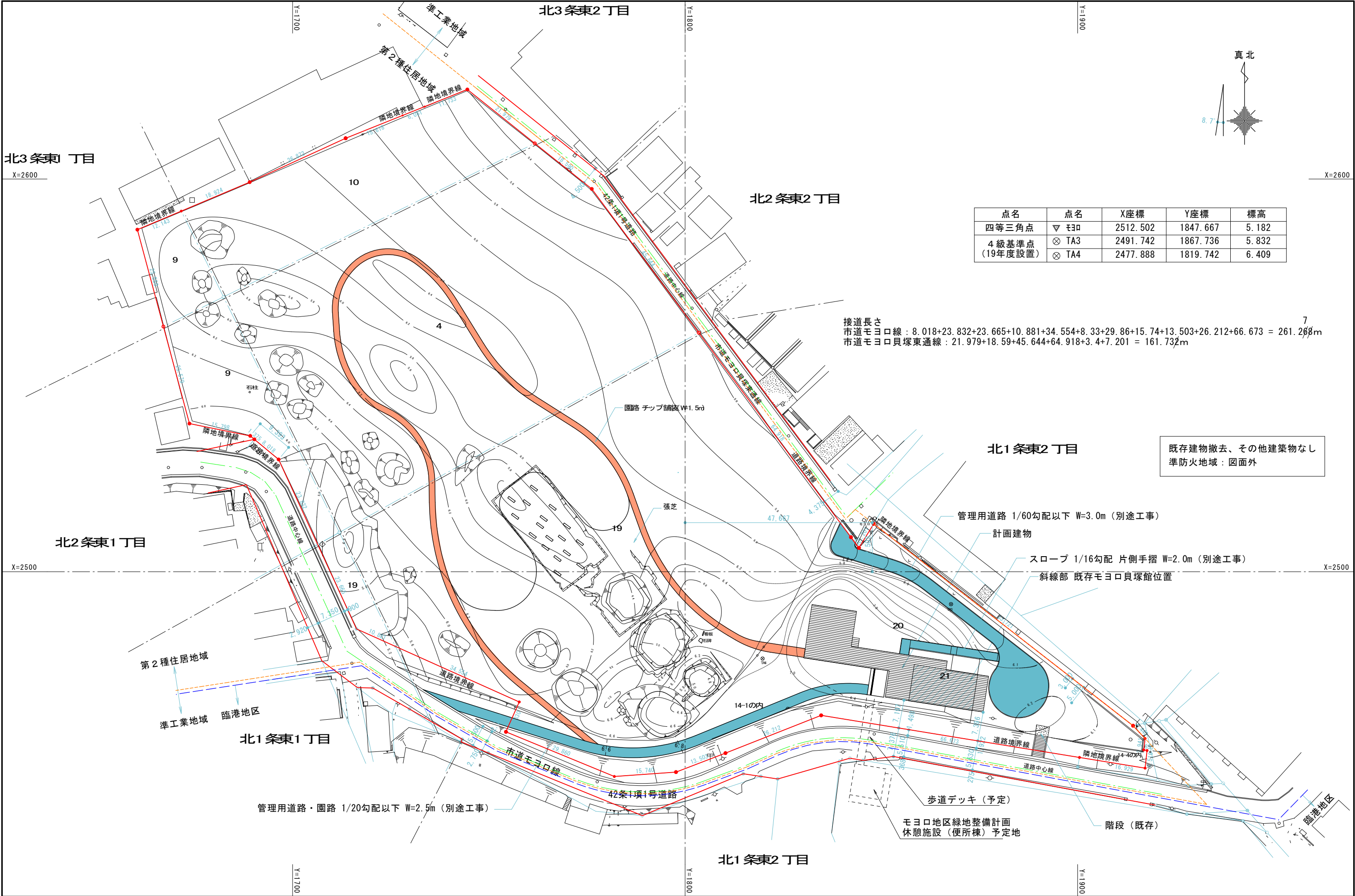
特記事項 : ホルムアルデヒド放散量は、特記がなければ、F☆☆☆☆とする。
柱、化粧梁、方杖の木部見え掛り部分は、CLとする。

別途工事

変更後



点名	点名	X座標	Y座標	標高
四等三角点	▽ ㊦	2512.502	1847.667	5.182
4級基準点 (19年度設置)	⊗ TA3	2491.742	1867.736	5.832
	⊗ TA4	2477.888	1819.742	6.409



点名	点名	X座標	Y座標	標高
四等三角点	▽ ㊦	2512.502	1847.667	5.182
4級基準点 (19年度設置)	⊗ TA3	2491.742	1867.736	5.832
	⊗ TA4	2477.888	1819.742	6.409

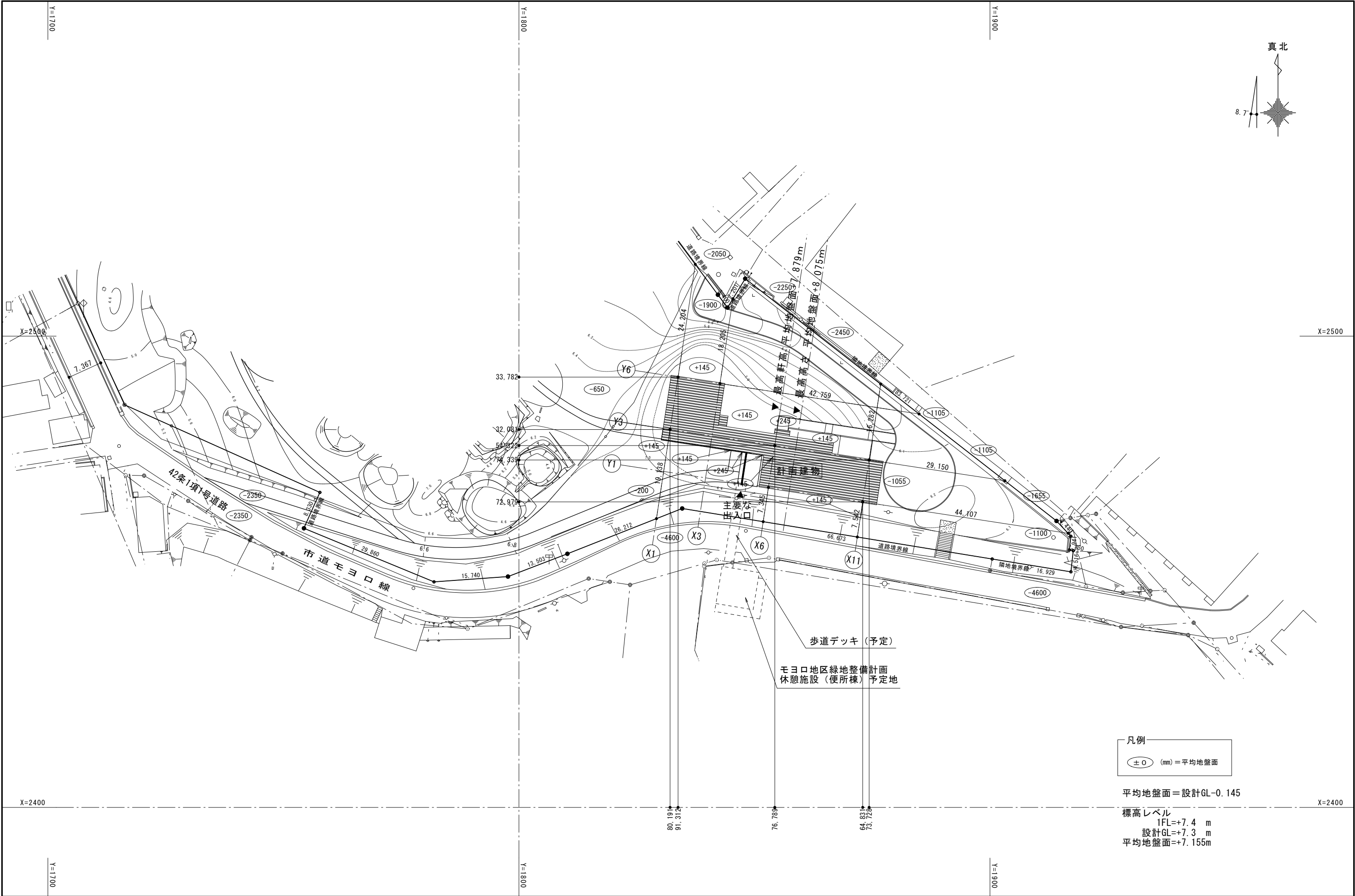
接道長さ
市道モヨロ線：8.018+23.832+23.665+10.881+34.554+8.33+29.86+15.74+13.503+26.212+66.673 = 261.268m
市道モヨロ貝塚東通線：21.979+18.59+45.644+64.918+3.4+7.201 = 161.732m

既存建物撤去、その他建築物なし
準防火地域：図面外

管理用道路 1/60勾配以下 W=3.0m (別途工事)
計画建物
スロープ 1/16勾配 片側手摺 W=2.0m (別途工事)
斜線部 既存モヨロ貝塚位置

管理用道路・園路 1/20勾配以下 W=2.5m (別途工事)

歩道デッキ (予定)
モヨロ地区緑地整備計画
休憩施設 (便所棟) 予定地
階段 (既存)



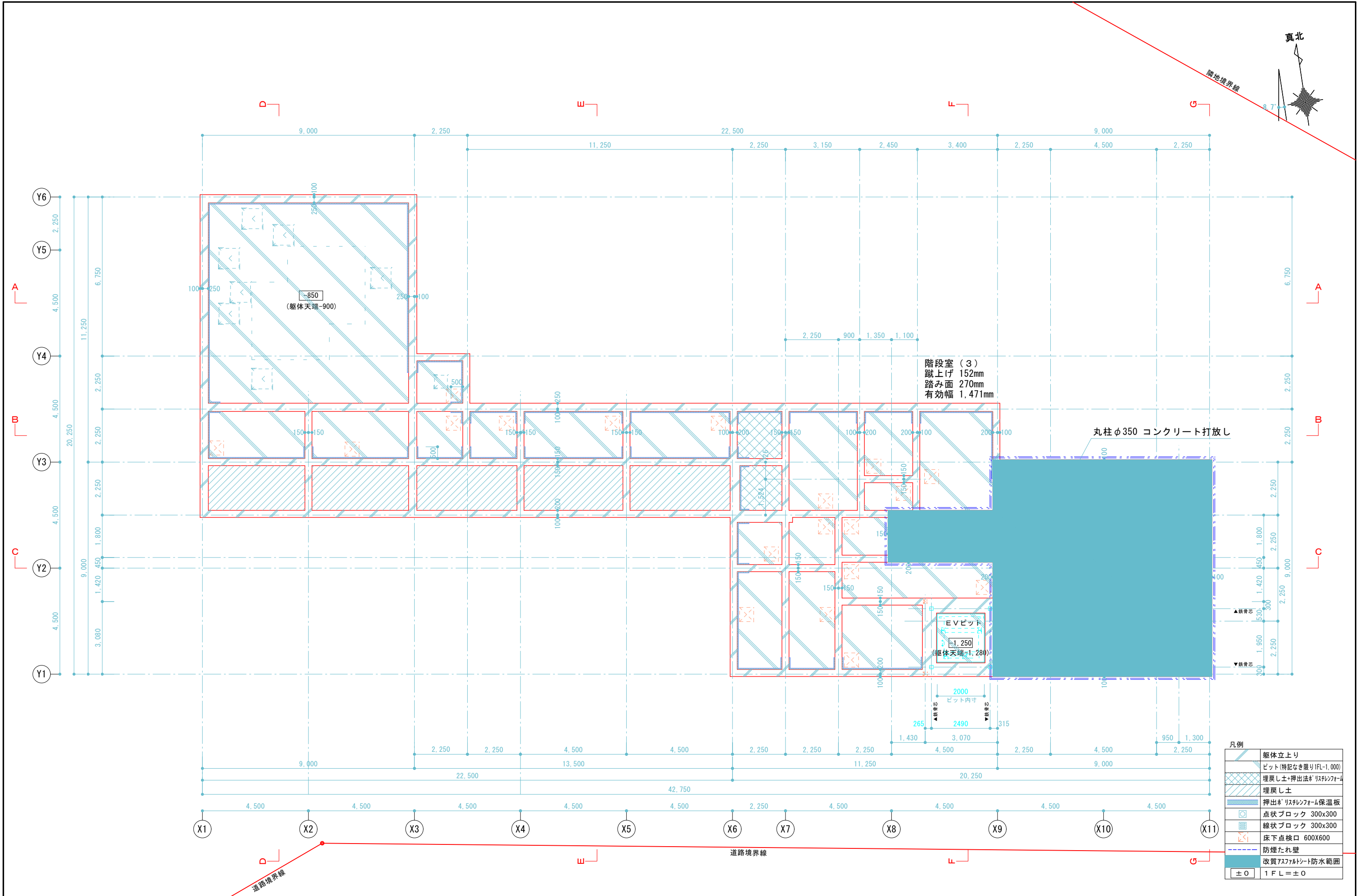
凡例

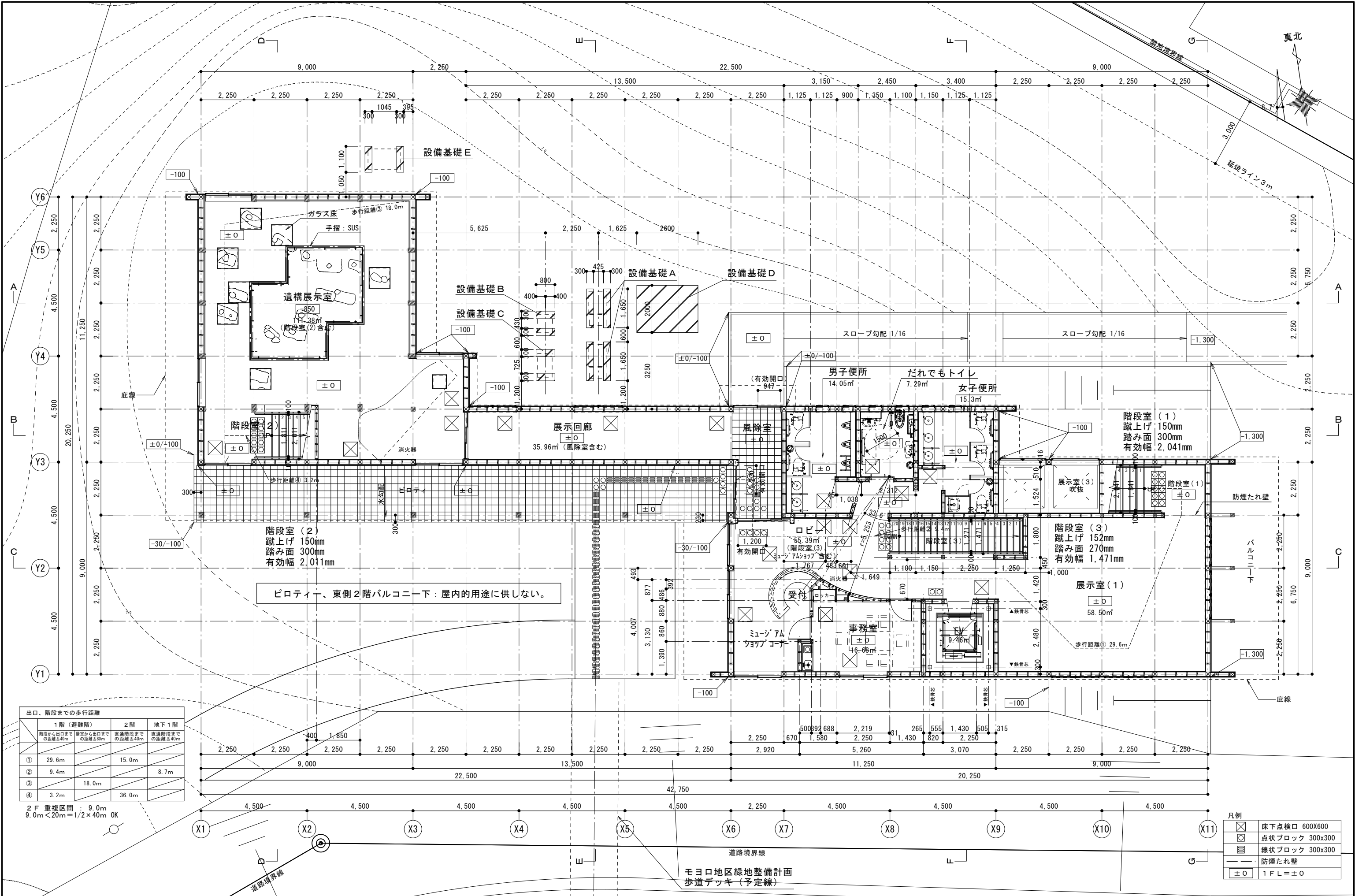
± 0 (mm) = 平均地盤面

平均地盤面 = 設計GL - 0.145

標高レベル
1FL = +7.4 m
設計GL = +7.3 m
平均地盤面 = +7.155m

<div><div>一級建築士事務所 都知事登録 第26373号 一級建築士 大臣登録 第75827号 秋山邦雄</div><div>(株)歴史環境計画研究所</div></div>	設計	照査		設計	照査	網走市	工事名称	図面名	縮尺	図面番号
							史跡最寄貝塚 ガイダンス施設新築工事	計画配置図		

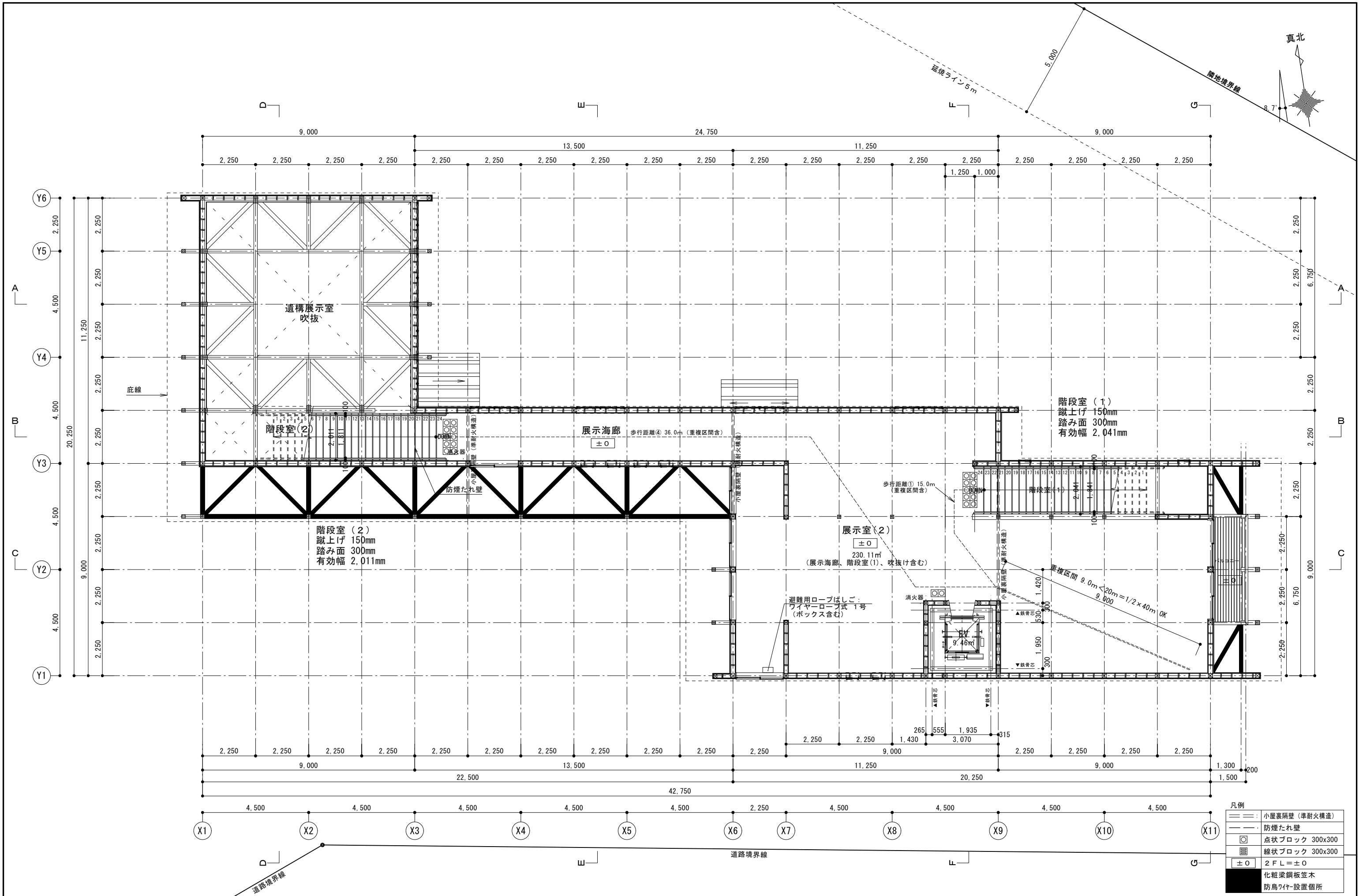


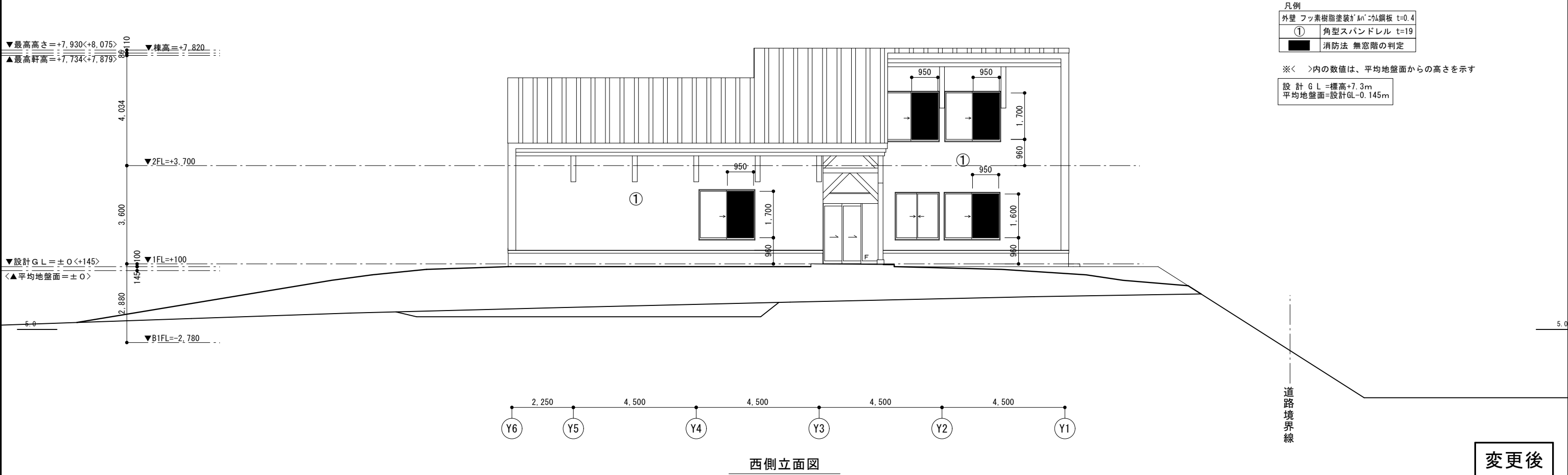
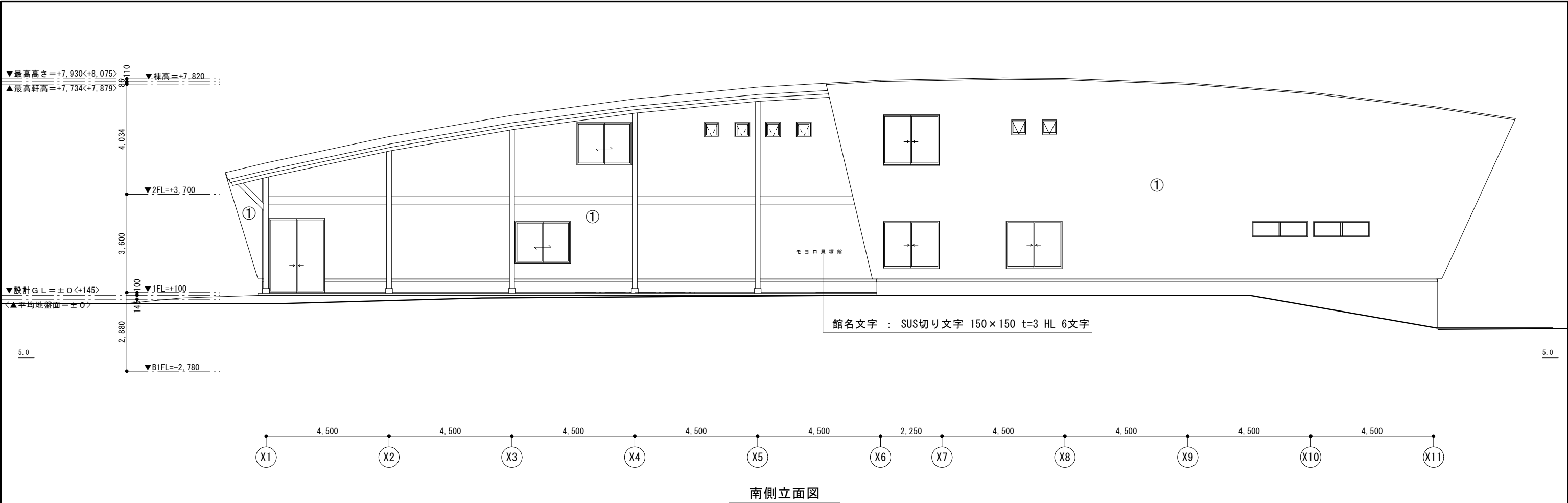


出口、階段までの歩行距離			
	1階（避難階）	2階	地下1階
	階段から出口までの距離≦40m	居室から出口までの距離≦80m	直通階段までの距離≦40m
①	29.6m	15.0m	
②	9.4m		8.7m
③		18.0m	
④	3.2m		36.0m

2 F 重複区間：9.0m
9.0m<20m=1/2×40m OK

凡例	
	床下点検口 600X600
	点状ブロック 300x300
	線状ブロック 300x300
	防煙たれ壁
	1 F L=±0



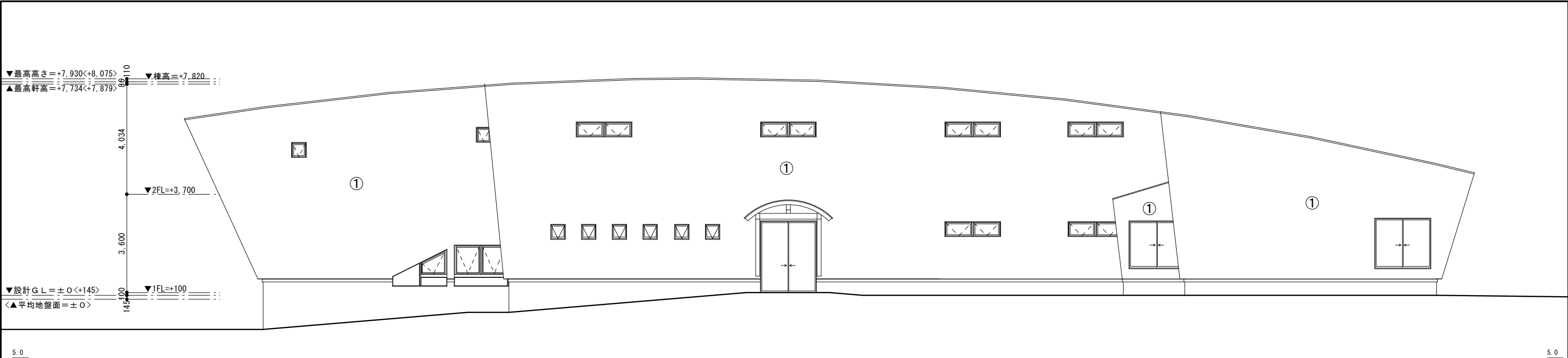


凡例
外壁 フッ素樹脂塗装が 鋼板 t=0.4
① 角型スパンデレル t=19
消防法 無窓階の判定

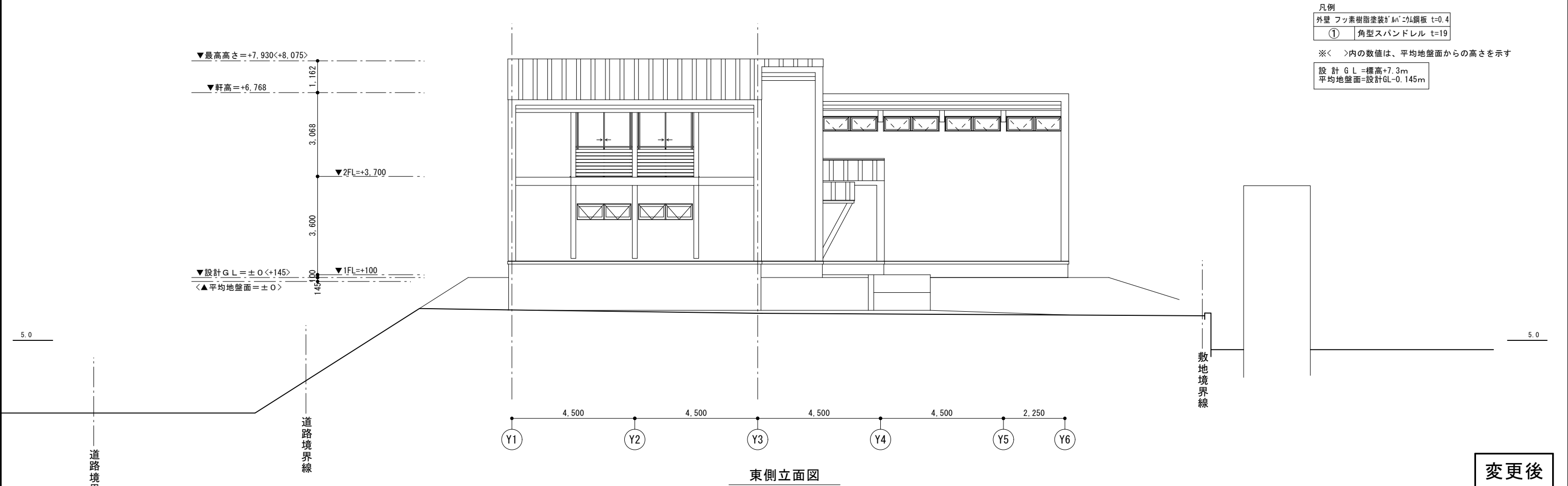
※< >内の数値は、平均地盤面からの高さを示す

設計 G L =標高+7.3m
平均地盤面=設計GL-0.145m

変更後



北側立面図



東側立面図

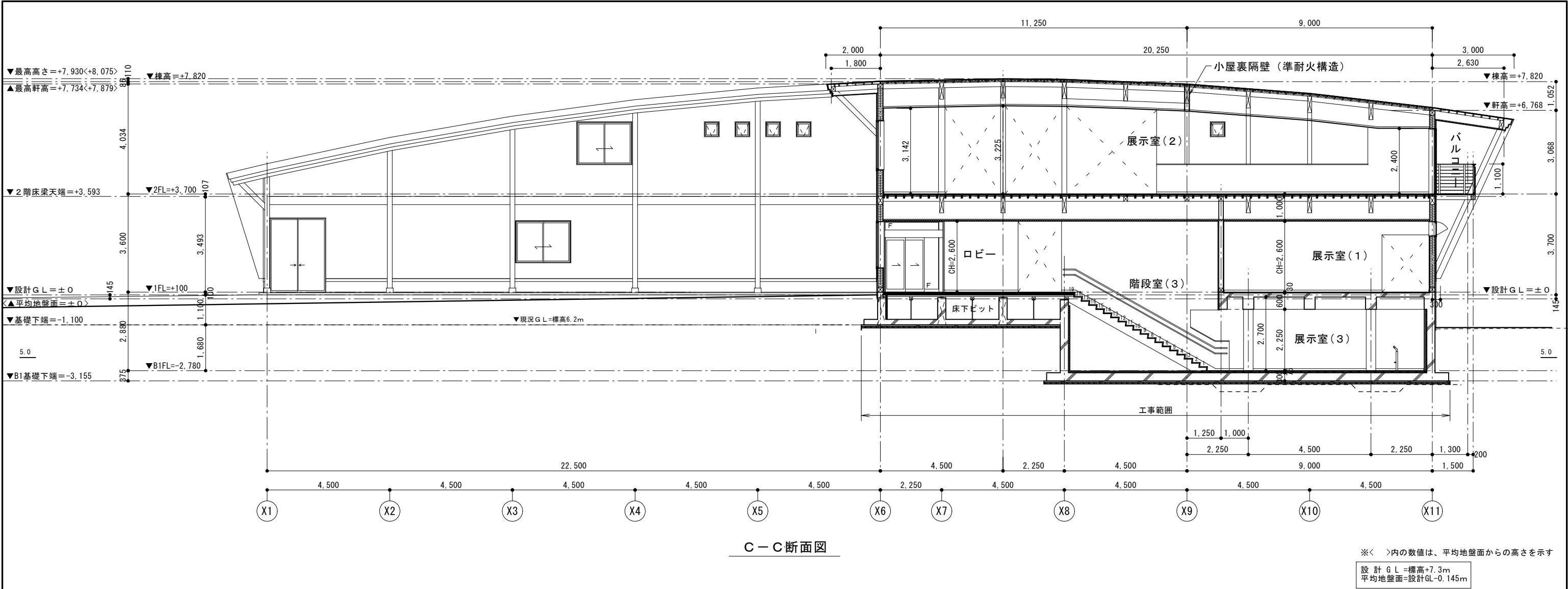
凡例	
外壁	フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板 t=0.4
①	角型スパンドレル t=19

※< >内の数値は、平均地盤面からの高さを示す

設計 G L =標高+7.3m
平均地盤面=設計GL-0.145m

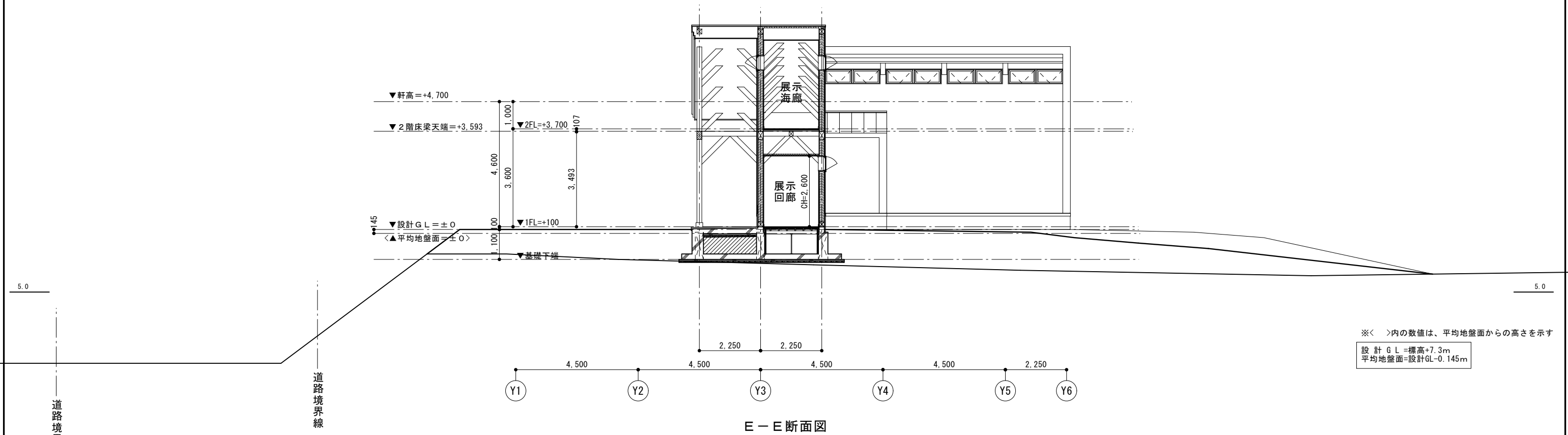
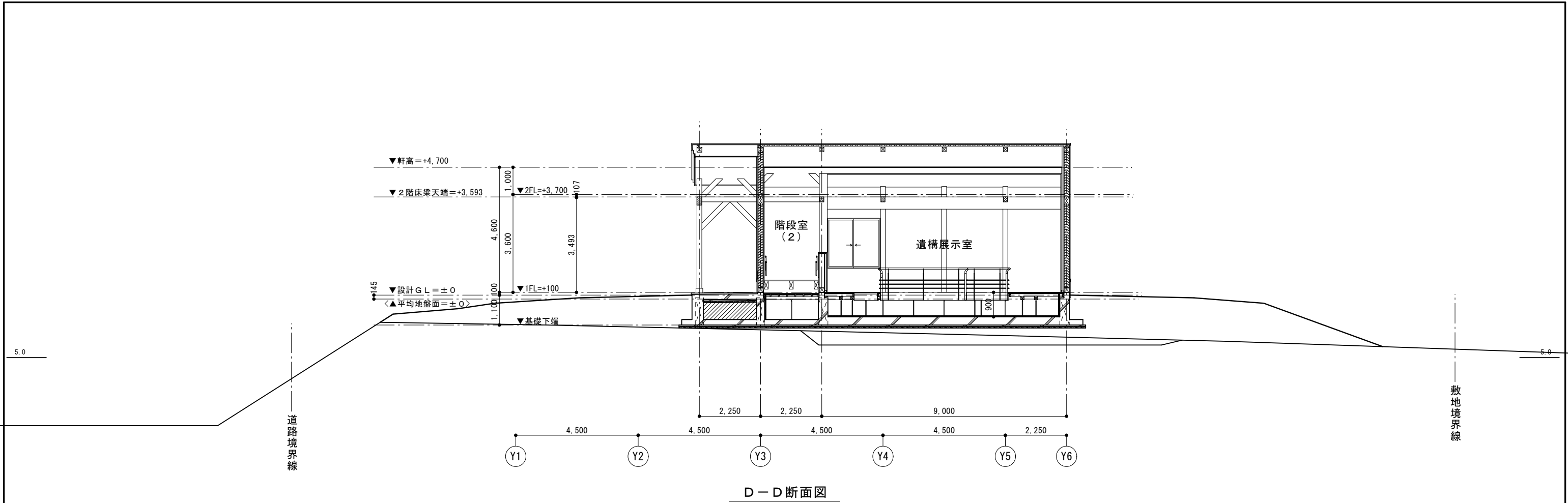
変更後

 (株)歴史環境計画研究所	設計	照査	網走市	工事名称	図面名	縮尺	図面番号
				史跡最寄貝塚 ガイダンス施設新築工事	立面図（2）	1/100	19 / A



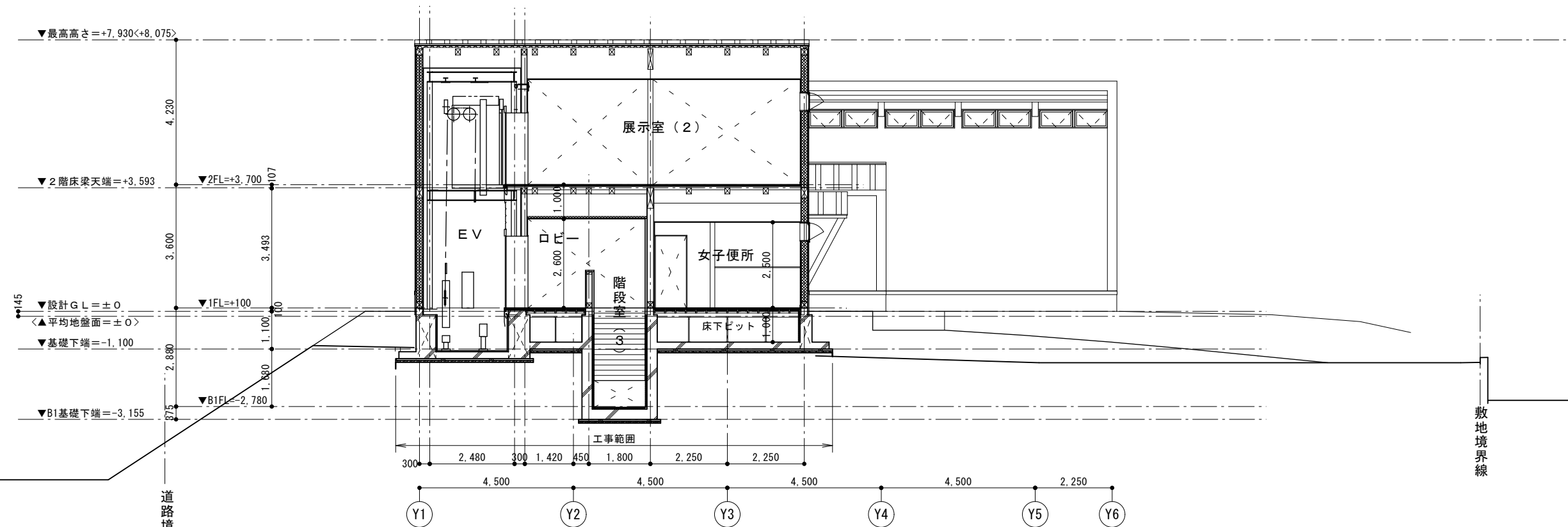
変更後

 <div>一級建築士事務所 都知事登録 第26373号 一級建築士 大臣登録 第75827号 秋山邦雄</div> <div>(株)歴史環境計画研究所</div>	設計	照査		設計	照査	網走市	工事名称	図面名	縮尺	図面番号
							史跡最寄貝塚 ガイダンス施設新築工事	断面図(2)	1/100	21 / A

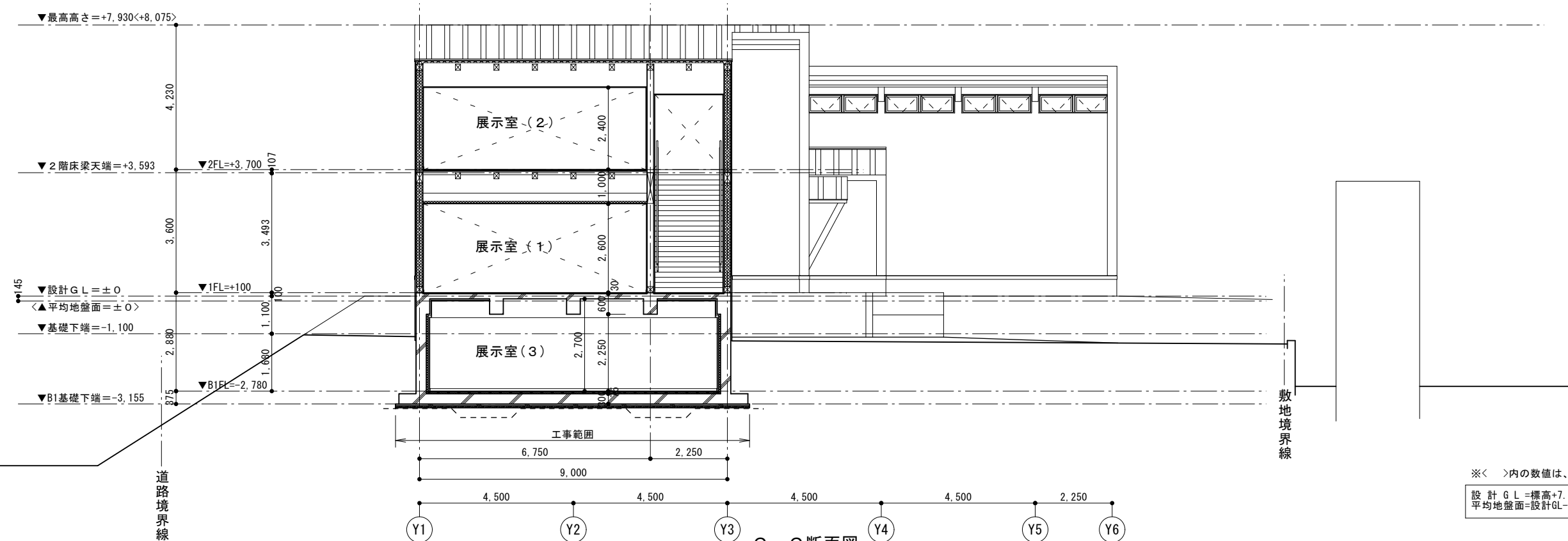


※< >内の数値は、平均地盤面からの高さを示す
設計GL=標高+7.3m
平均地盤面=設計GL-0.145m

 (株)歴史環境計画研究所	設計	照査	網走市	設計	照査	工事名称	図面名	縮尺	図面番号
						史跡最寄貝塚 ガイダンス施設新築工事	断面図 (3)	1/100	22 / A



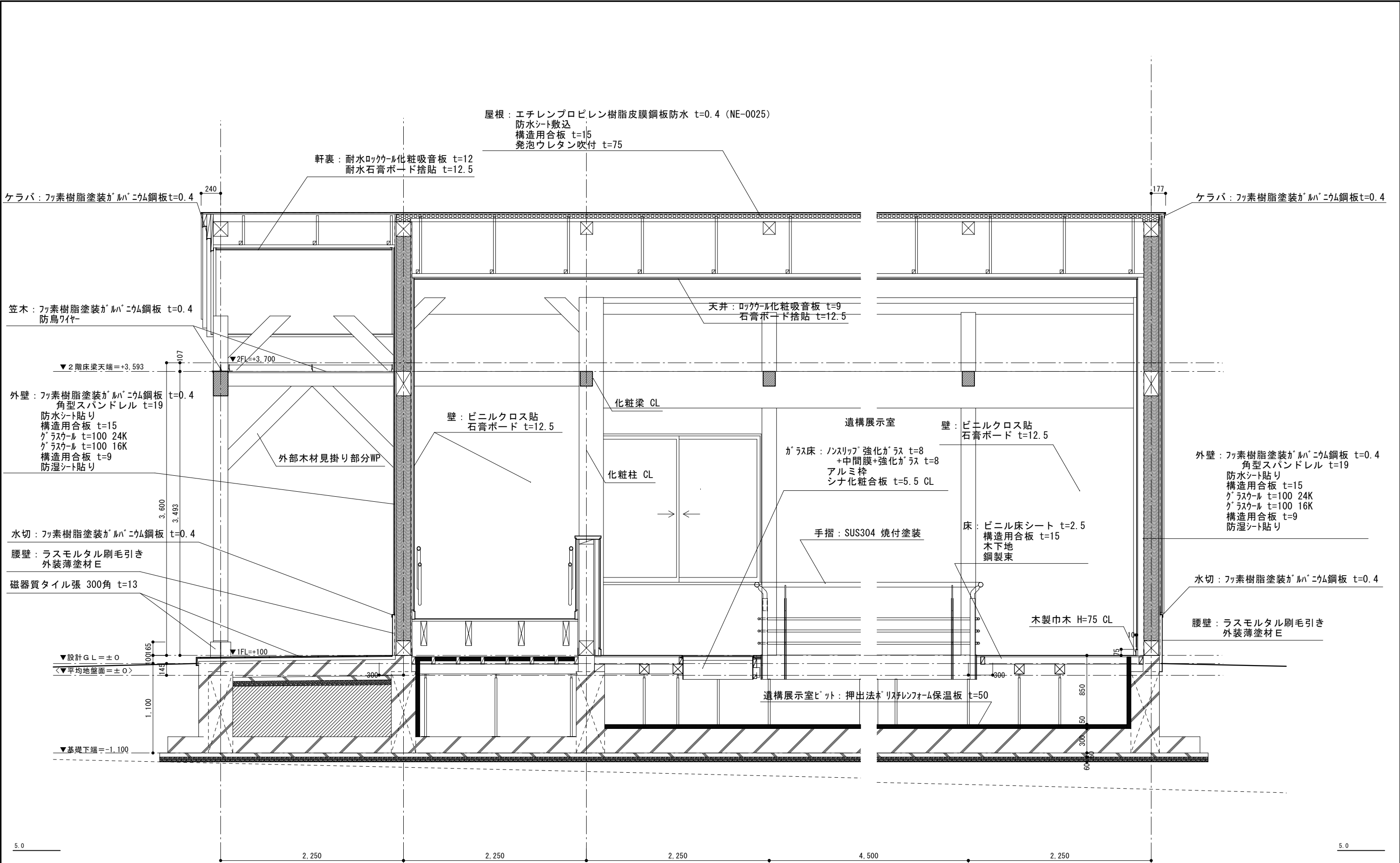
F-F断面図



G-G断面図

※< >内の数値は、平均地盤面からの高さを示す

設計 G.L.=標高+7.3m
平均地盤面=設計GL-0.145m

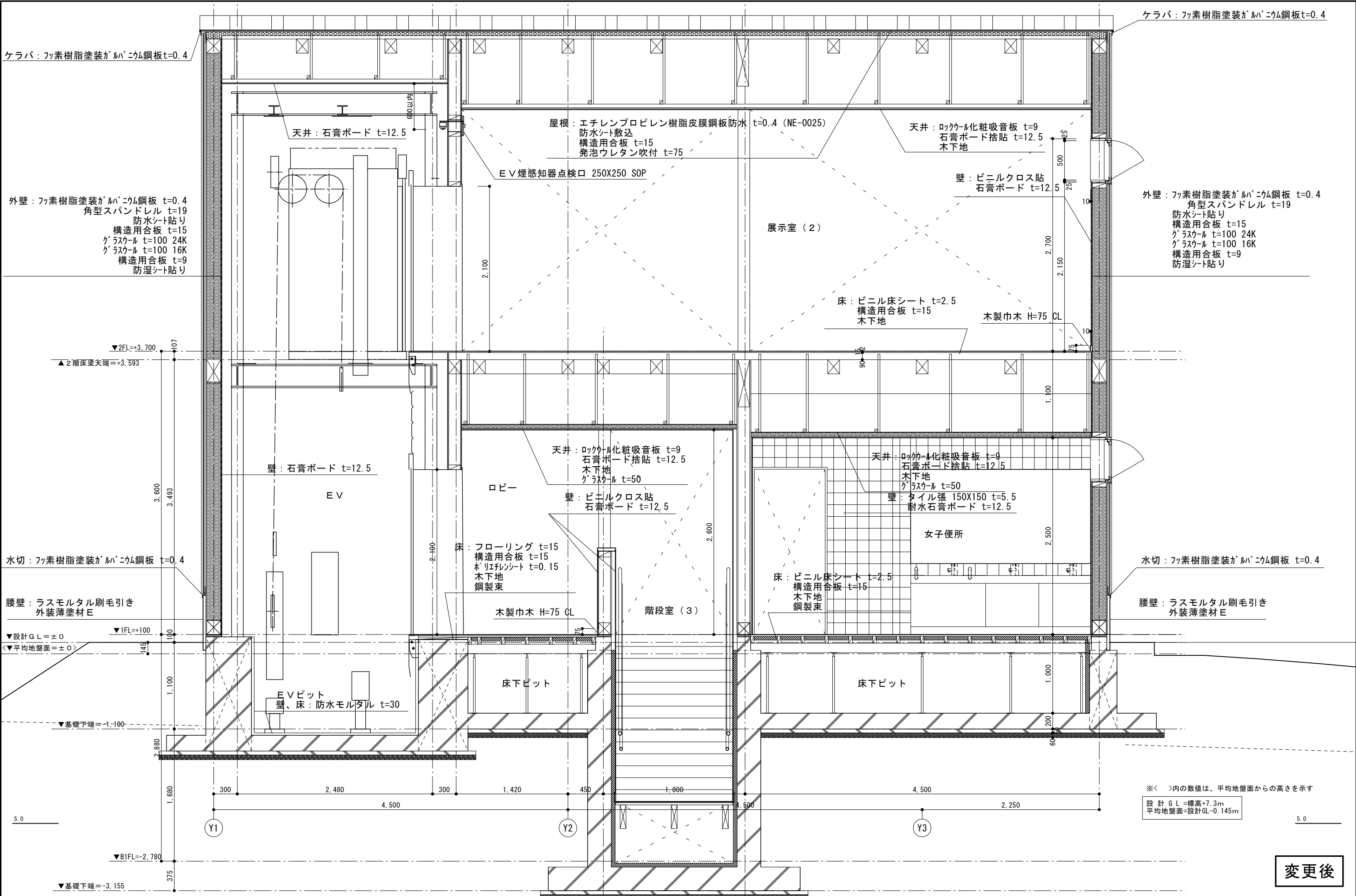


※＜ ＞内の数値は、平均地盤面からの高さを示す

設計GL=標高+7.3m
平均地盤面=設計GL-0.145m

変更後

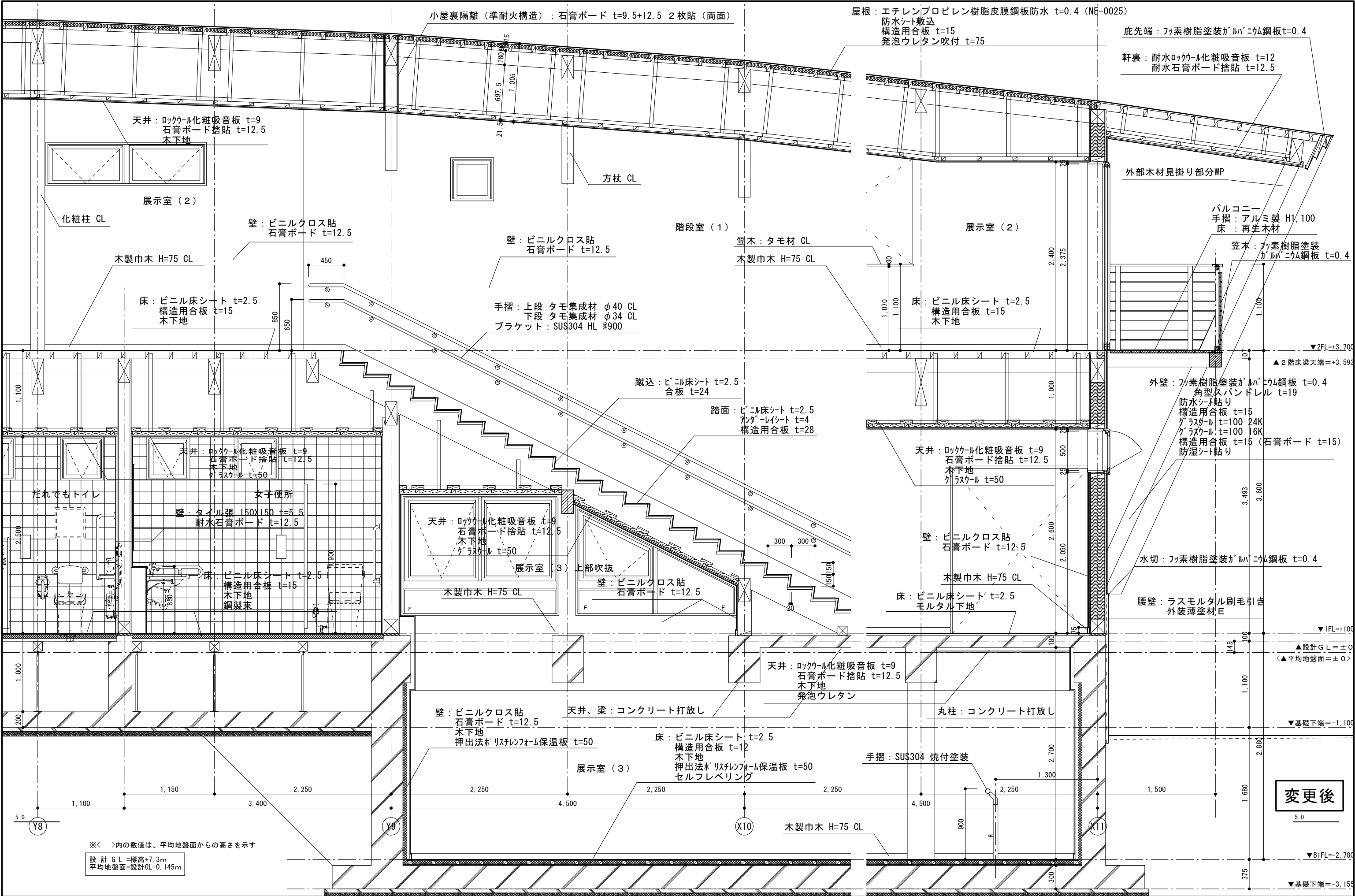
 一級建築士事務所 都知事登録 第26373号 二級建築士 大臣登録 第75827号 秋山邦雄 (株)歴史環境計画研究所	設計	照査		設計	照査	網走市	工事名称	図面名	縮尺	図面番号
							史跡最寄貝塚 ガイダンス施設新築工事	矩形図(2)	1/30	25 / A



※＜ ＞内の数値は、平均地盤面からの高さを示す
設計 G L = 標高+7.3m
平均地盤面=設計GL-0.145m

変更後

 一級建築士事務所 都知事登録 第26373号 二級建築士 大臣登録 第75827号 秋山邦雄 (株)歴史環境計画研究所	設計	照査	設計	照査	網走市	工事名称	図面名	縮尺	図面番号
						史跡最寄貝塚 ガイダンス施設新築工事	矩形図(3)	1/30	26 / A



<div>設計 照査</div> <div>設計 照査</div>	網走市	工事名称 史跡最寄貝塚 ガイダンス施設新築工事	図面名 矩形図（４）	縮尺 1/30	図面番号 27 / A



屋根：エチレンプロピレン樹脂皮膜鋼板防水 t=0.4 (NE-0025)
防水シート敷込
構造用合板 t=15
発泡ウレタン吹付 t=75

軒裏：耐水ロックウール化粧吸音板 t=12
耐水石膏ボード捨貼 t=12.5

庇先端：フッ素樹脂塗装ガルバニウム鋼板t=0.4

外部木材見掛け部分WP

外壁：フッ素樹脂塗装ガルバニウム鋼板 t=0.4
角型スパンドレル t=19
防水シート貼り
構造用合板 t=15
ガラスウール t=100 24K
ガラスウール t=100 16K
防湿シート貼り

屋根：エチレンプロピレン樹脂皮膜鋼板防水 t=0.4
防水シート敷込
構造用合板 t=15
発泡ウレタン吹付 t=75

軒裏：耐水ロックウール化粧吸音板 t=12
耐水石膏ボード捨貼 t=12.5

庇先端：フッ素樹脂塗装ガルバニウム鋼板t=0.4

袖壁：フッ素樹脂塗装ガルバニウム鋼板 t=0.4
角型スパンドレル t=19
アスファルトルーフィング 22kg貼り
構造用合板 t=15

外壁：フッ素樹脂塗装ガルバニウム鋼板 t=0.4
角型スパンドレル t=19
防水シート貼り
構造用合板 t=15
ガラスウール t=100 24K
ガラスウール t=100 16K
構造用合板 t=15
防湿シート貼り

遺構展示室
水切：フッ素樹脂塗装ガルバニウム鋼板 t=0.4

腰壁：ラスモルタル刷毛引き
外装薄塗材E

ガラス床：ハスリップ強化ガラス t=8
+中間膜+強化ガラス t=8
アルミ枠
とど松化粧合板 t=5.5 CL

天井：ロックウール化粧吸音板 t=9
石膏ボード捨貼 t=12.5

水切：フッ素樹脂塗装
ガルバニウム鋼板 t=0.4

壁：ビニルクロス貼
石膏ボード t=12.5

天井：ロックウール化粧吸音板 t=9
石膏ボード捨貼 t=12.5

床：ビニル床シート t=2.5
構造用合板 t=15
木下地
鋼製束

木製巾木 H=75 CL

遺構展示室ビット：押出法ポリスチレンフォーム保温板 t=50

※＜ ＞内の数値は、平均地盤面からの高さを示す
設計GL=標高+7.3m
平均地盤面=設計GL-0.145m

5.0

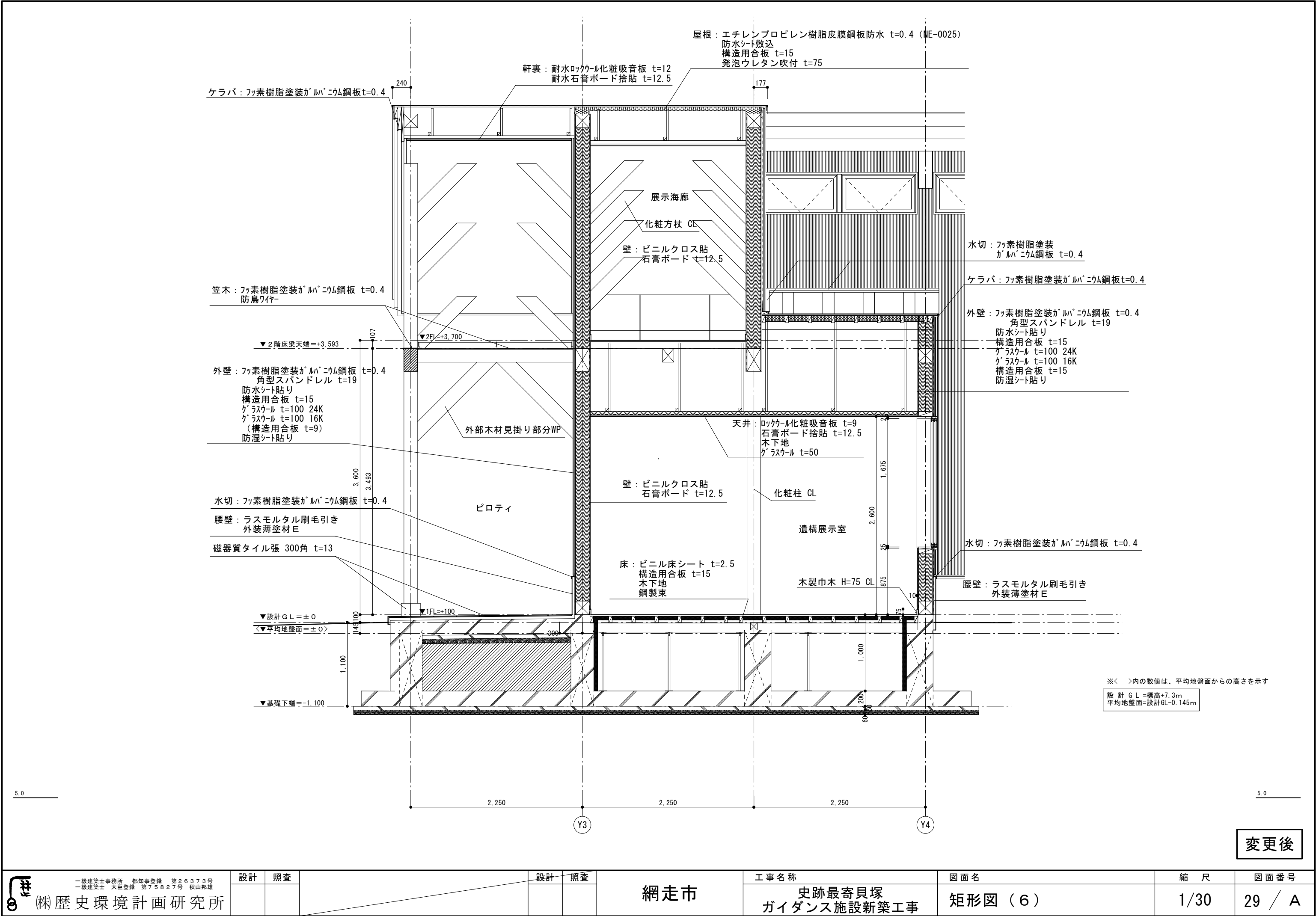
X3

変更後

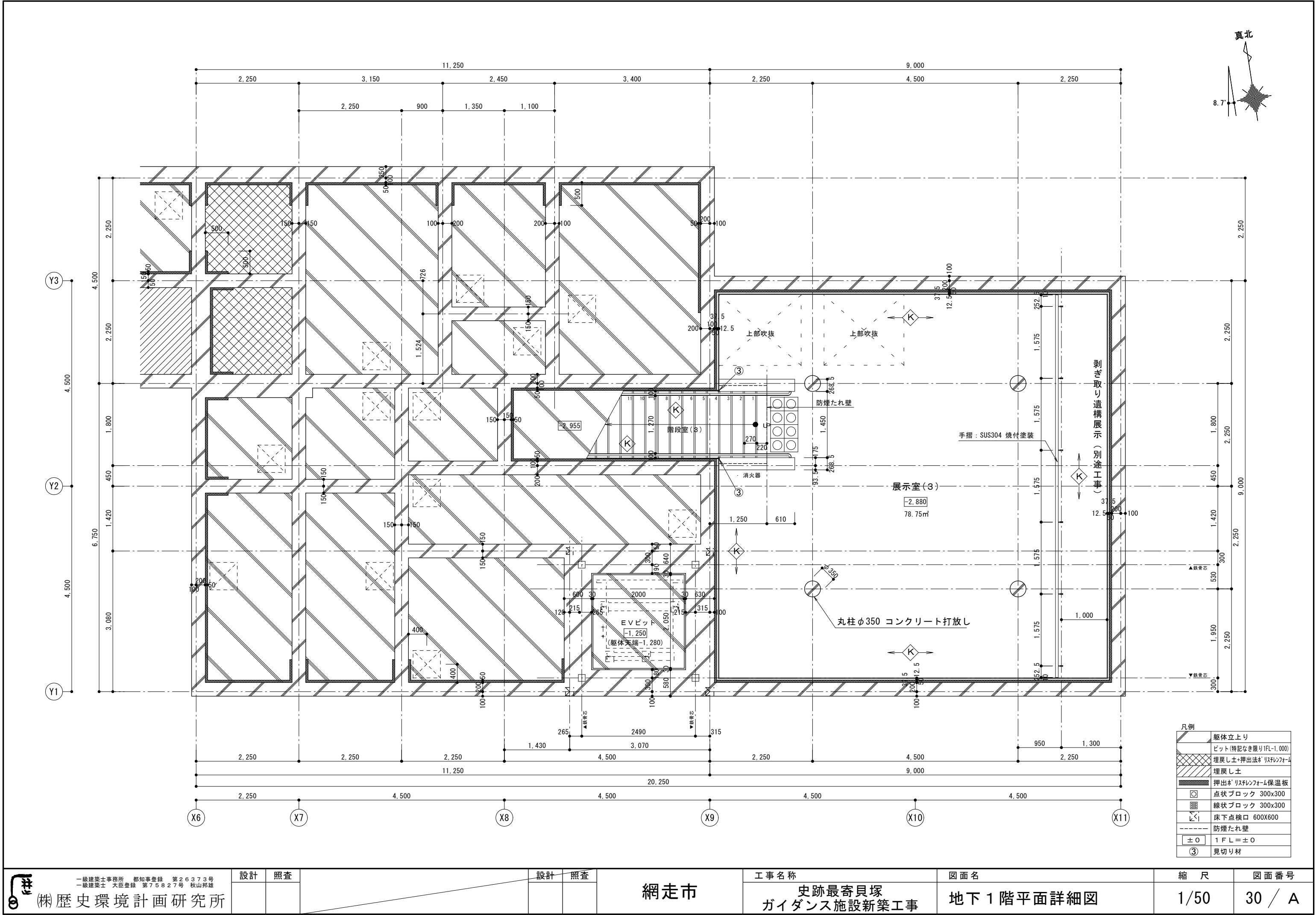
<div><div><div></div></div><div>（株）歴史環境計画研究所</div></div>	設計	照査		設計	照査	網走市	工事名称	図面名	縮尺	図面番号
							史跡最寄貝塚 ガイダンス施設新築工事	矩形図（5）		

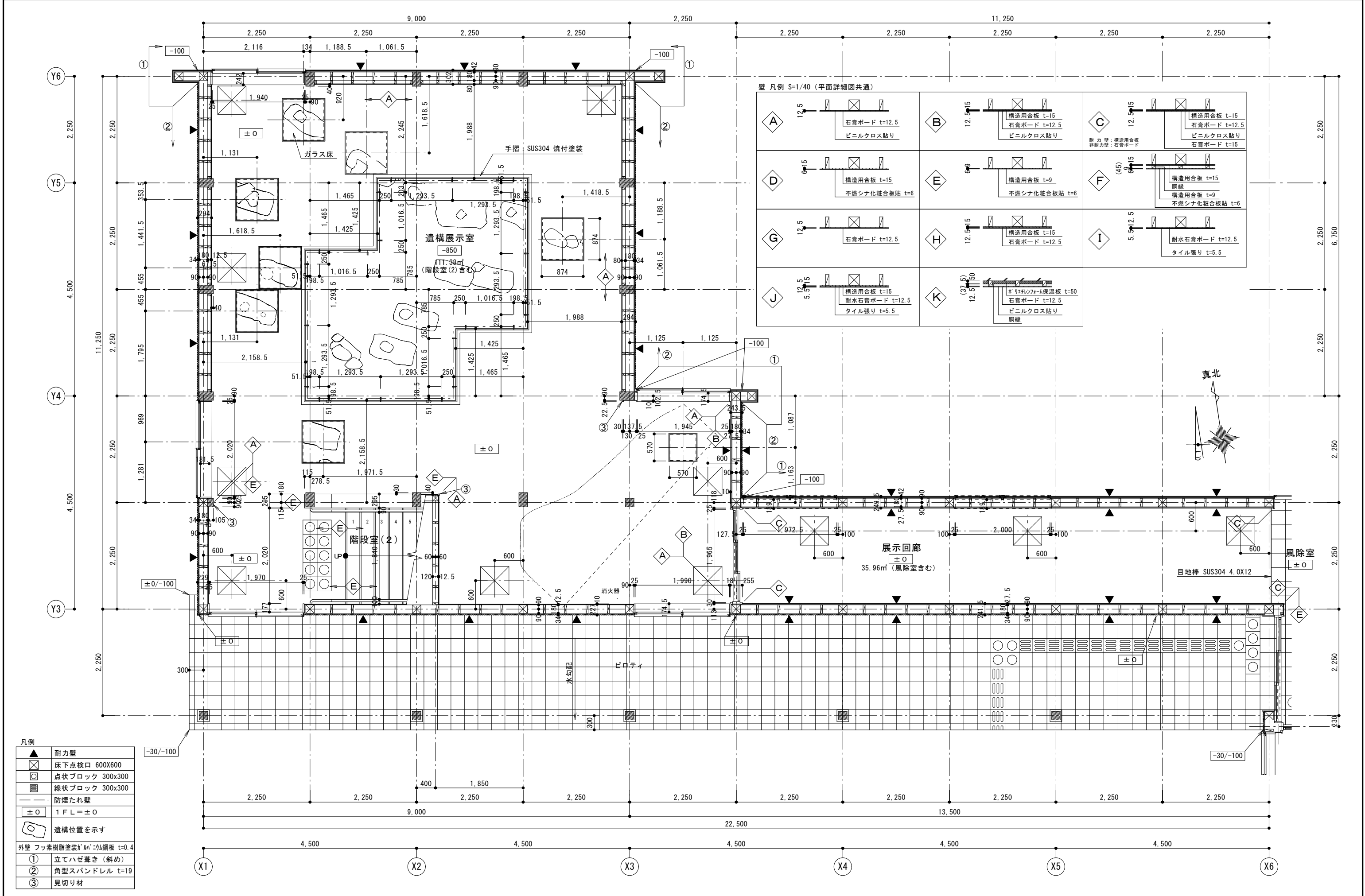
一級建築士事務所 都知事登録 第26373号
一級建築士 大臣登録 第75827号 秋山邦雄

1/30 28 / A



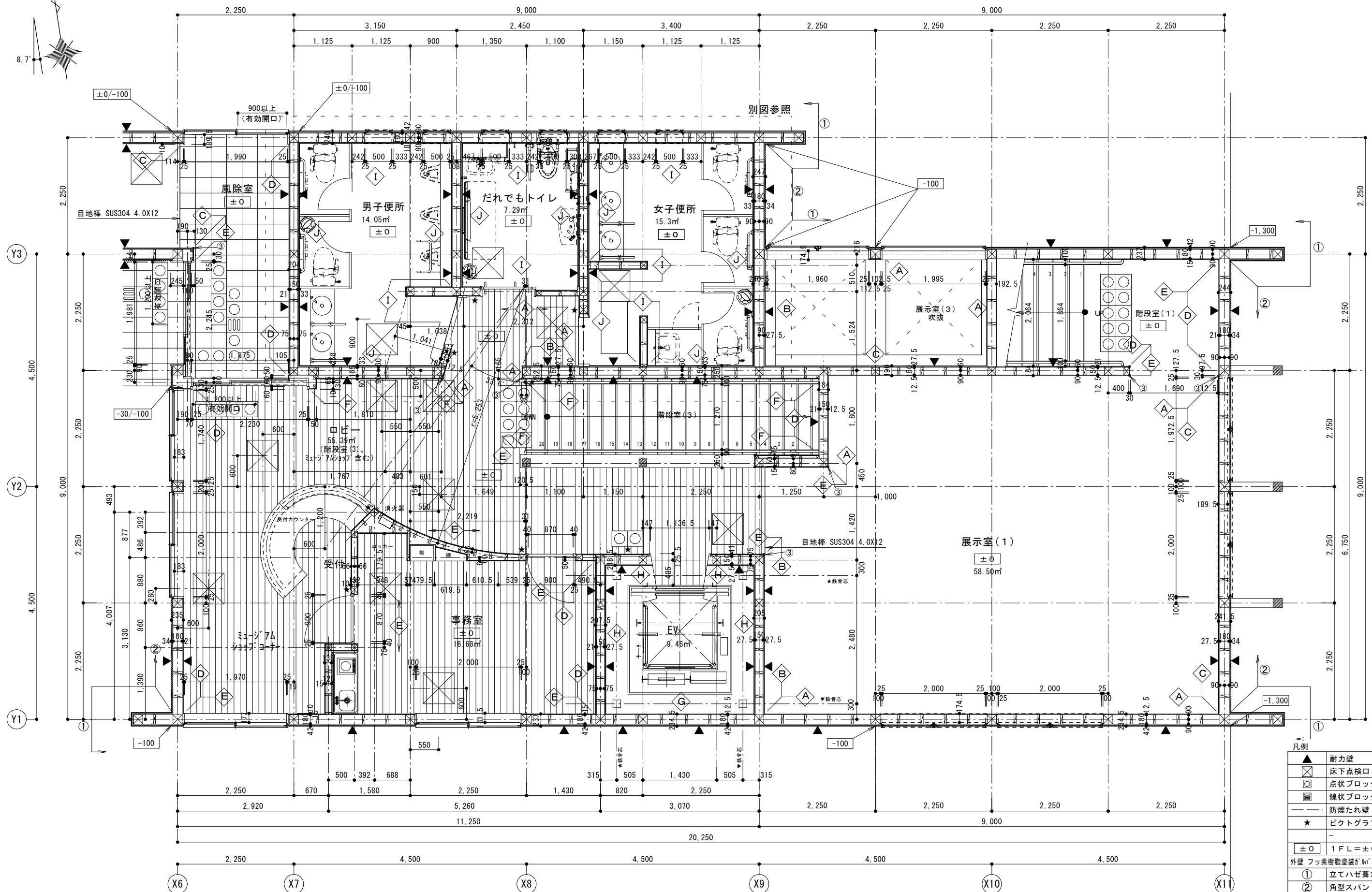
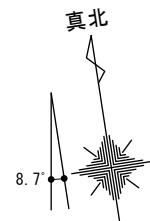
 一級建築士事務所 都知事登録 第26373号 一級建築士 大臣登録 第75827号 秋山邦雄 (株)歴史環境計画研究所	設計	照査	設計	照査	網走市	工事名称	図面名	縮尺	図面番号
						史跡最寄貝塚 ガイダンス施設新築工事	矩形図(6)	1/30	29 / A



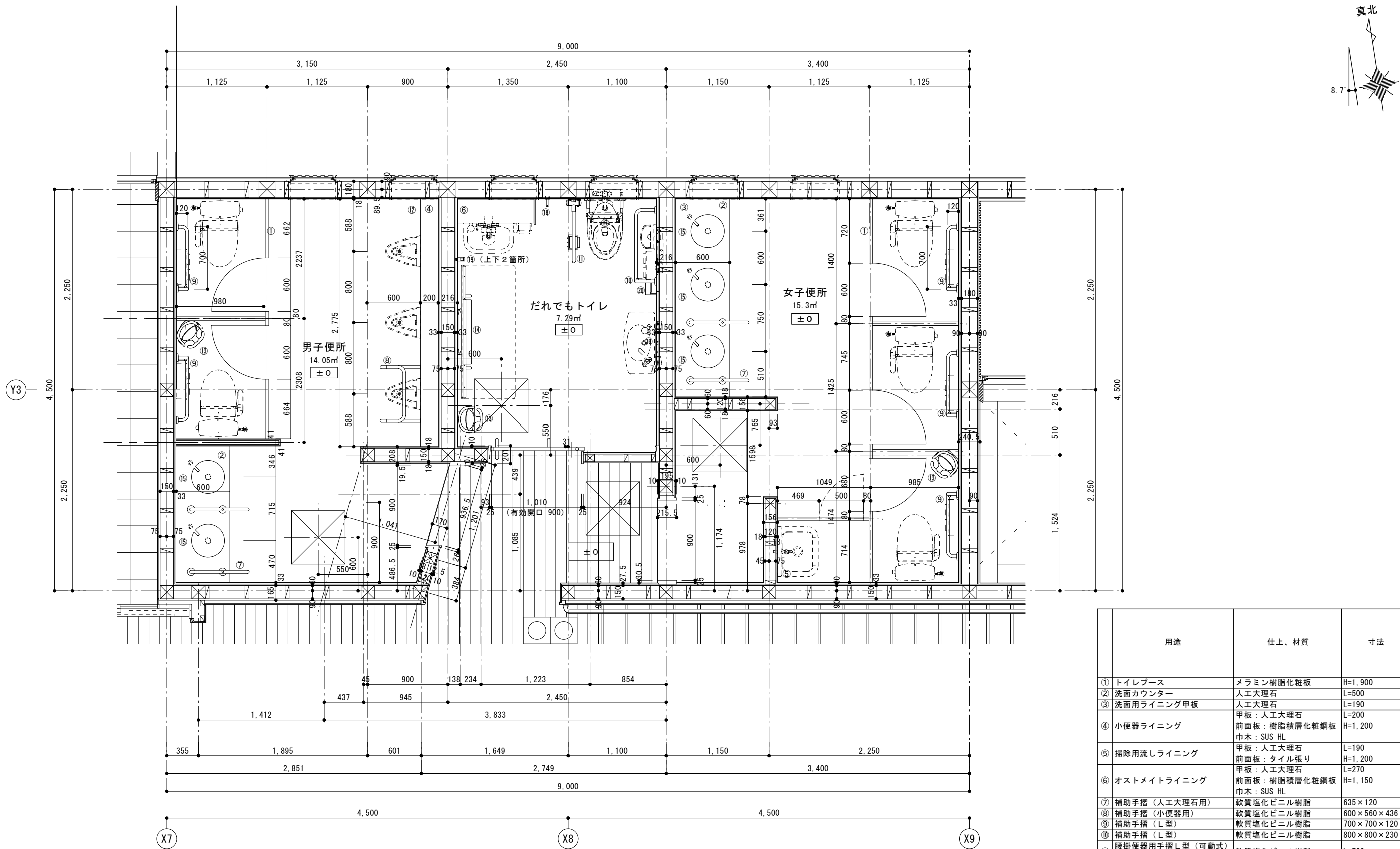


凡例	
	耐力壁
	床下点検口 600X600
	点状ブロック 300x300
	線状ブロック 300x300
	防煙たれ壁
	1 F L = ± 0
	遺構位置を示す
外壁 フッ素樹脂塗装アルミ複合板 t=0.4	
①	立てハゼ葺き (斜め)
②	角型スパンドレル t=19
③	見切り材

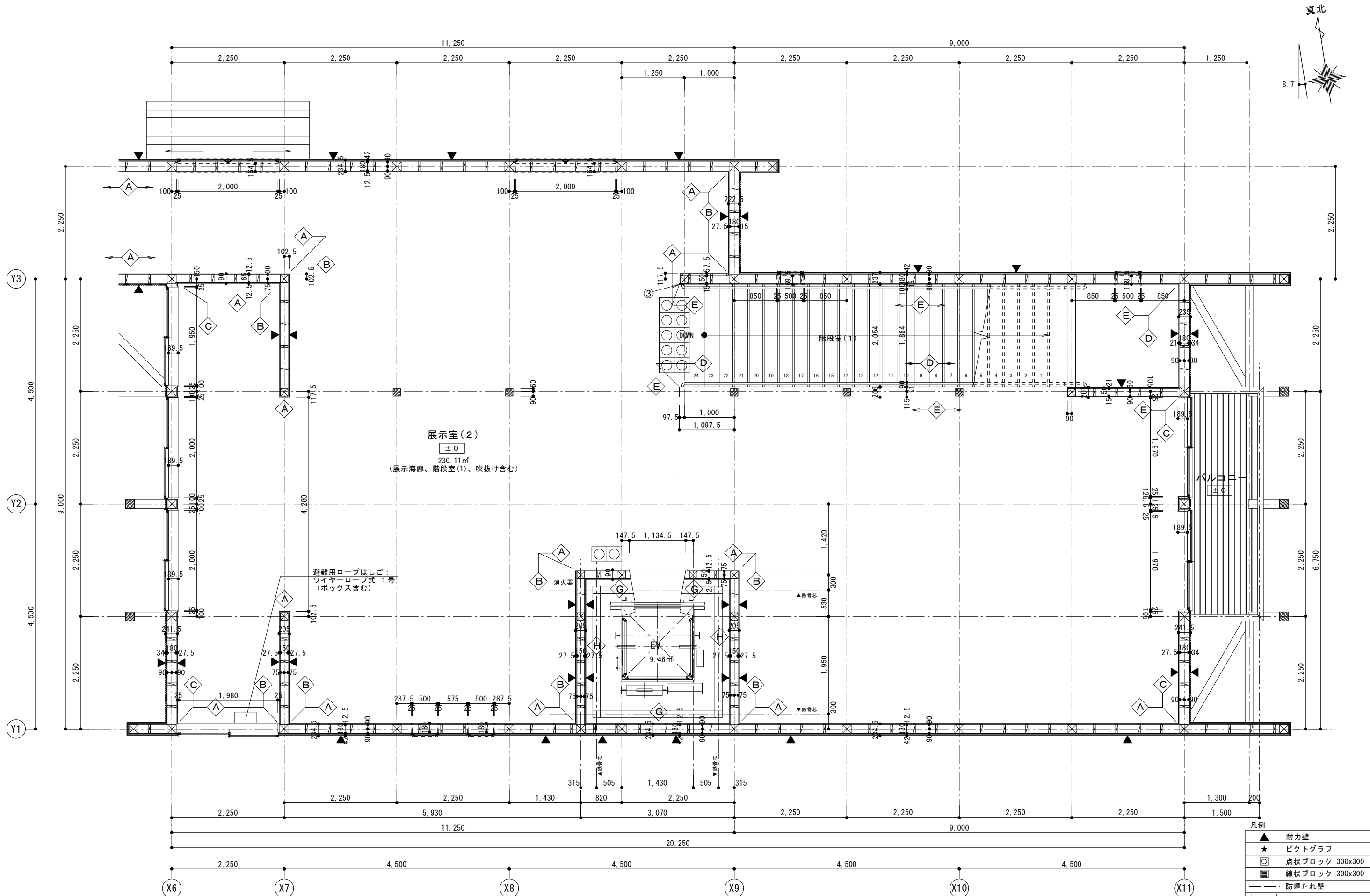
壁 凡例 S=1/40 (平面詳細図共通)			
A		石膏ボード t=12.5 ビニルクロス貼り	
B		構造用合板 t=15 石膏ボード t=12.5 ビニルクロス貼り	
C		構造用合板 t=15 石膏ボード t=12.5 石膏ボード t=15	耐力壁: 構造用合板 非耐力壁: 石膏ボード
D		構造用合板 t=15 不燃シナ化化粧板貼 t=6	
E		構造用合板 t=9 不燃シナ化化粧板貼 t=6	
F		構造用合板 t=15 不燃シナ化化粧板貼 t=6 石膏ボード t=9	
G		石膏ボード t=12.5	
H		構造用合板 t=15 石膏ボード t=12.5	
I		耐水石膏ボード t=12.5 タイル張り t=5.5	
J		構造用合板 t=15 耐水石膏ボード t=12.5 タイル張り t=5.5	
K		※リフォーム保温板 t=50 石膏ボード t=12.5 ビニルクロス貼り 胴縁	

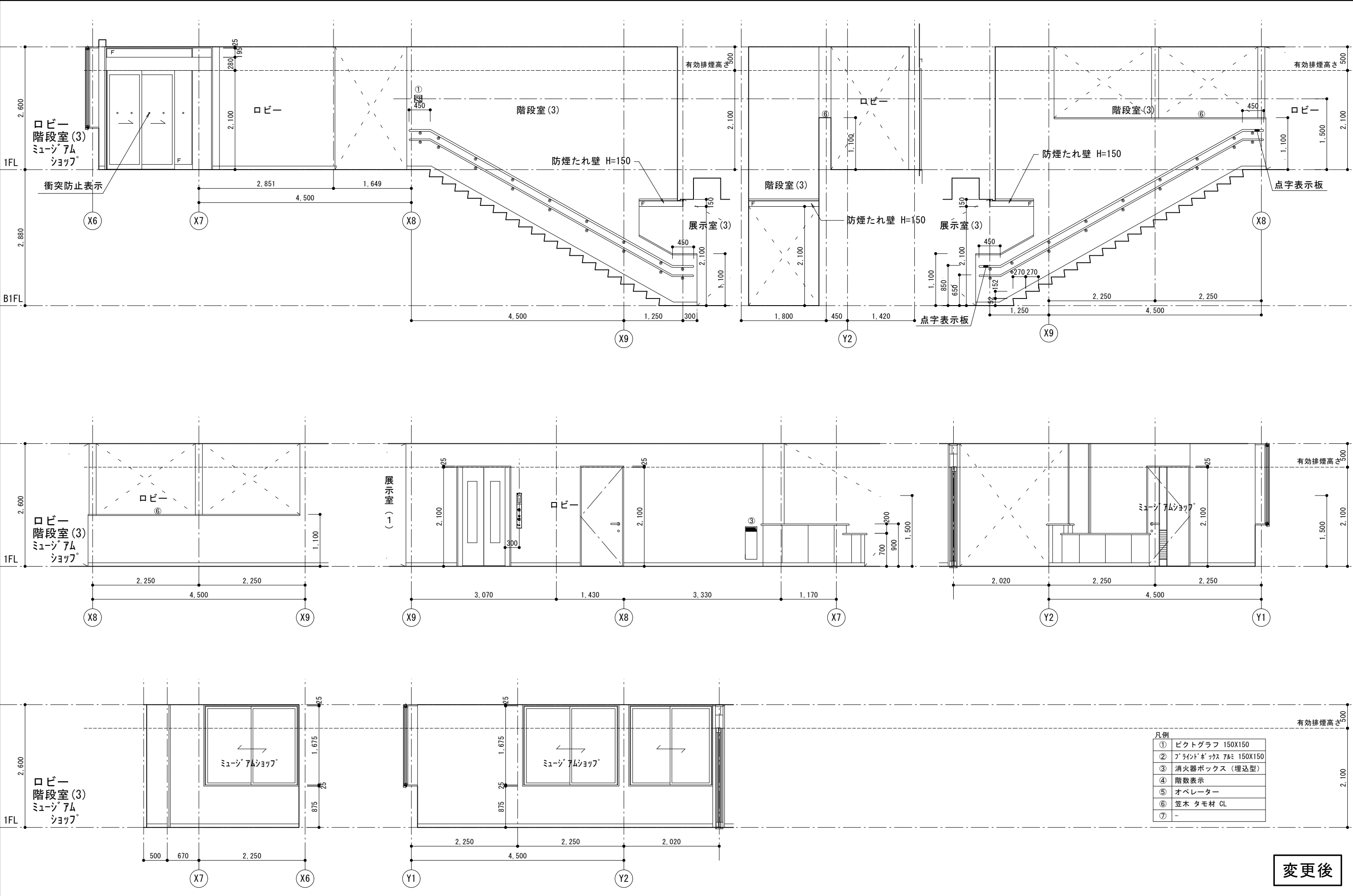


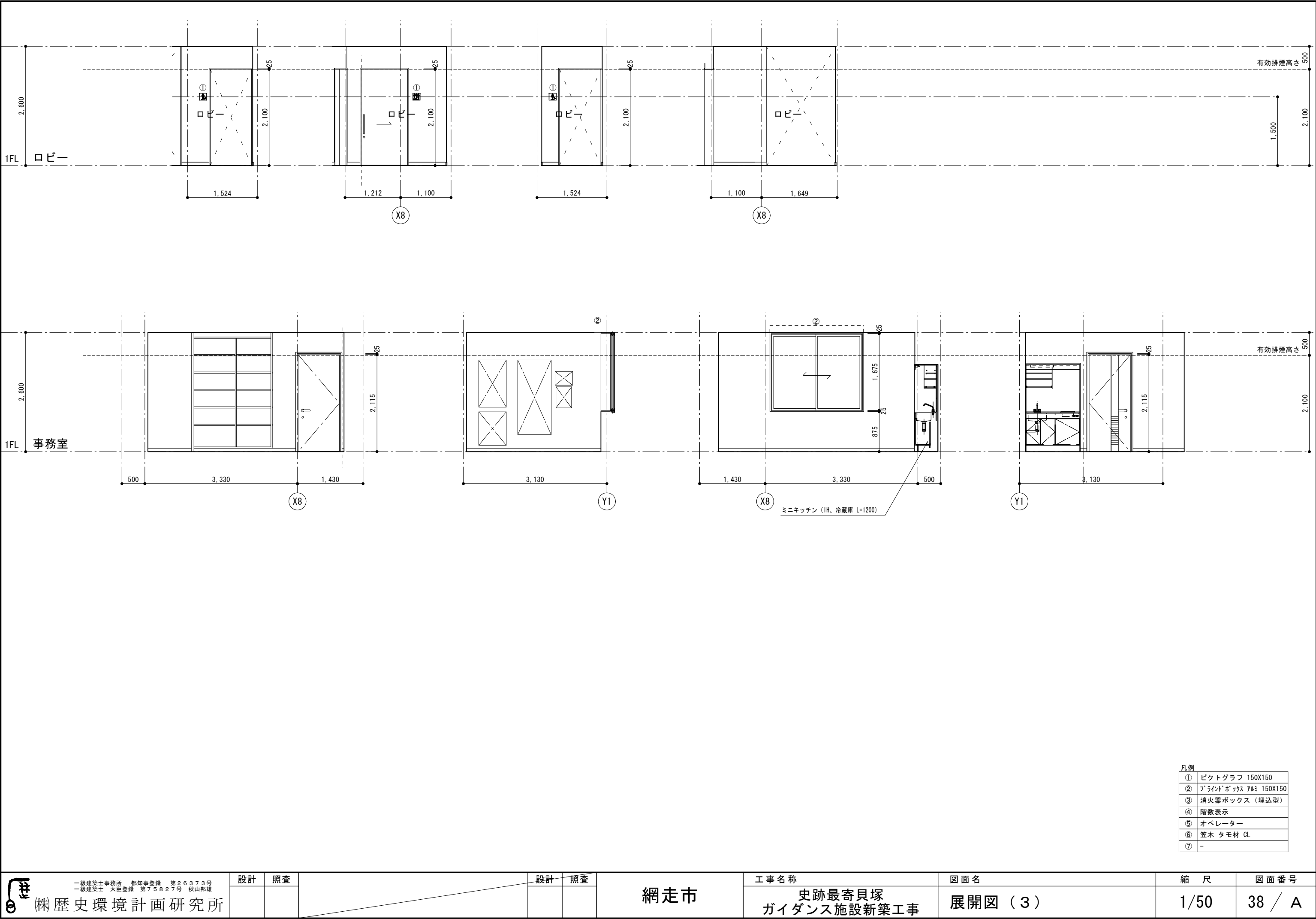
凡例	
▲	耐力壁
⊠	床下点検口 600X600
□	点状ブロック 300x300
▤	線状ブロック 300x300
---	防煙たれ壁
★	ピクトグラフ
-	
±0	1 F L = ±0
外壁 フッ素樹脂塗装アルミ鋼板 t=0.4	
①	立てハゼ葺き (斜め)
②	角型スパンドレル t=19
③	見切り材

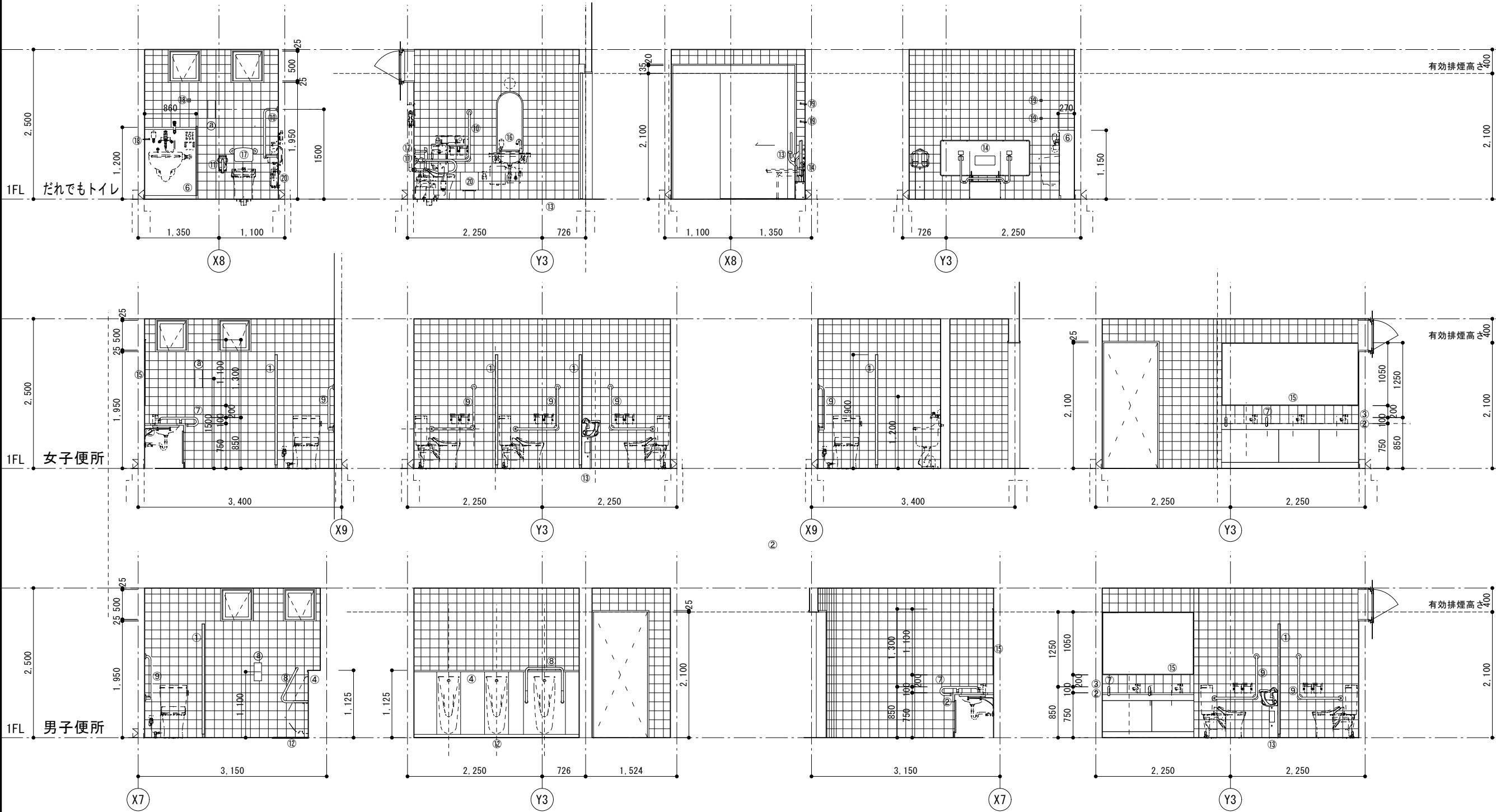


用途	仕上、材質	寸法	男子便所	女子便所	だれでもトイレ
① トイレブース	メラミン樹脂化粧板	H=1,900	1	1	
② 洗面カウンター	人工大理石	L=500	1	1	
③ 洗面用ライニング甲板	人工大理石	L=190	1	1	
④ 小便器ライニング	甲板：人工大理石 前面板：樹脂積層化粧鋼板 巾木：SUS HL	L=200 H=1,200	1		
⑤ 掃除用流しライニング	甲板：人工大理石 前面板：タイル張り	L=190 H=1,200		1	
⑥ オストメイトライニング	甲板：人工大理石 前面板：樹脂積層化粧鋼板 巾木：SUS HL	L=270 H=1,150			1
⑦ 補助手摺（人工大理石用）	軟質塩化ビニル樹脂	635×120	1	1	
⑧ 補助手摺（小便器用）	軟質塩化ビニル樹脂	600×560×436	1		
⑨ 補助手摺（L型）	軟質塩化ビニル樹脂	700×700×120	2	3	
⑩ 補助手摺（L型）	軟質塩化ビニル樹脂	800×800×230			1
⑪ 腰掛便器用手摺L型（可動式） はね上げ式タイプ（紙巻器付）	軟質塩化ビニル樹脂	L=700			1
⑫ おだれ石	タイル（無釉I類）	600×800 t=12.5	1		
⑬ ベビーチェア			1	1	1
⑭ 収納式多目的シート	グリップ付	1,500X600			1
⑮ 鏡		360×1,100	2	3	
⑯ 鏡		450×1,000			1
⑰ 背もたれ	ハードタイプ				1
⑱ シングルフック	ステンレス製	L=85			1
⑲ フック	アルミ	L=80			2
⑳ チャームボックス	亜鉛メッキ鋼板 アルミ調塗装	300X120X310			1



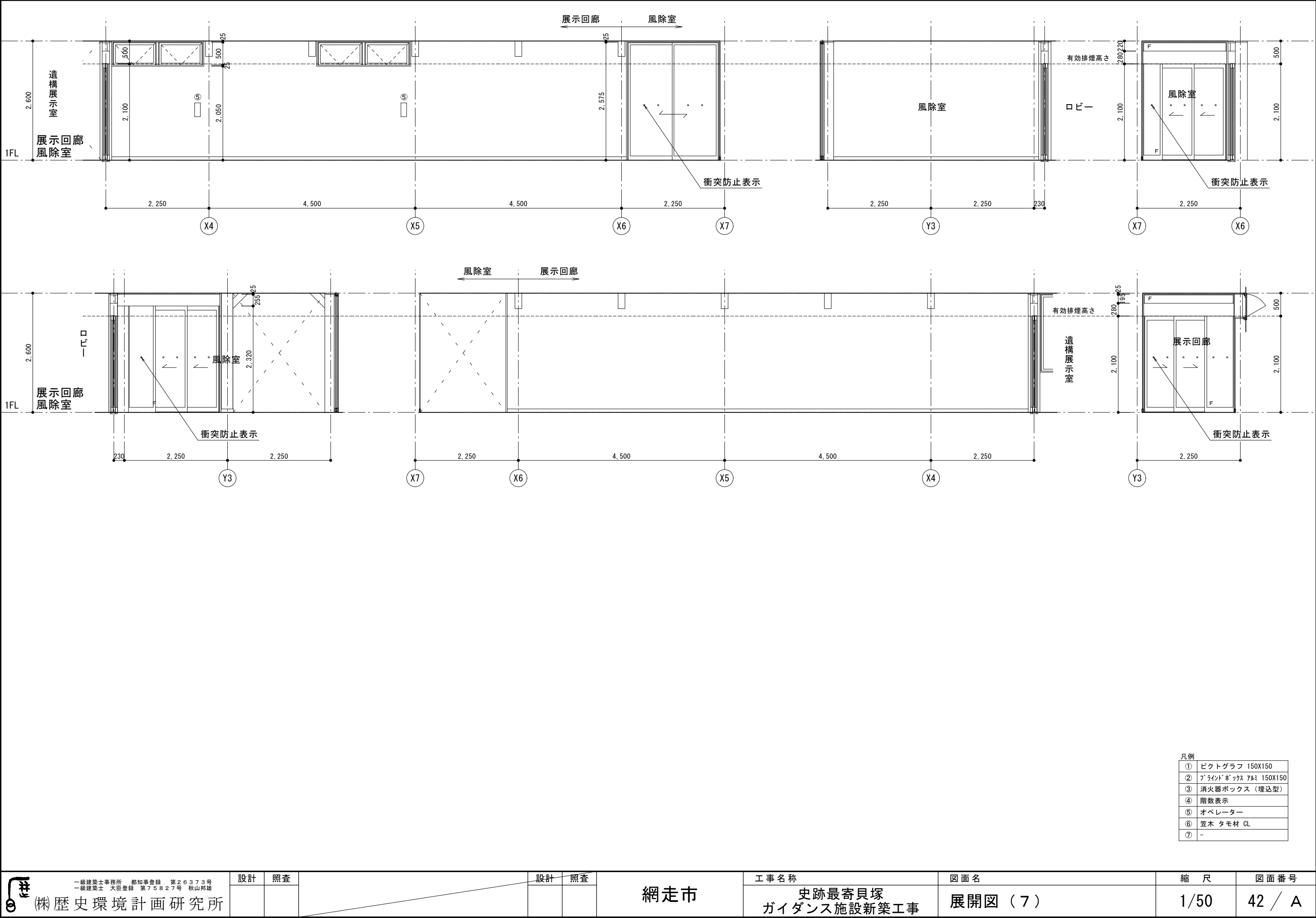


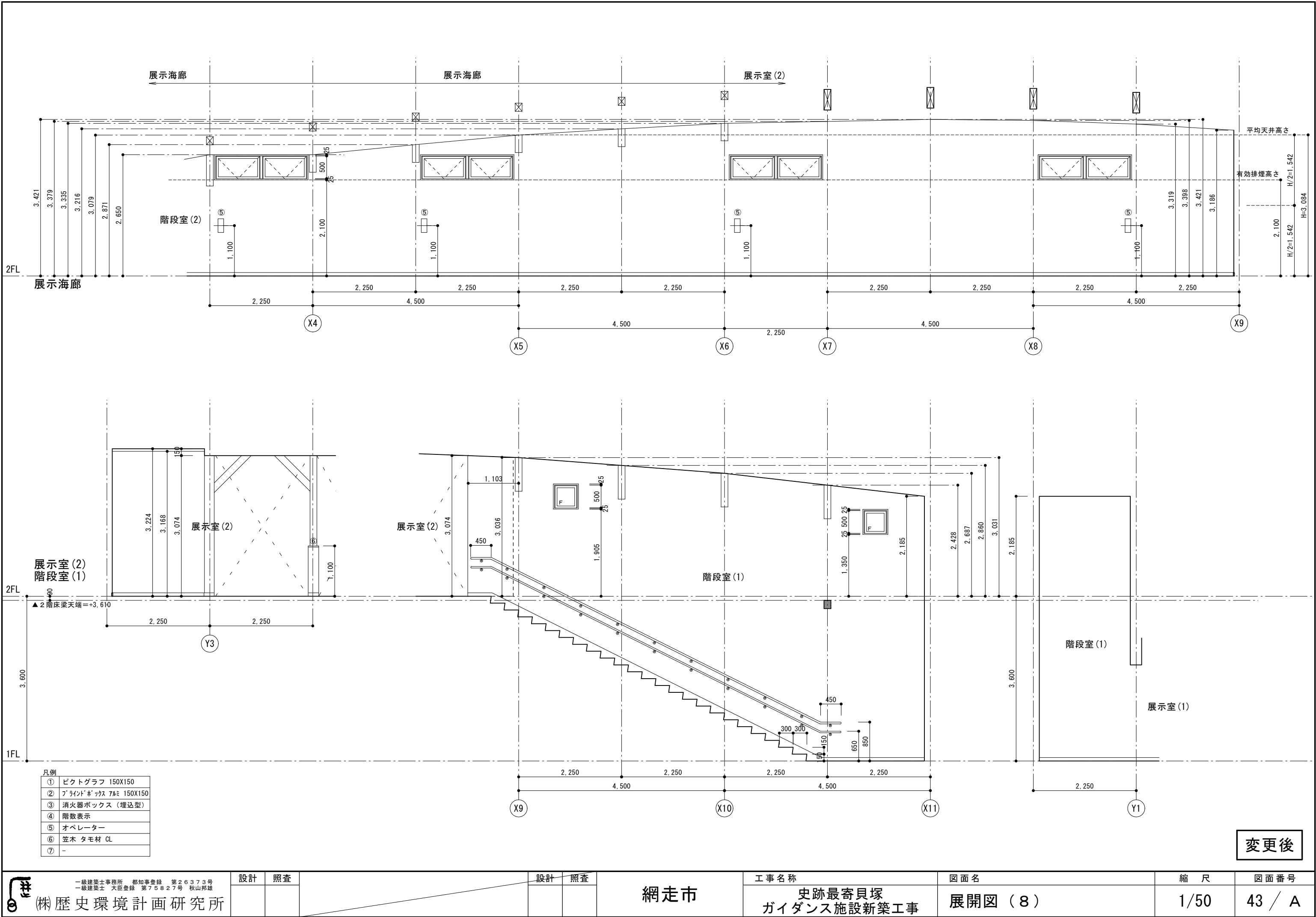




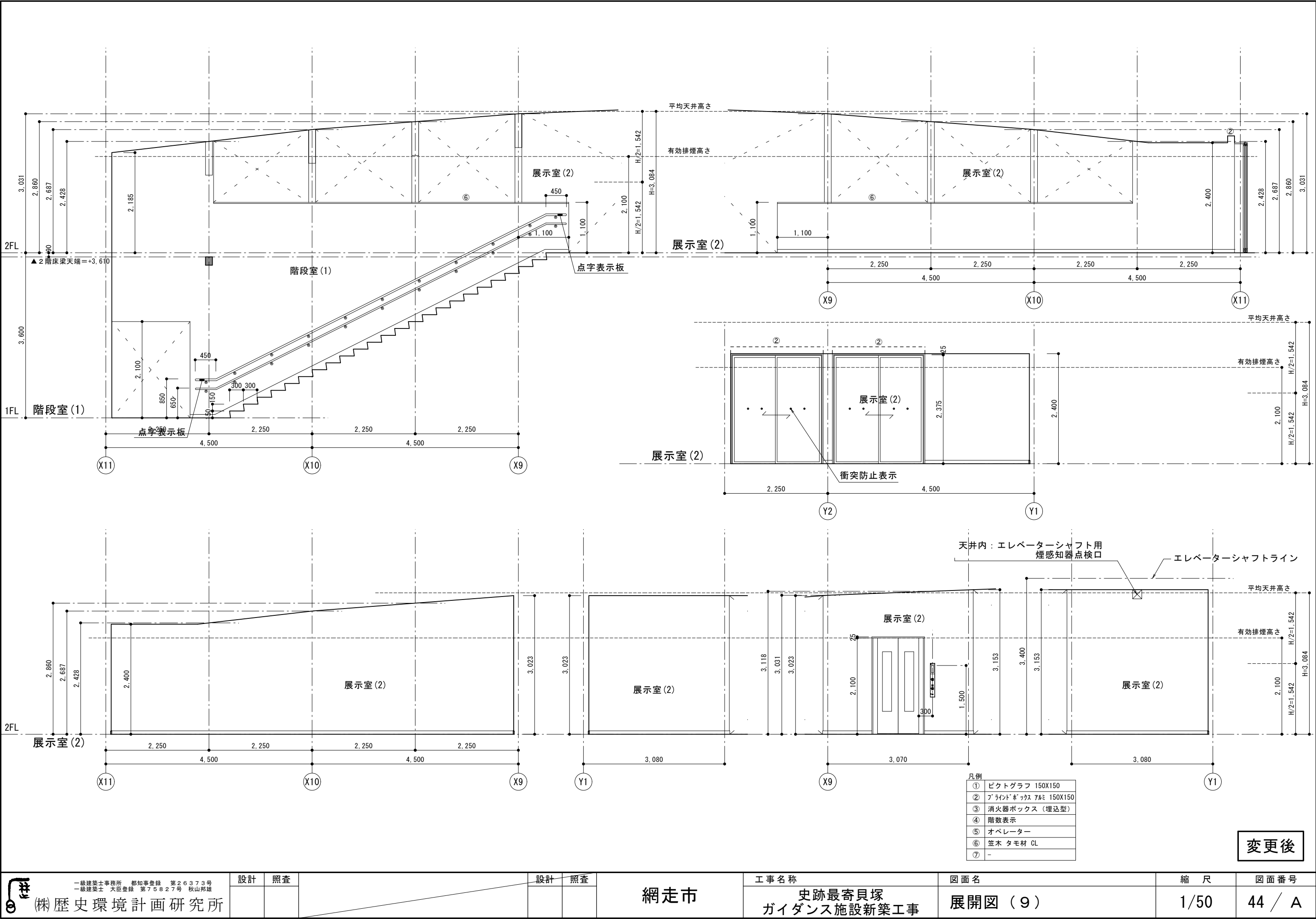
凡例	
①	トイレブース
②	洗面カウンター
③	洗面用ライニング甲板
④	小便器ライニング
⑤	掃除用流しライニング
⑥	オストメイトライニング
⑦	補助手摺（人工大理石用）
⑧	補助手摺（小便器用）
⑨	補助手摺（L型） 700×700×120
⑩	補助手摺（L型） 800×800×230
⑪	腰掛便器用手摺L型（可動式） はね上げ式タイプ（紙巻器付）
⑫	おだれ石
⑬	ベビーチェア
⑭	収納式多目的シート
⑮	鏡 360×1,100
⑯	鏡 450×1,000
⑰	背もたれ
⑱	シングルフック
⑲	フック
⑳	チャームボックス
㉑	オペレーター



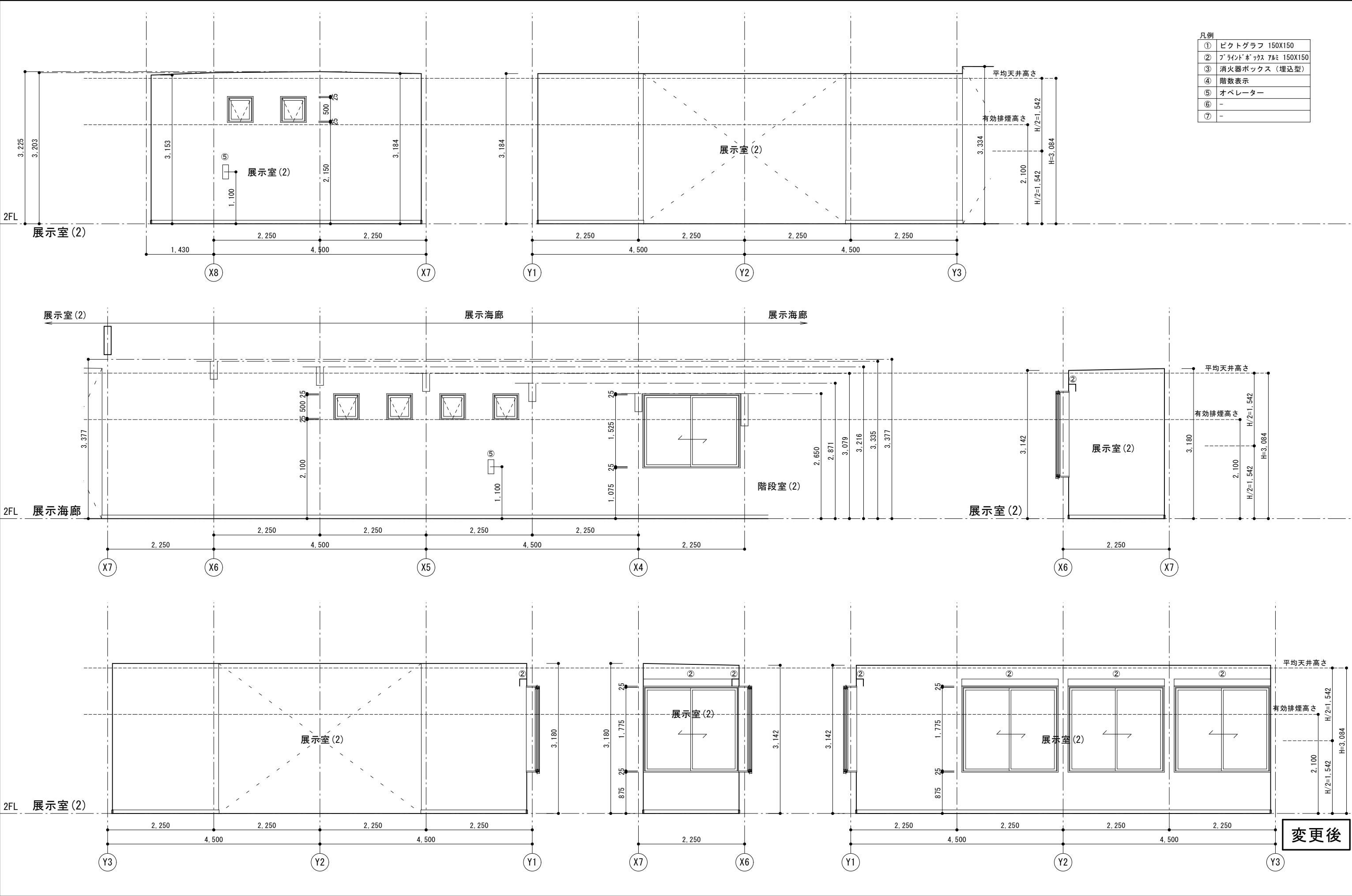


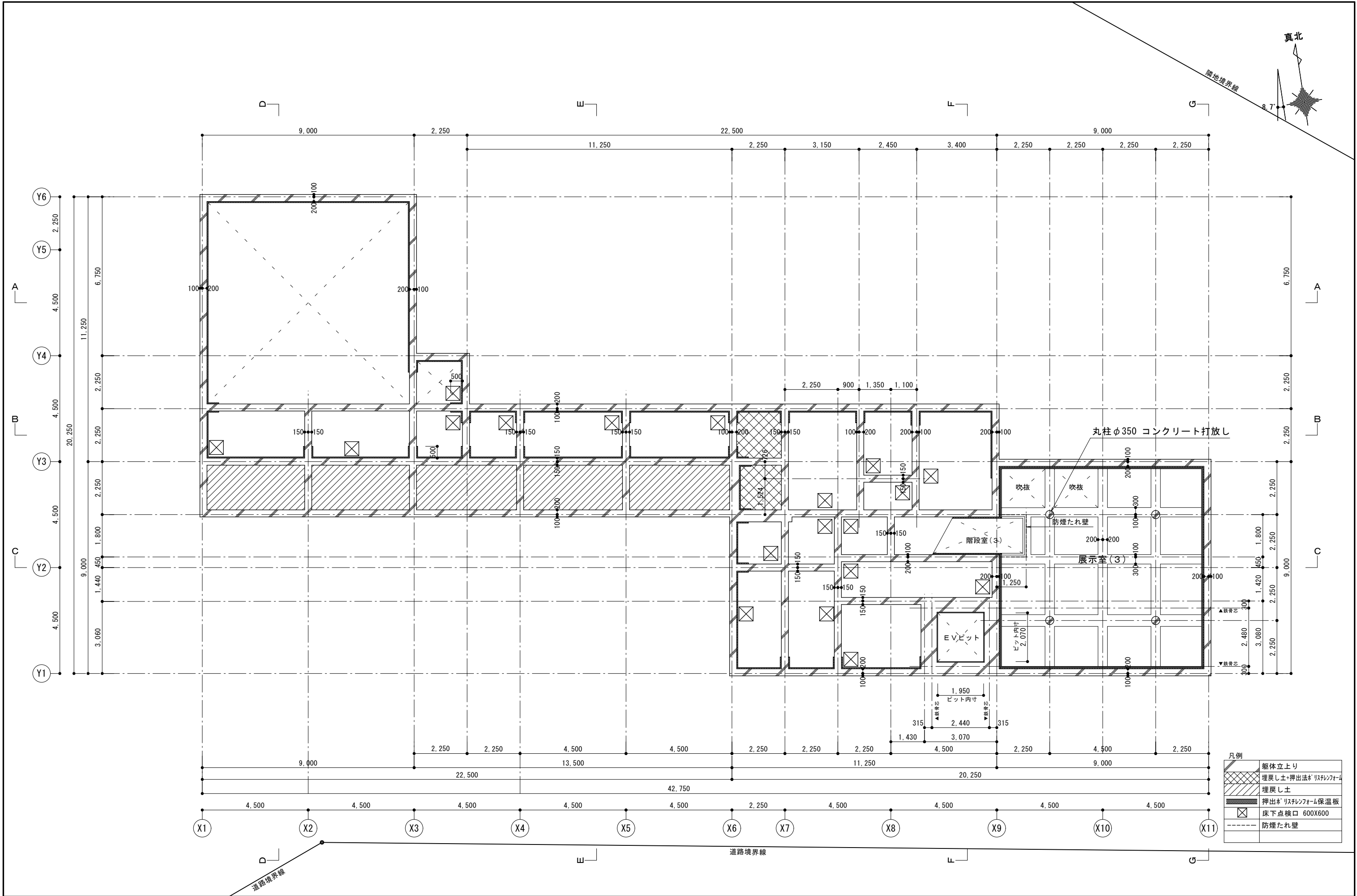


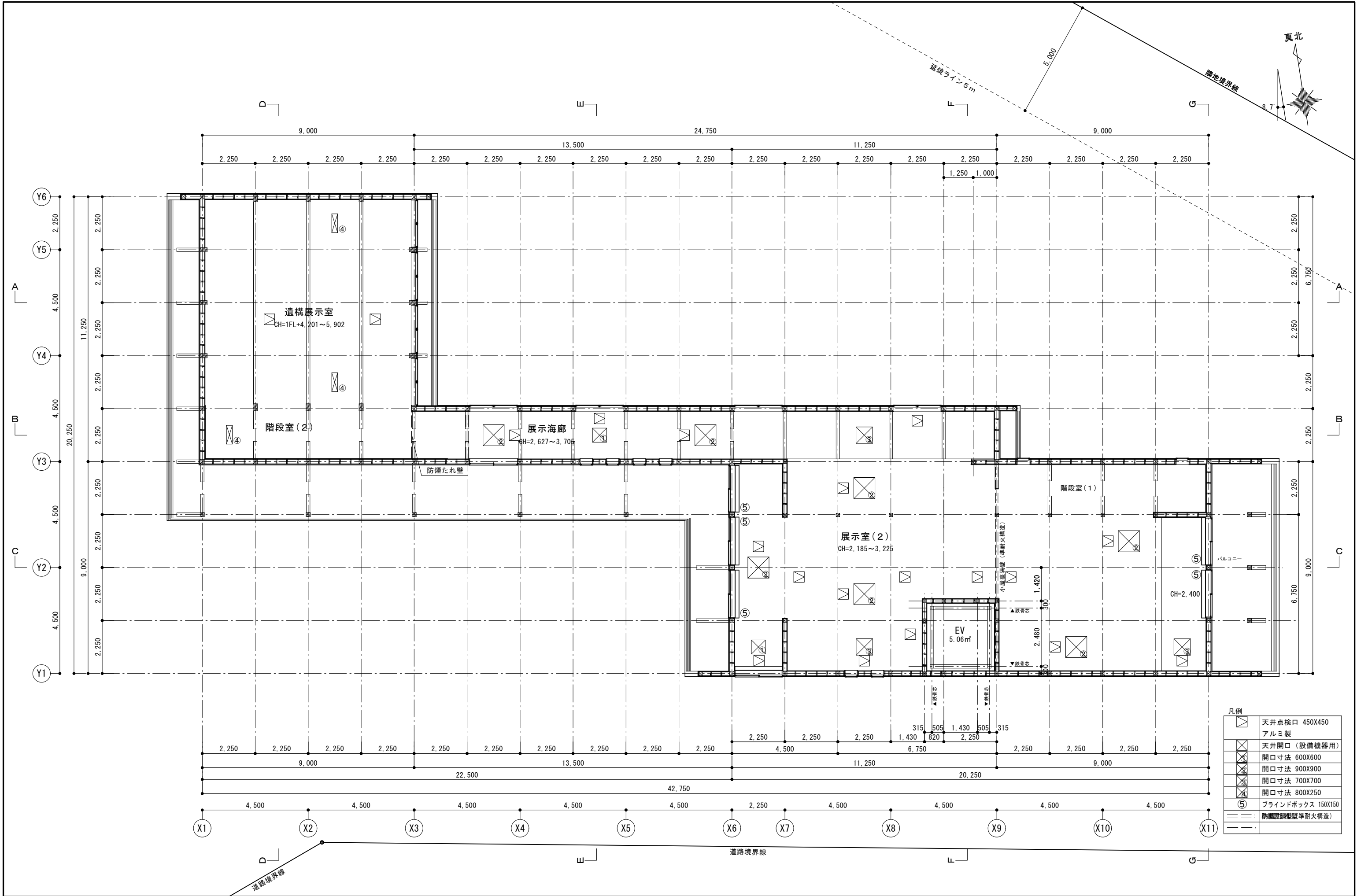
変更後



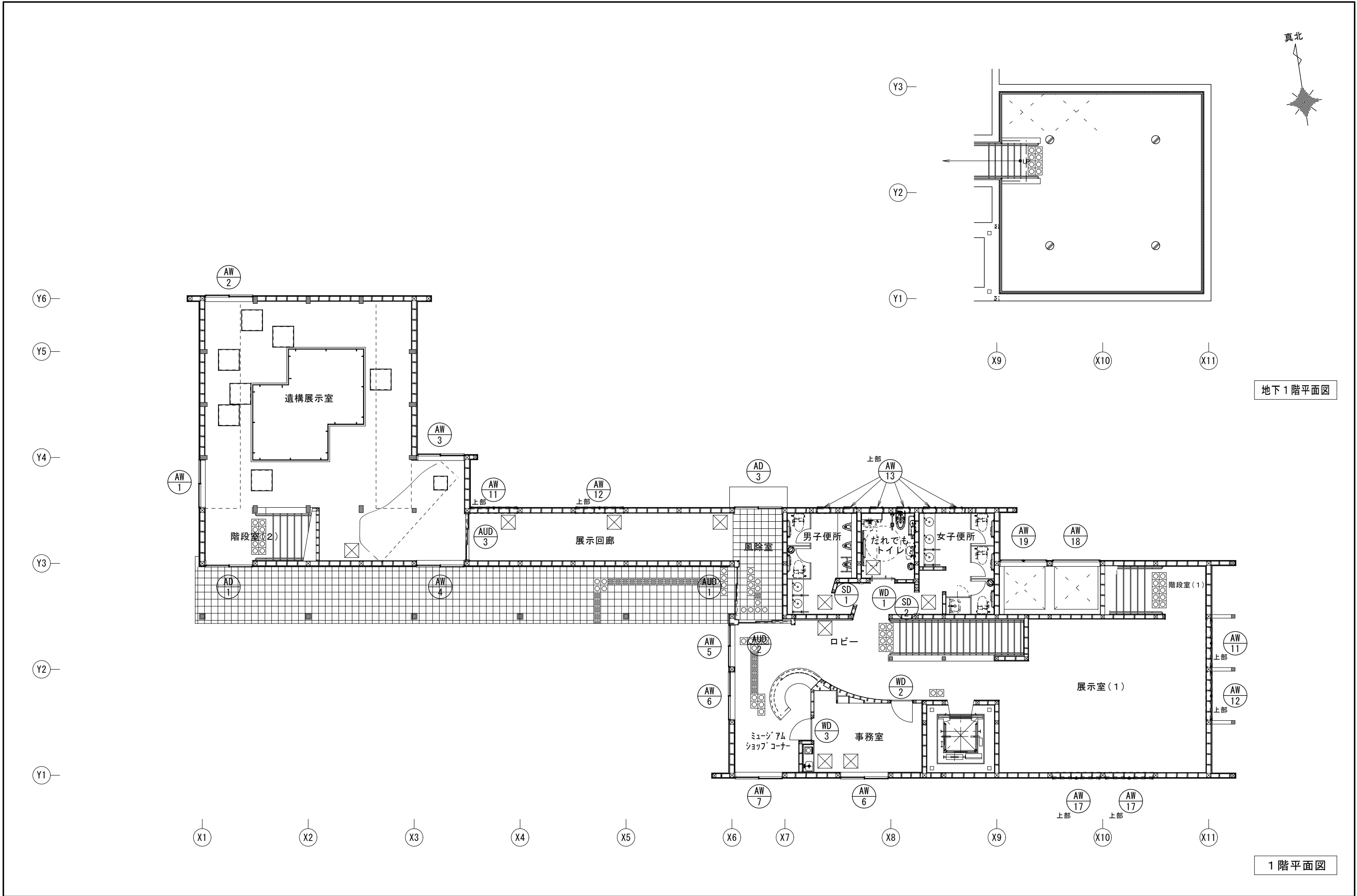
変更後



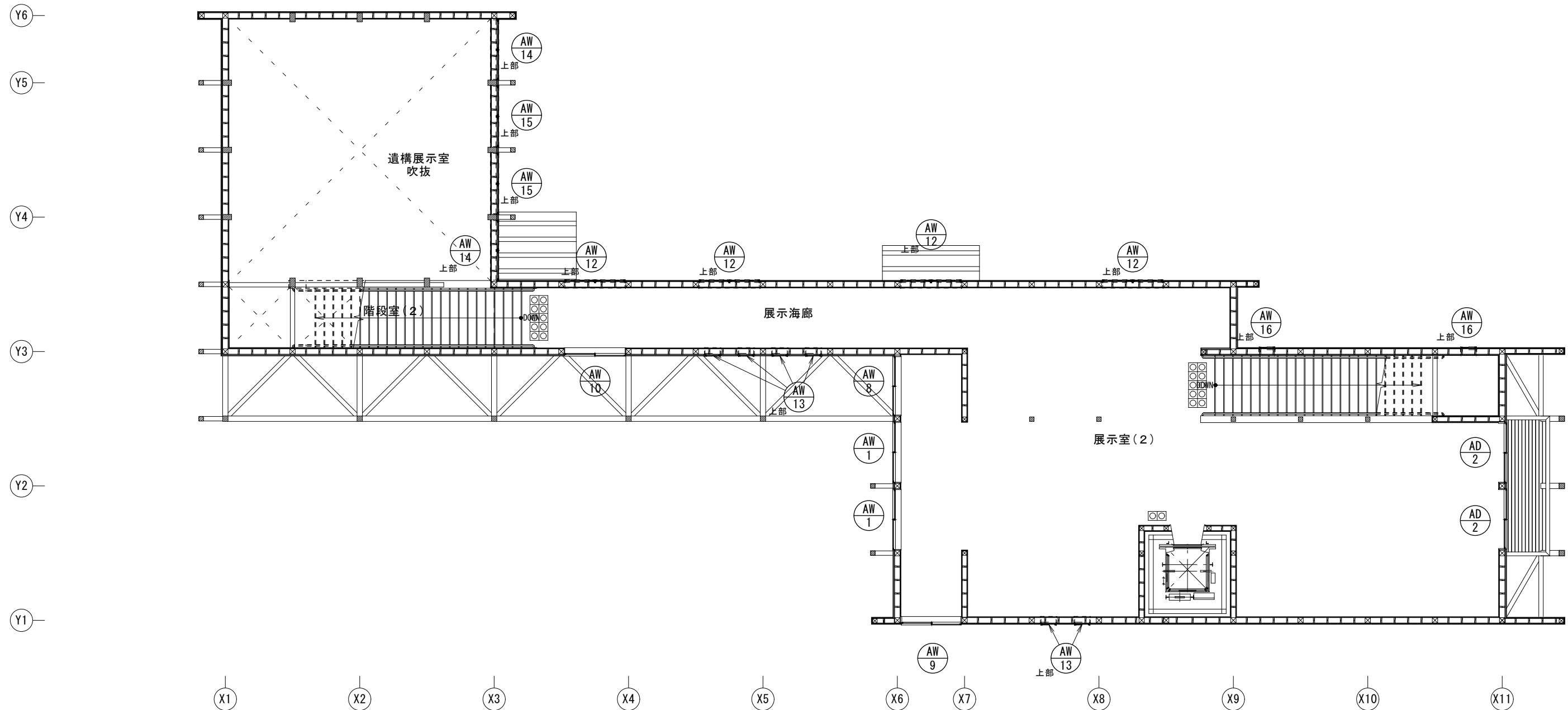




凡例	
	天井点検口 450X450 アルミ製
	天井開口 (設備機器用)
	開口寸法 600X600
	開口寸法 900X900
	開口寸法 700X700
	開口寸法 800X250
	⑤ ブラインドボックス 150X150
	防火壁 (耐火性能準耐火構造)



<div><div></div><div>一級建築士事務所 都知事登録 第26373号 二級建築士 大臣登録 第75827号 秋山邦雄</div><div>㈱歴史環境計画研究所</div></div>	設計	照査		設計	照査	網走市	工事名称	図面名	縮尺	図面番号
							史跡最寄貝塚 ガイダンス施設新築工事	キープラン1	1/100	50 / A



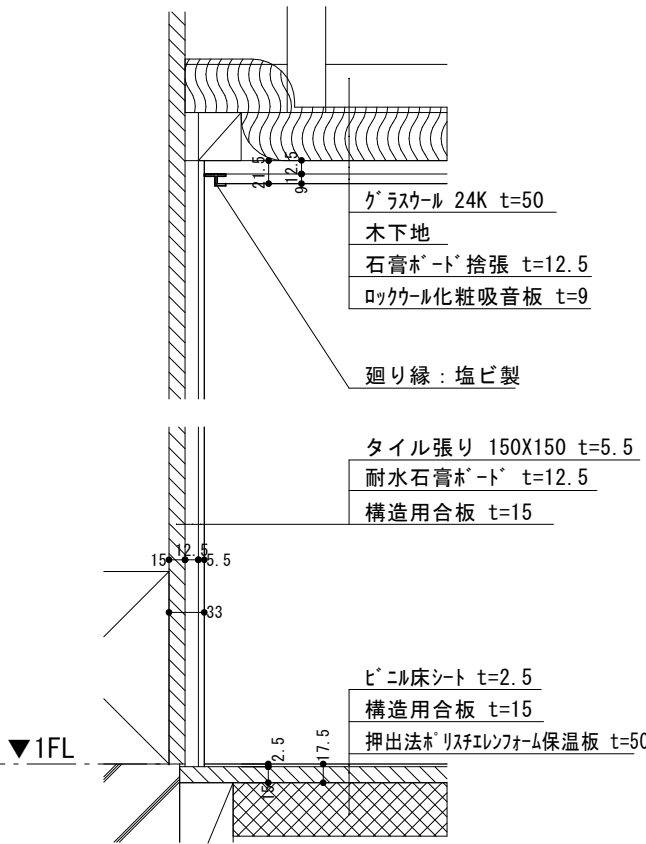
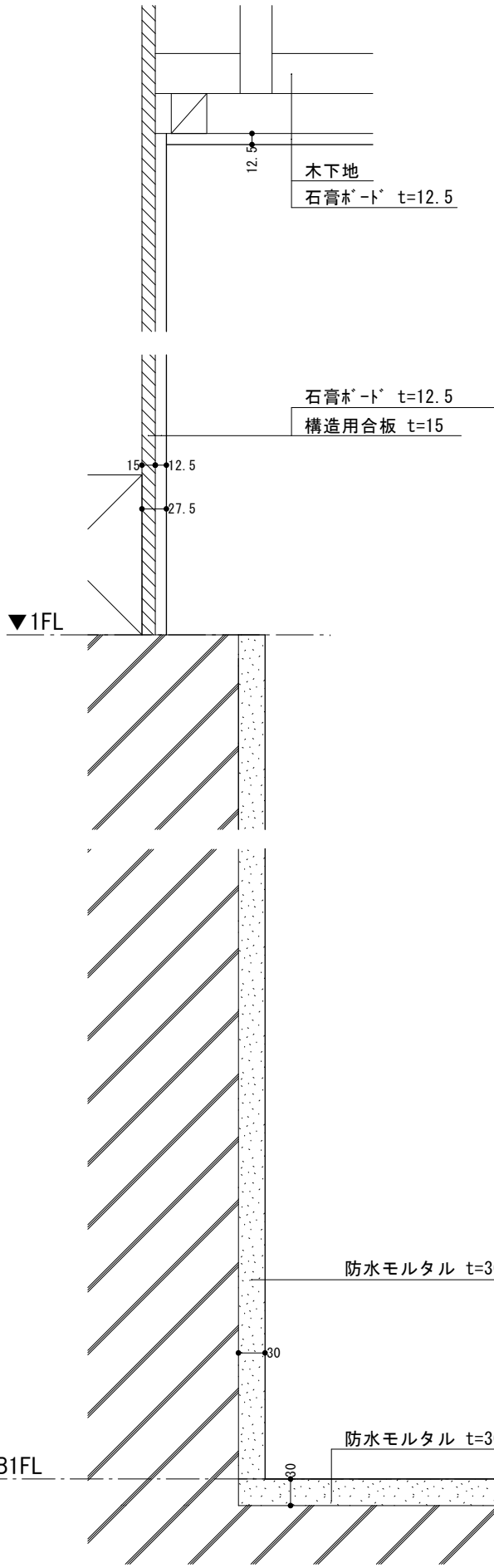
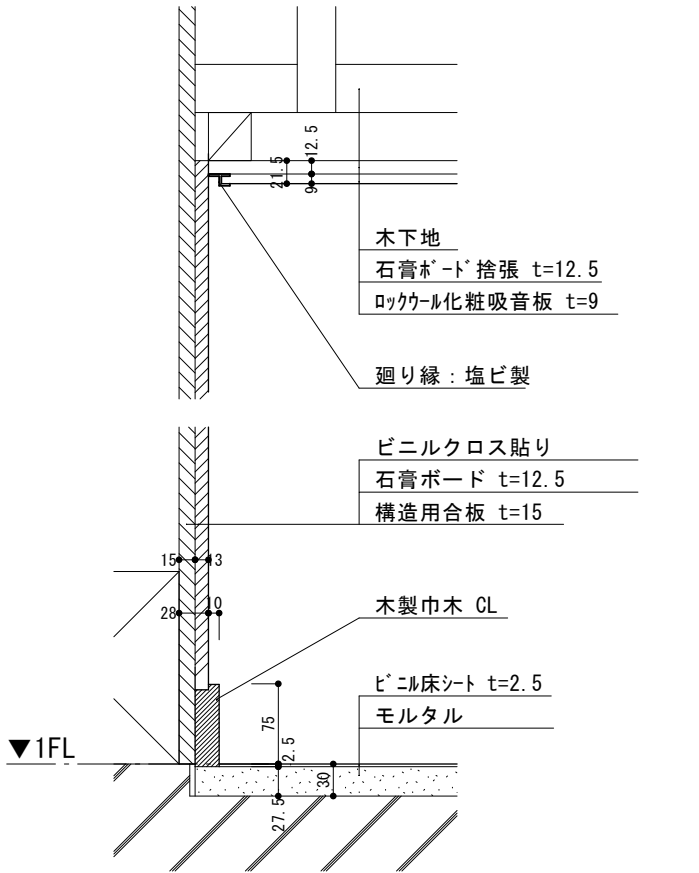
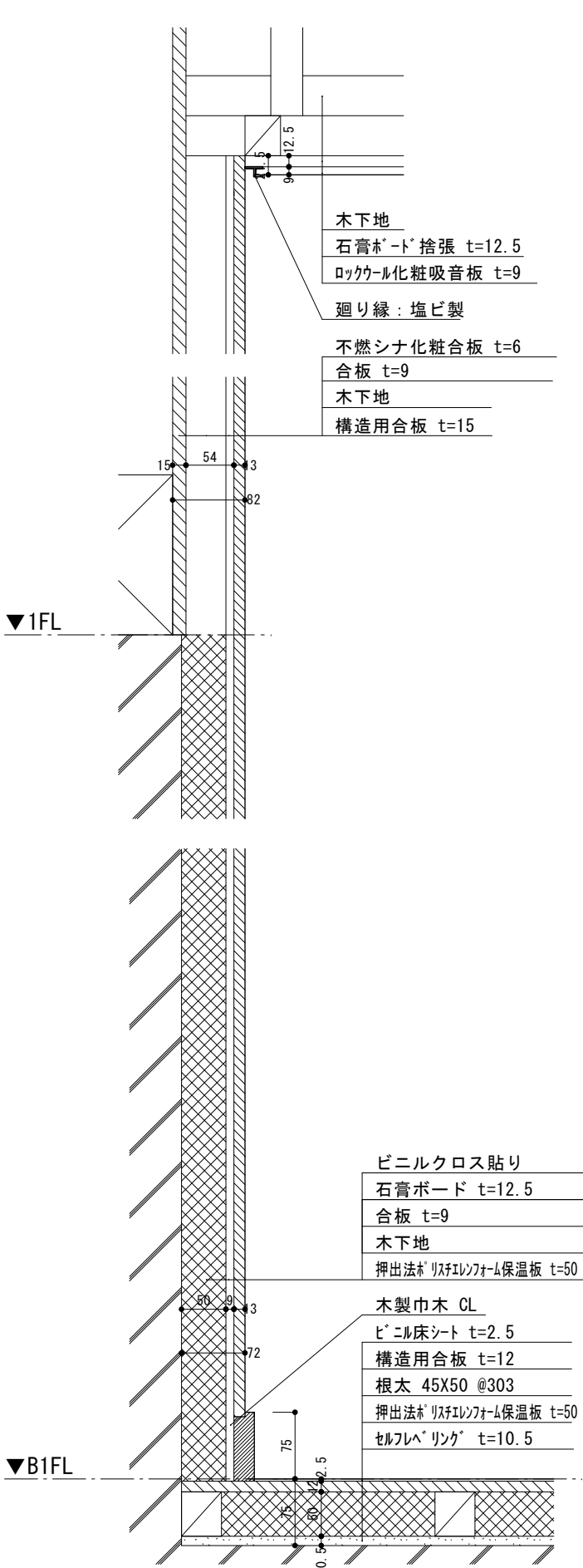
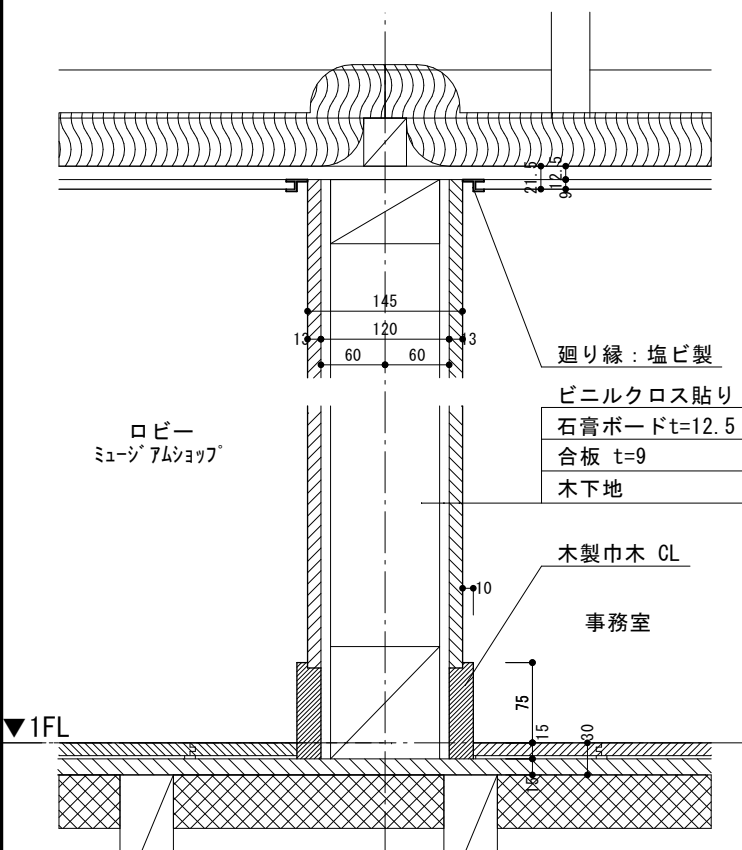
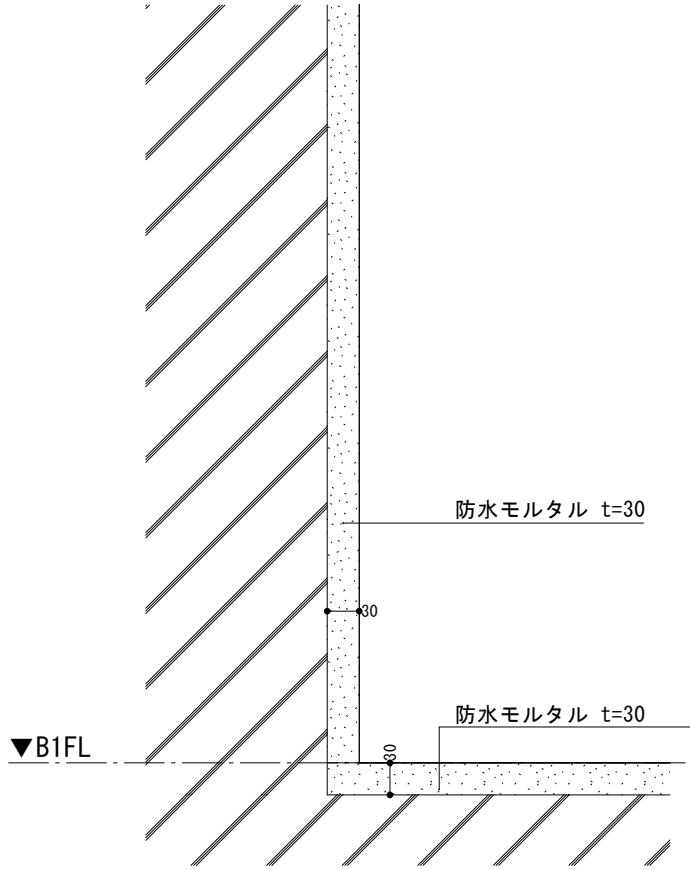
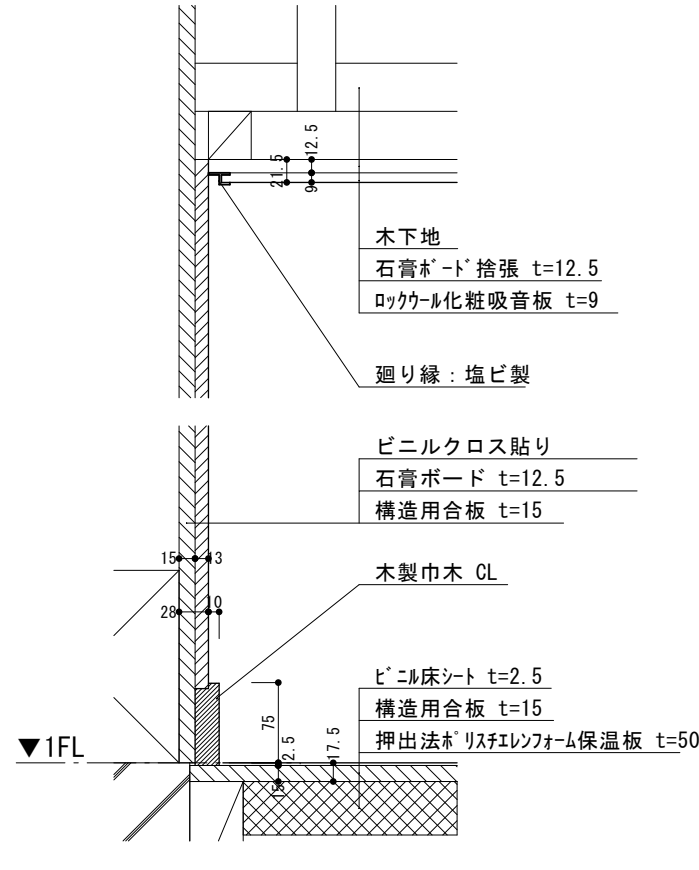
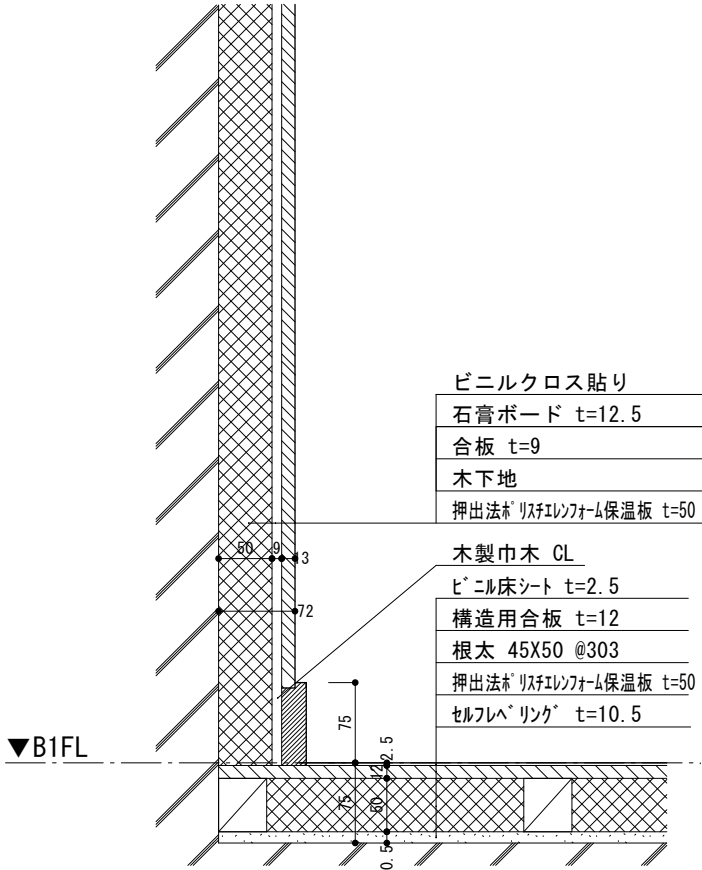

2 階平面図

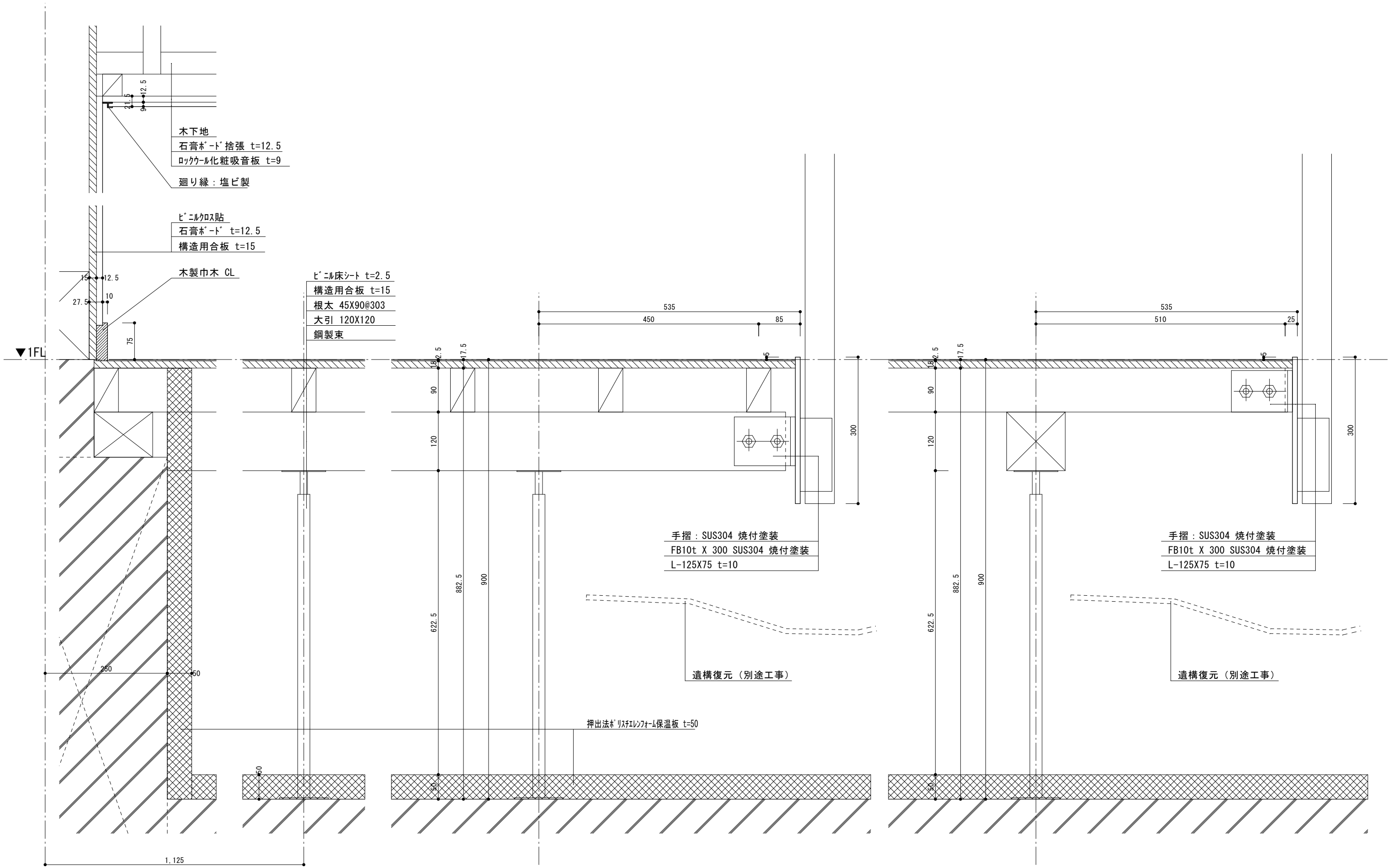
記号	形 式	使用箇所	数量	材質	仕上	寸 法		枠				沓摺		硝子		建 具 金 物					その他	備 考	姿 図																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
						W mm	H mm	見	見	見	材	仕		種	厚	A 丁番	A ドアチェック	A レバーハンドル	A リング錠	その他			ア 網戸	防 防火設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
								見	見	見	材	仕		種	厚	C ビット錠	C 戸当り	C ケースハンドル	C 本締錠	D グレイン錠	E サムターン錠	F モノロック		カ ガリ W X H	煙 煙感連動	AT エアタイト	飛 飛散防止フィルム	1	2	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
AW 1	引違い窓 断熱複層サッシ C-2	造構展示室	1	AL	BL	2000	1775	-	70	-	AL	BL	-	FL5+A12+FL5	製造所の仕様による					ア	飛																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		展示室(2)	2	AL	BL																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																</

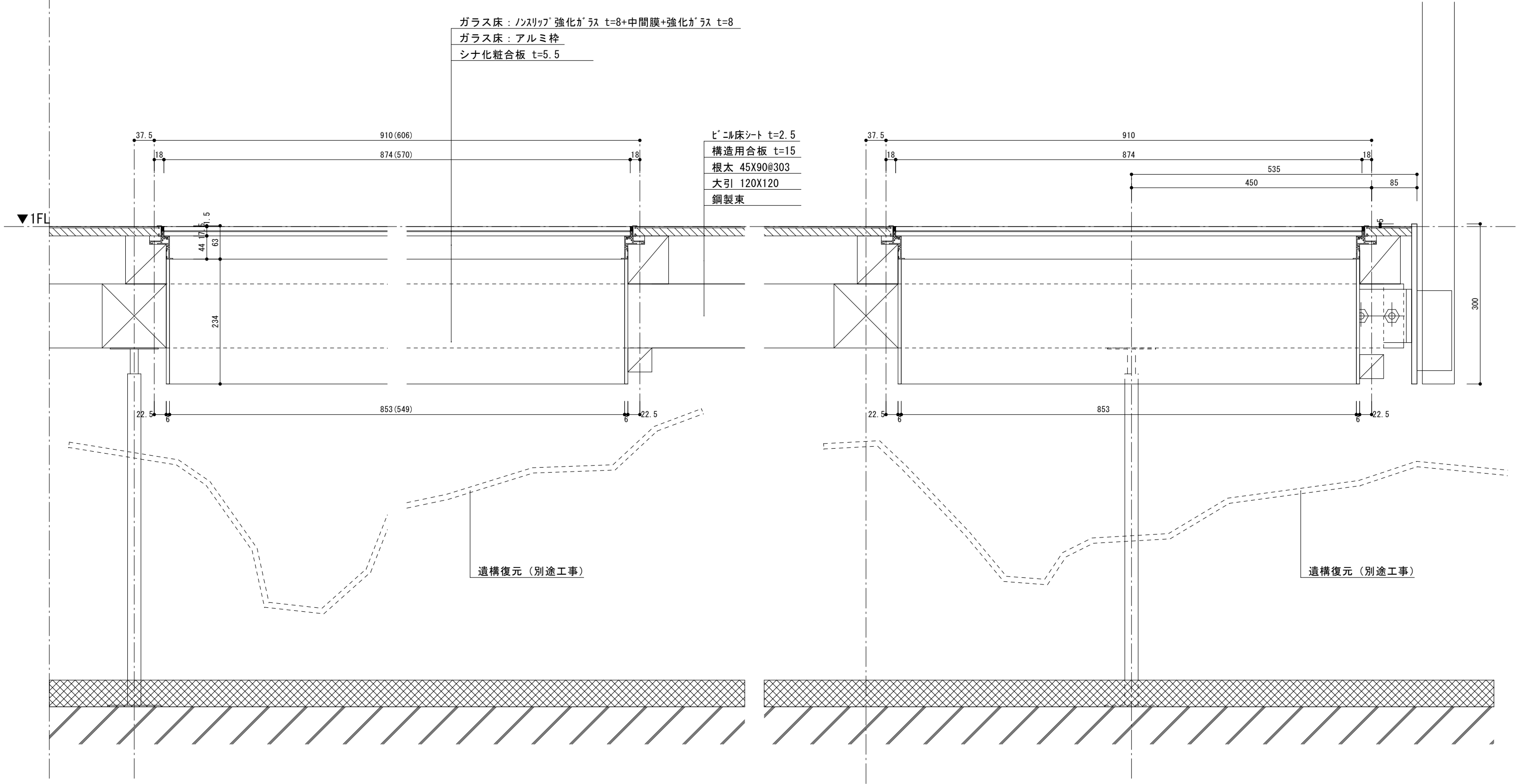
変更後

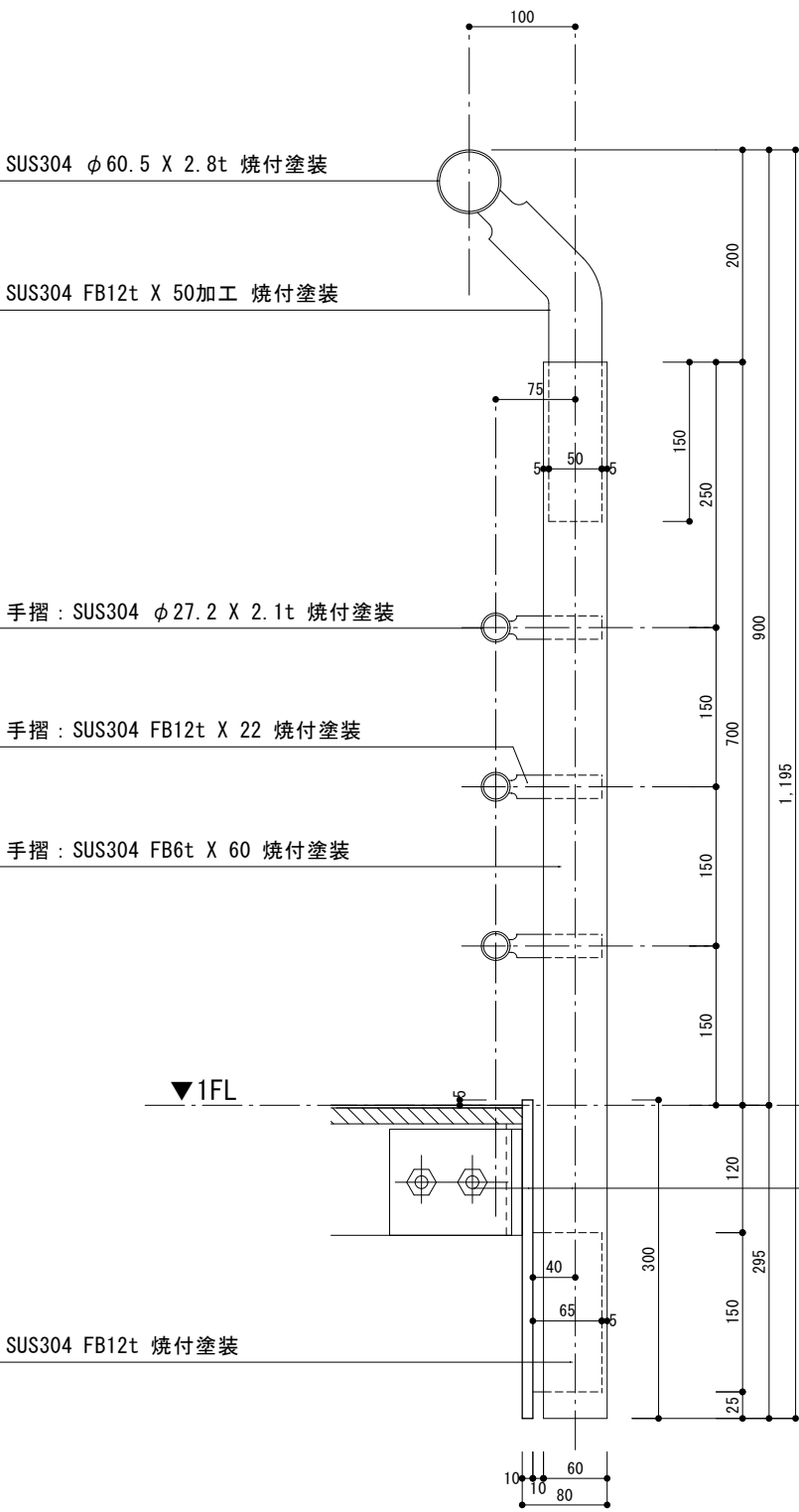
変更後

事務室・ロビー・ミュージアムショップ・床下ピット		展示室（２）・展示海廊		展示室（１）＜ＥＶ、階段室(3)側 壁＞		展示室（１）	
外部側		展示回廊		風除室		展示室（３）	
<div><div></div><div>一級建築士事務所 都知事登録 第26373号 一級建築士 大臣登録 第75827号 秋山邦雄 (株)歴史環境計画研究所</div></div>		<div>設計</div> <div>照査</div>		<div>設計</div> <div>照査</div>		網走市	
				工事名称		図面名	
				史跡最寄貝塚 ガイダンス施設新築工事		各部詳細図（１）	
						縮尺	
						1/5	
						図面番号	
						55 / A	

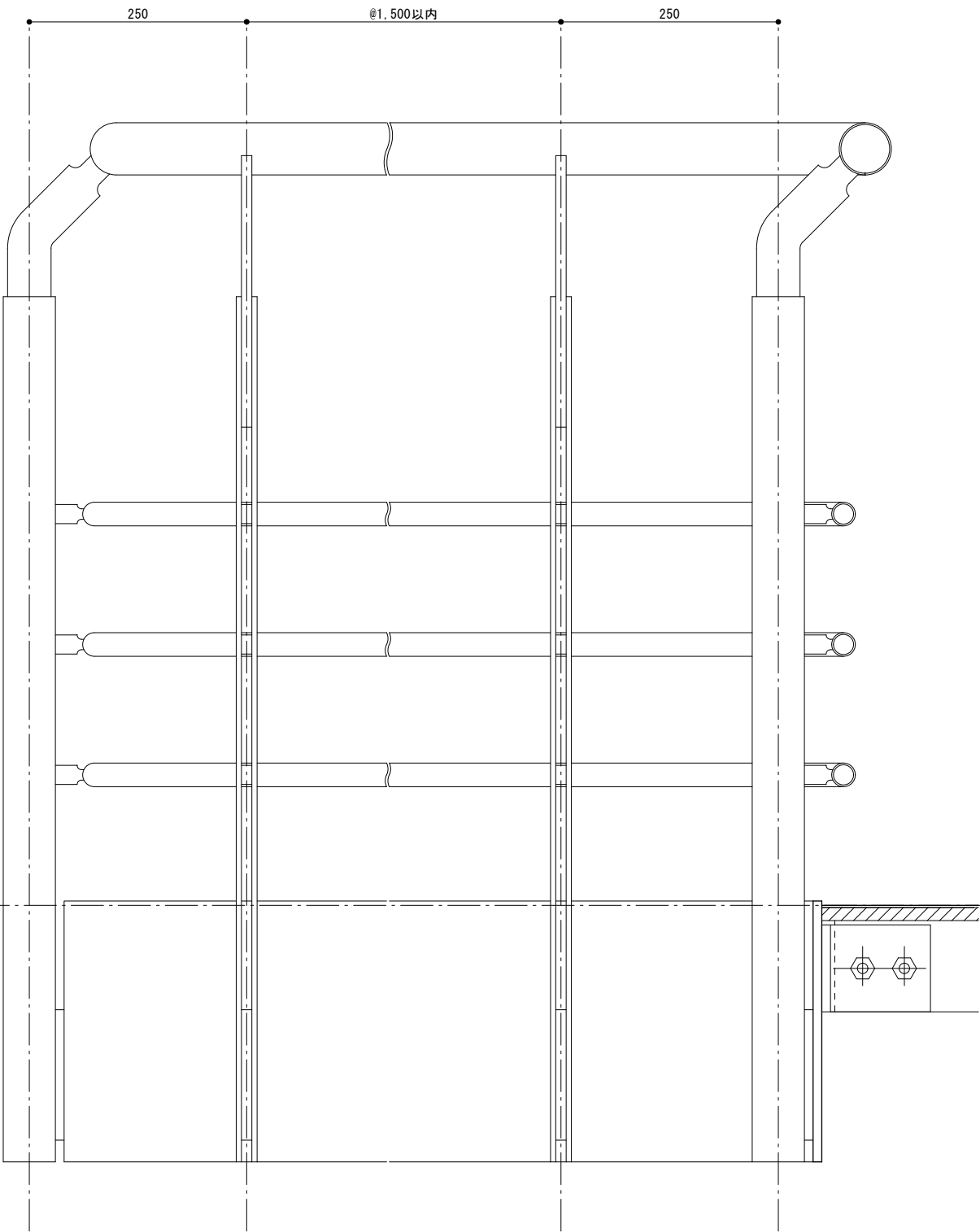
男子便所・女子便所・誰でもトイレ		E V		階段室（１）		階段室（３）				
 <p>グラスウール 24K t=50 木下地 石膏ボード 捨張 t=12.5 ロックウール化粧吸音板 t=9</p> <p>廻り縁：塩ビ製</p> <p>タイル張り 150X150 t=5.5 耐水石膏ボード t=12.5 構造用合板 t=15</p> <p>ビニル床シート t=2.5 構造用合板 t=15 押出法樹脂フォーム保温板 t=50</p> <p>▼1FL</p>		 <p>木下地 石膏ボード t=12.5</p> <p>石膏ボード t=12.5 構造用合板 t=15</p> <p>▼1FL</p> <p>▼B1FL</p>		 <p>木下地 石膏ボード 捨張 t=12.5 ロックウール化粧吸音板 t=9</p> <p>廻り縁：塩ビ製</p> <p>ビニルクロス貼り 石膏ボード t=12.5 構造用合板 t=15</p> <p>木製巾木 CL</p> <p>ビニル床シート t=2.5 モルタル</p> <p>▼1FL</p>		 <p>木下地 石膏ボード 捨張 t=12.5 ロックウール化粧吸音板 t=9</p> <p>廻り縁：塩ビ製</p> <p>不燃シナ化粧合板 t=6 合板 t=9 木下地 構造用合板 t=15</p> <p>▼1FL</p> <p>▼B1FL</p>				
事務室・ロビー・ミュージアムショップ				階段室（２）						
 <p>廻り縁：塩ビ製</p> <p>ロビー ミュージアムショップ</p> <p>事務室</p> <p>木製巾木 CL</p> <p>▼1FL</p>		 <p>防水モルタル t=30</p> <p>防水モルタル t=30</p> <p>▼B1FL</p>		 <p>木下地 石膏ボード 捨張 t=12.5 ロックウール化粧吸音板 t=9</p> <p>廻り縁：塩ビ製</p> <p>ビニルクロス貼り 石膏ボード t=12.5 構造用合板 t=15</p> <p>木製巾木 CL</p> <p>ビニル床シート t=2.5 構造用合板 t=15 押出法樹脂フォーム保温板 t=50</p> <p>▼1FL</p>		 <p>ビニルクロス貼り 石膏ボード t=12.5 合板 t=9 木下地 押出法樹脂フォーム保温板 t=50</p> <p>木製巾木 CL</p> <p>ビニル床シート t=2.5 構造用合板 t=12 根太 45X50 @303 押出法樹脂フォーム保温板 t=50 セルフレベルリング t=10.5</p> <p>▼B1FL</p>				
<div><div><div><div></div><div>一級建築士事務所 都知事登録 第26373号 一級建築士 大臣登録 第75827号 秋山邦雄</div></div><div>(株)歴史環境計画研究所</div></div></div>		設計	照査	設計	照査	網走市	工事名称 史跡最寄貝塚 ガイダンス施設新築工事	図面名 各部詳細図（２）	縮尺 1/5	図面番号 56 / A





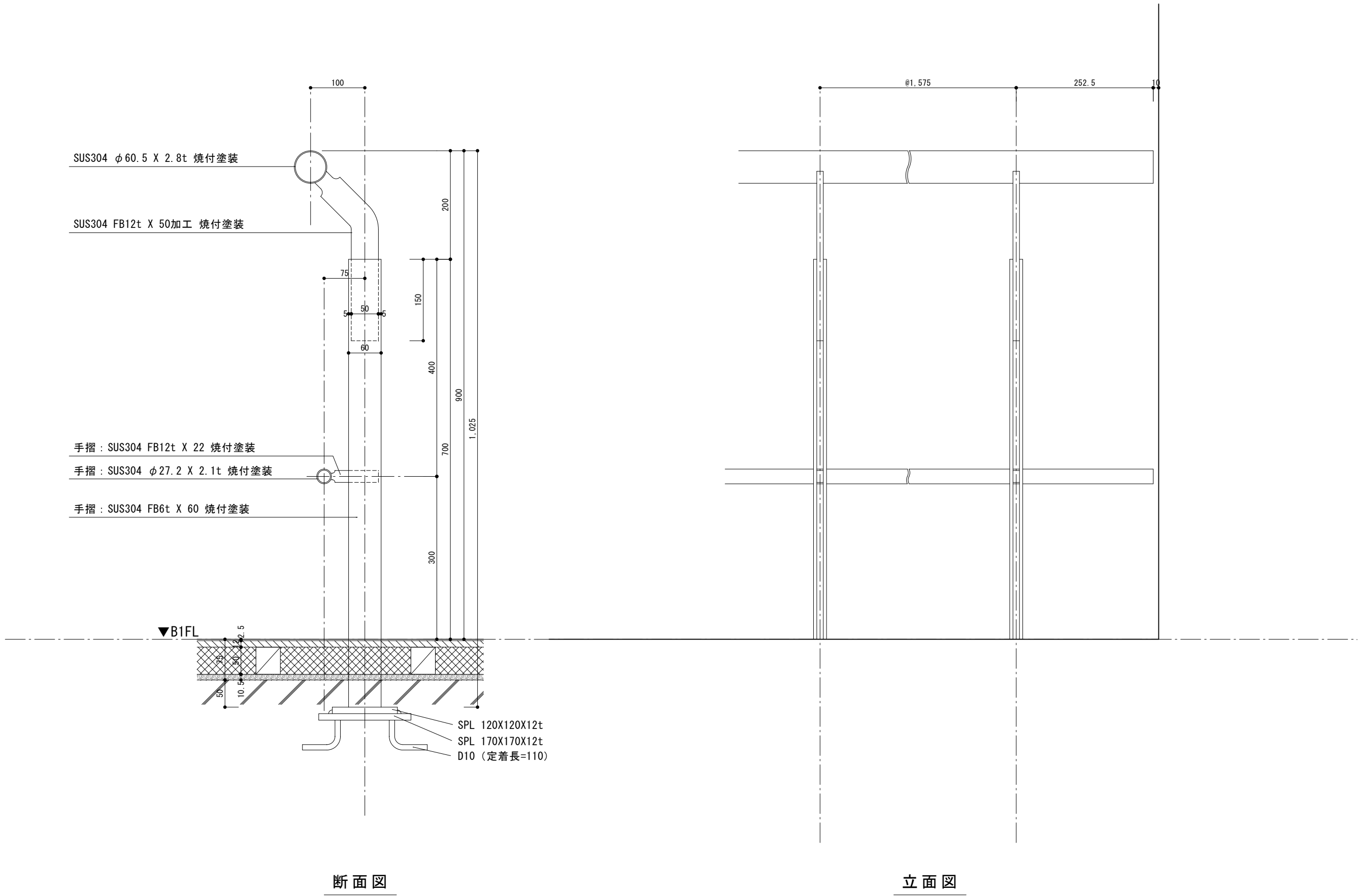


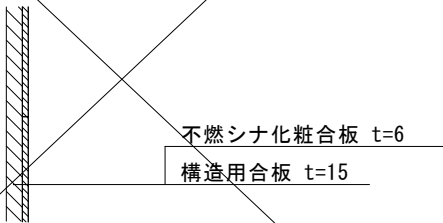
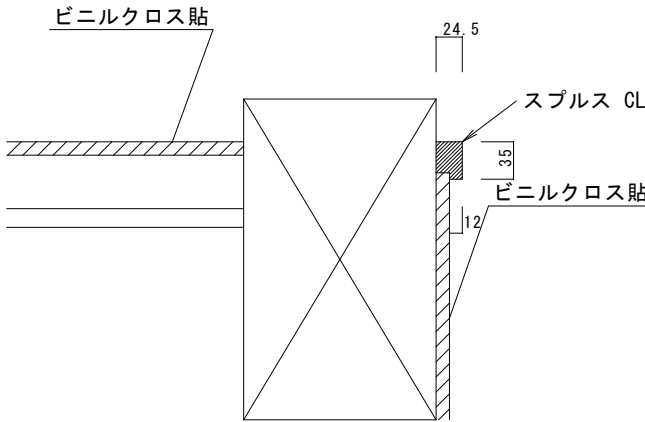
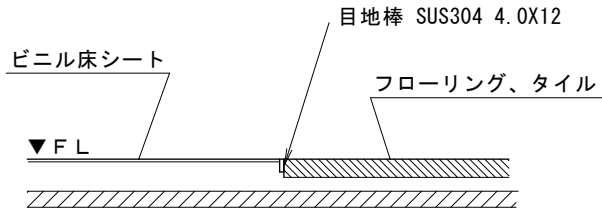

断面図



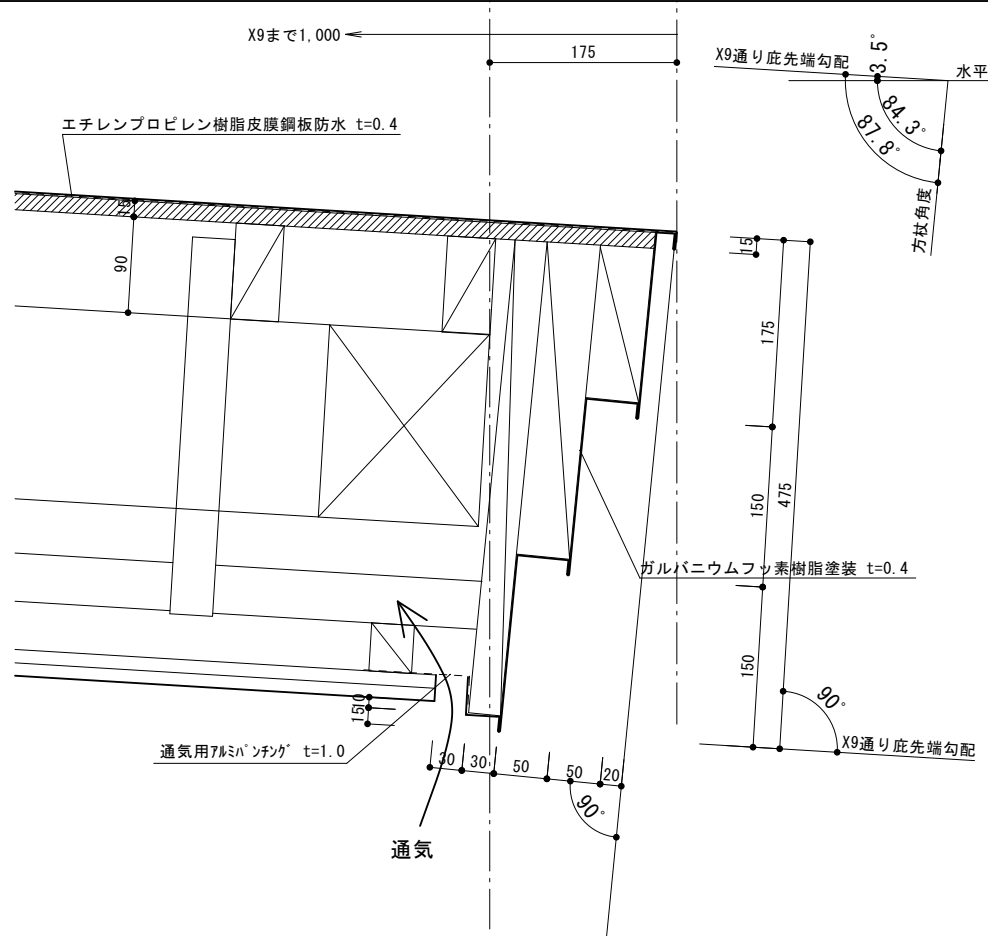
立面図



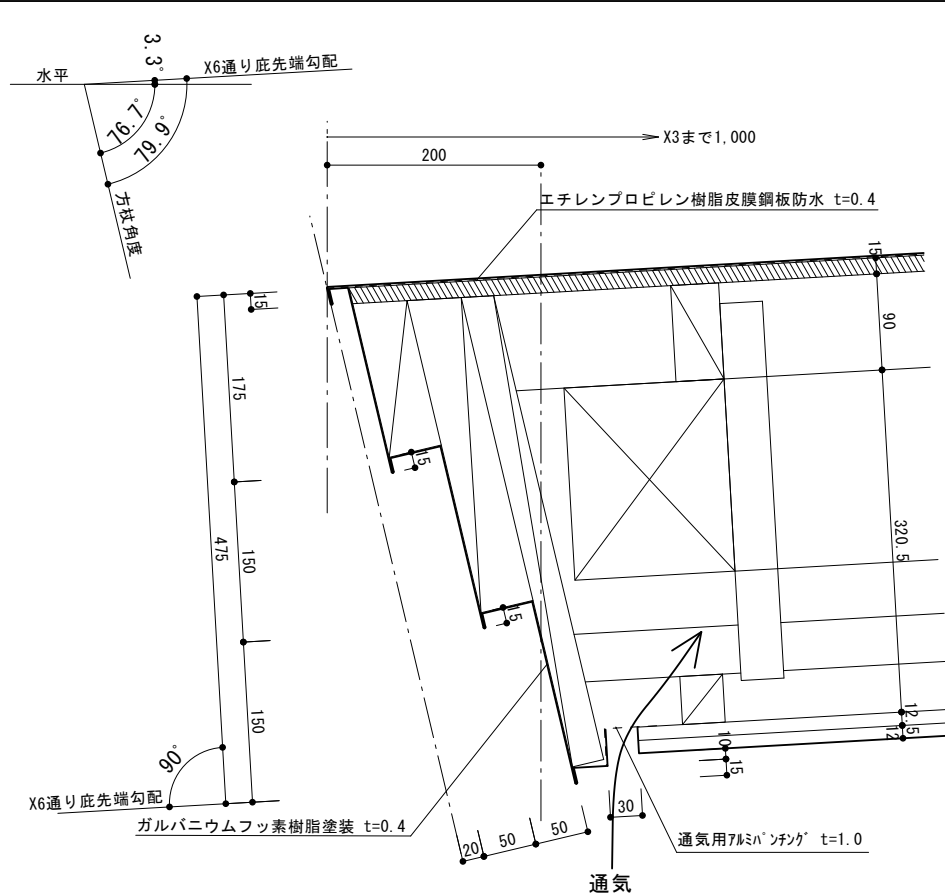


不燃シナ化粧合板 突付け貼り詳細図 S=1/5			壁仕上見切り材標準詳細図 S=1/5			床仕上見切り材標準詳細図 S=1/5					
											
<div><div><div><div><div></div><div>一級建築士事務所 都知事登録 第26373号 一級建築士 大臣登録 第75827号 秋山邦雄</div></div></div><div>(株)歴史環境計画研究所</div></div></div>			設計	照査	設計	照査	網走市	工事名称	図面名	縮 尺	図面番号
						史跡最寄貝塚 ガイダンス施設新築工事	各部詳細図（7）	1/5	61 / A		

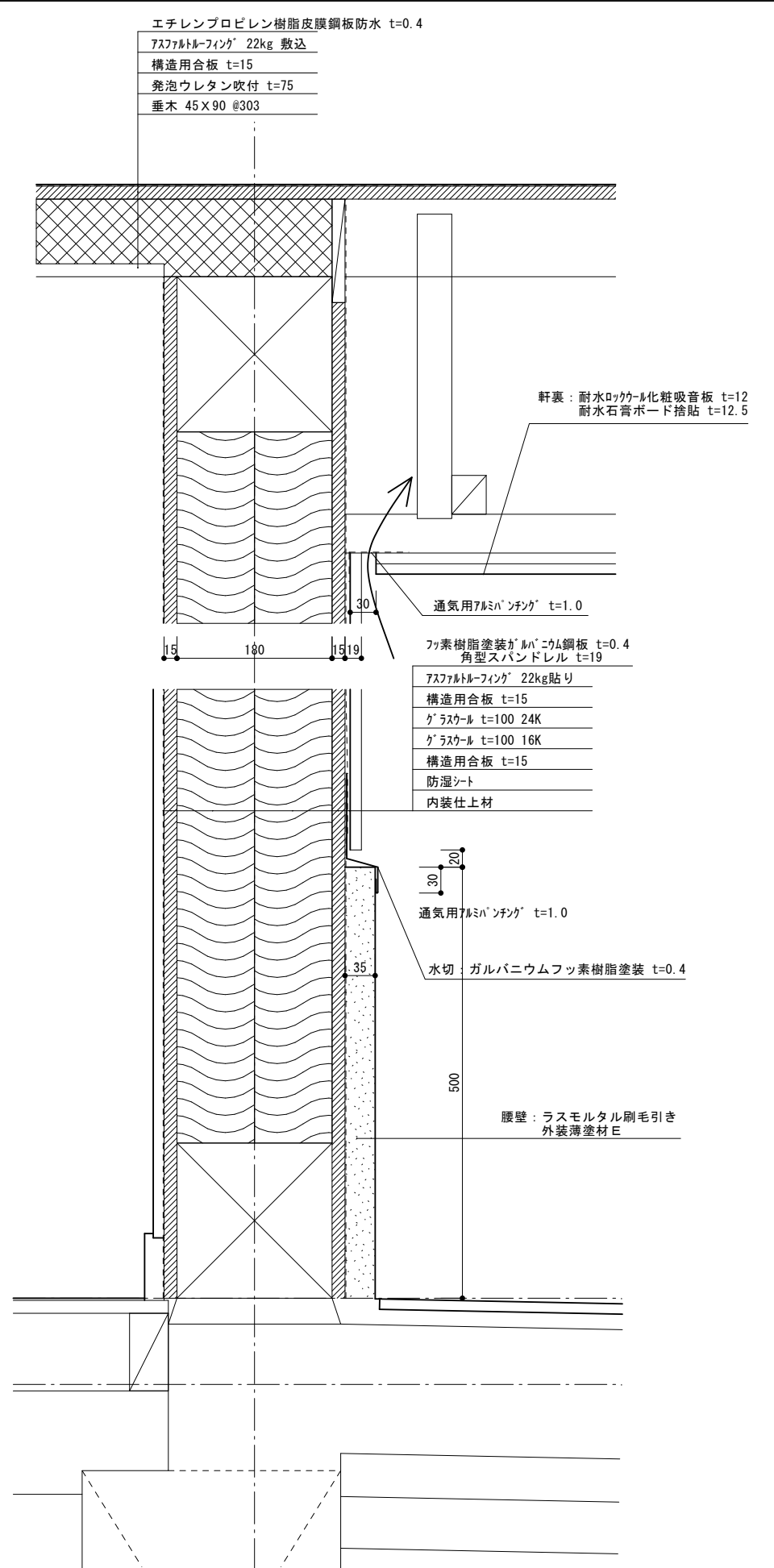
軒先詳細図(3) $S = 1/5$



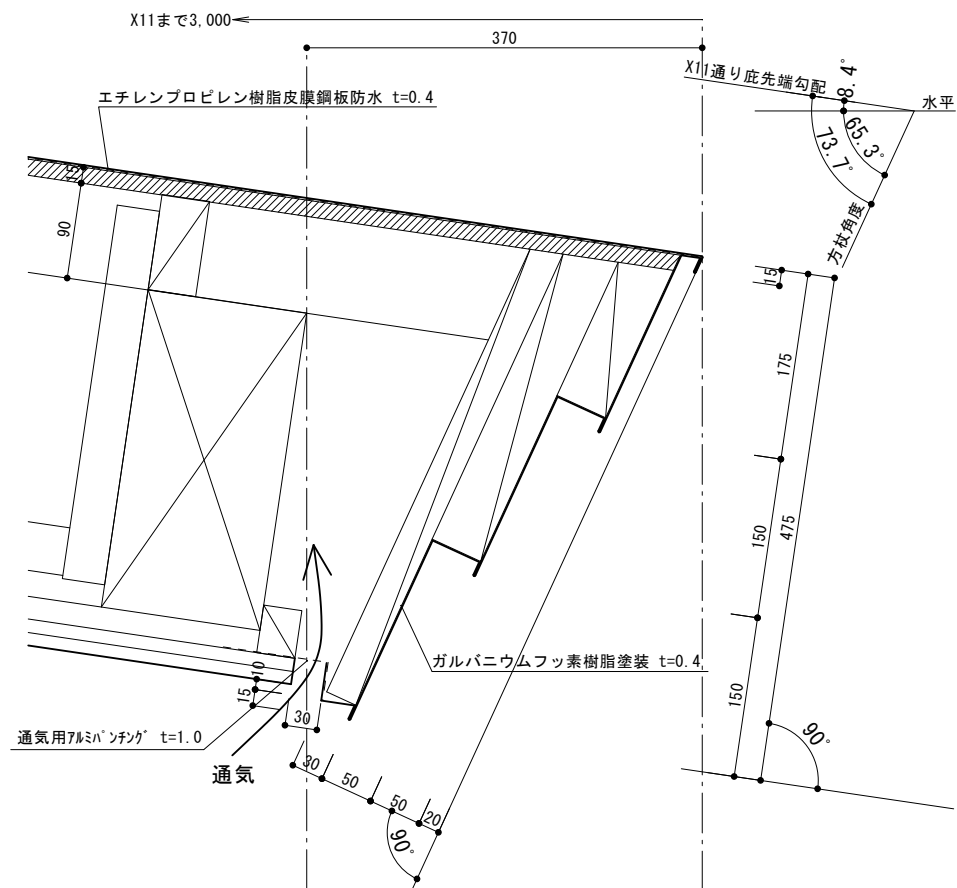
軒先詳細図(4) $S=1/5$



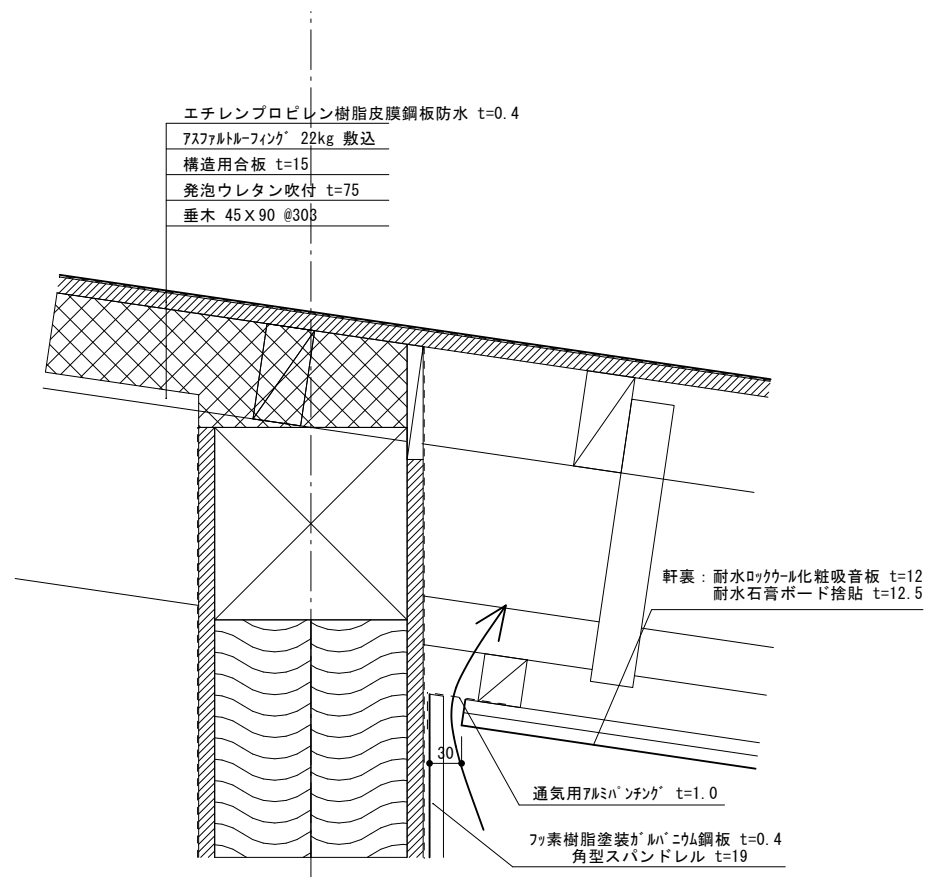
軒裏詳細図 (1)、水切詳細図 S=1/5

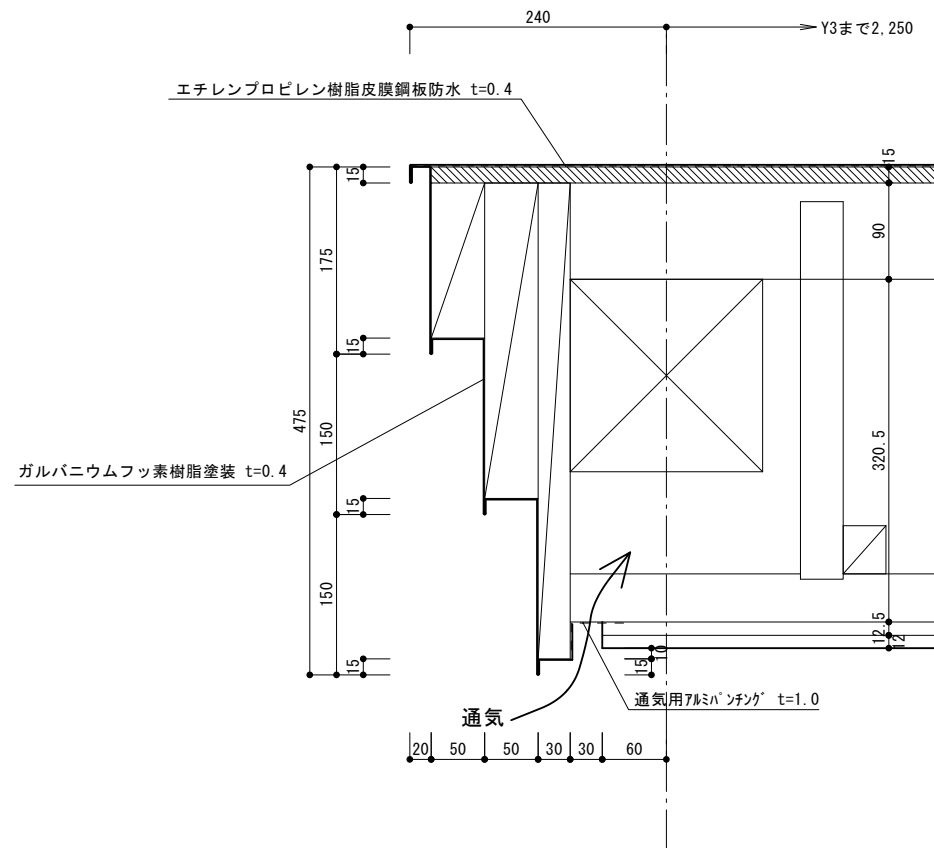


軒先詳細図(5) $S = 1/5$

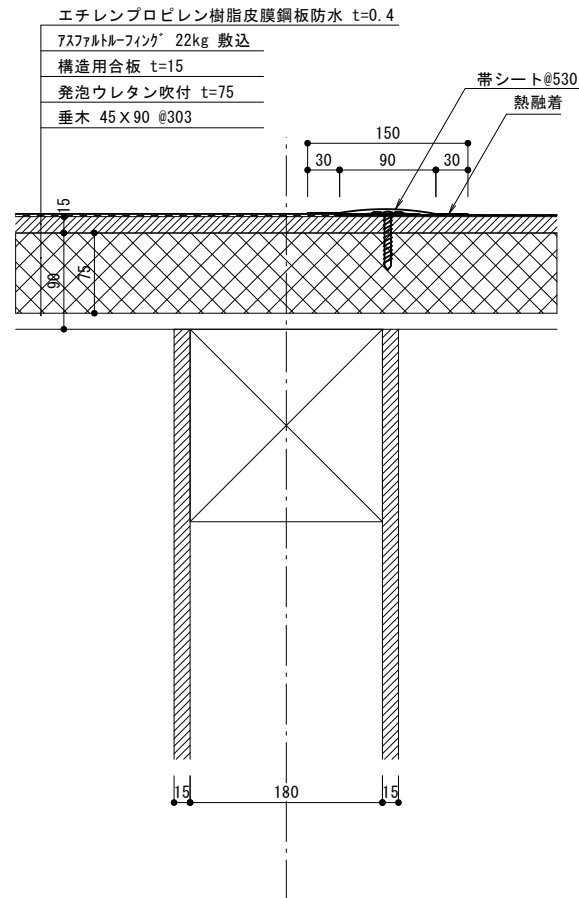


軒裏詳細図 (2) $S=1/5$

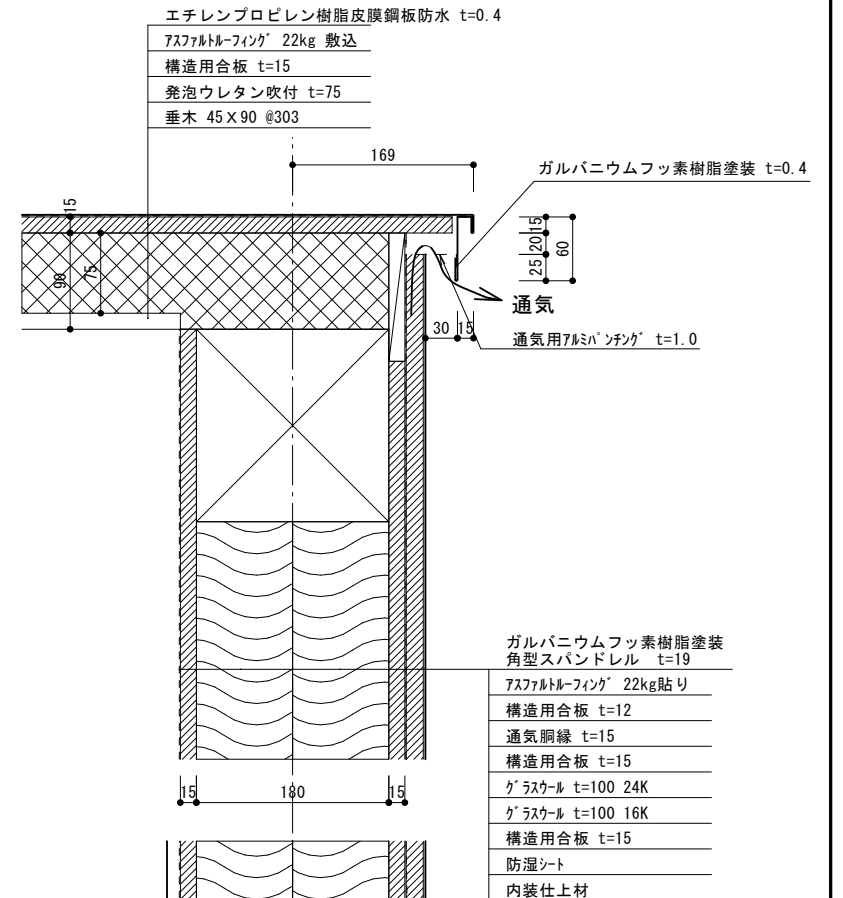


ケラバ詳細図(1) $S=1/5$ 

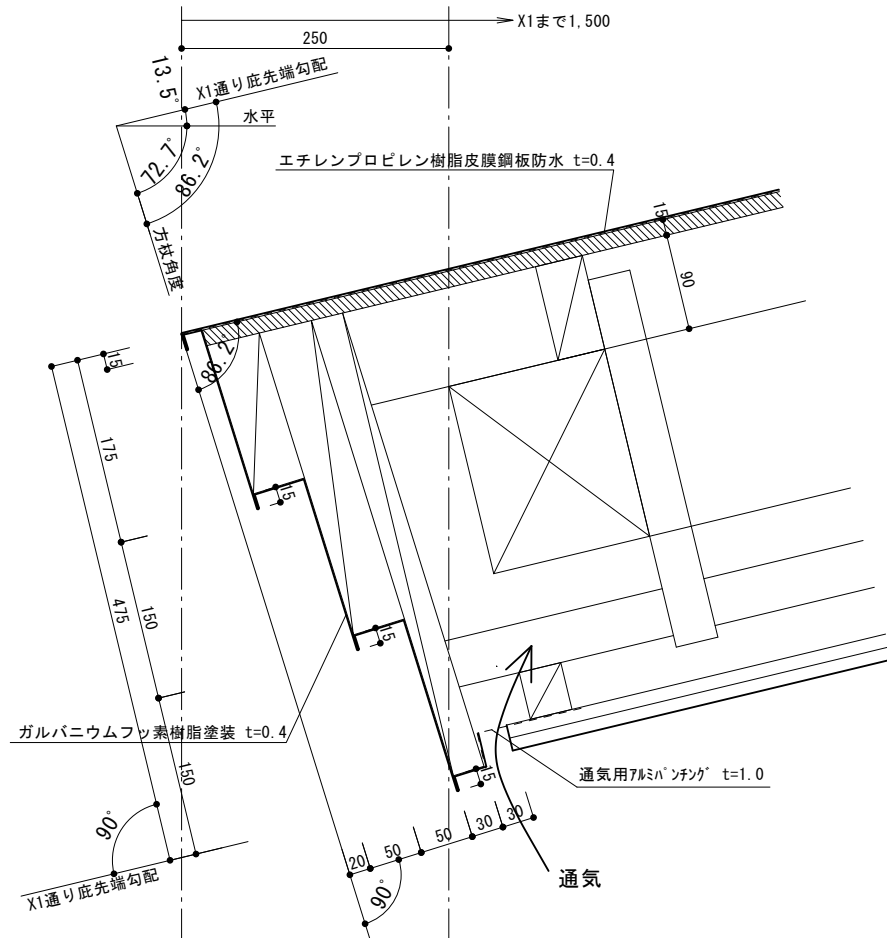
屋根詳細図 S=1/5



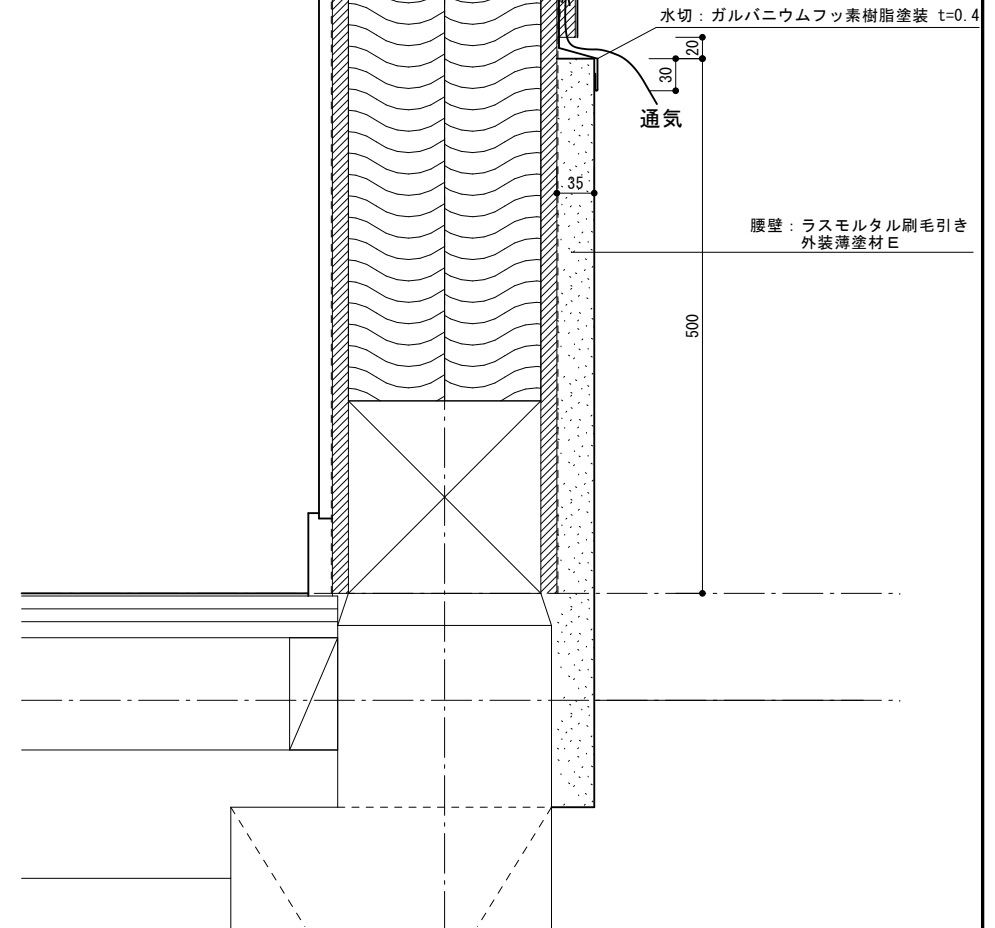
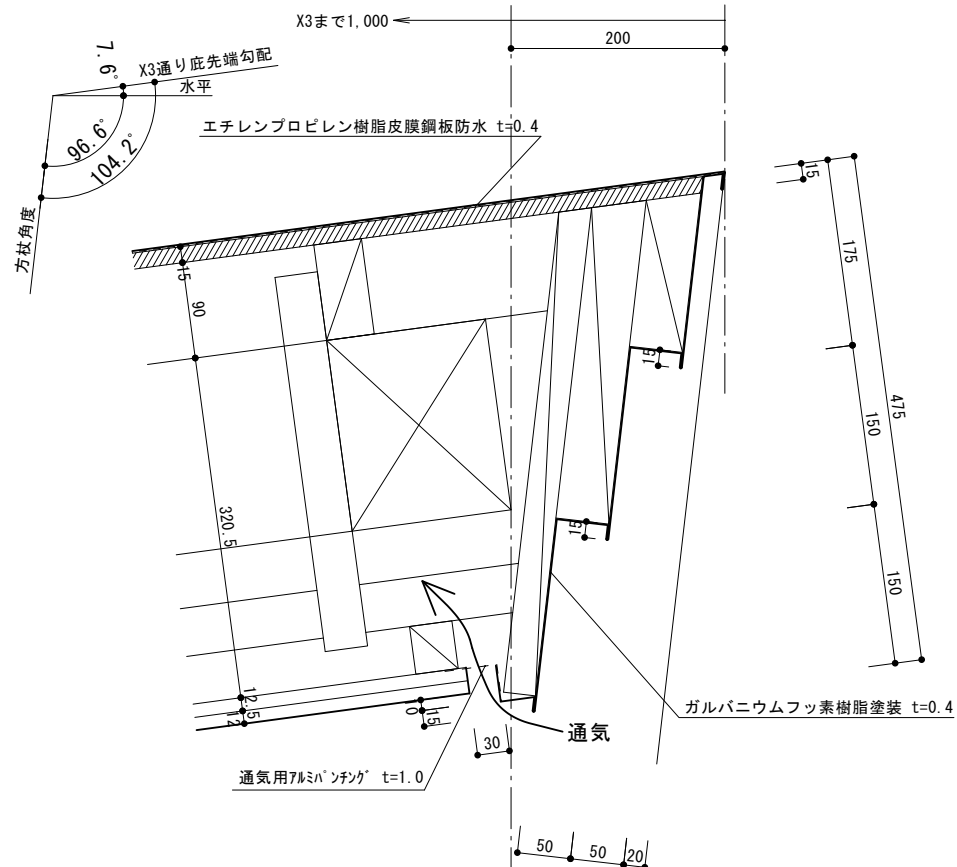
ケラバ詳細図(2)、水切詳細図 S=1/5

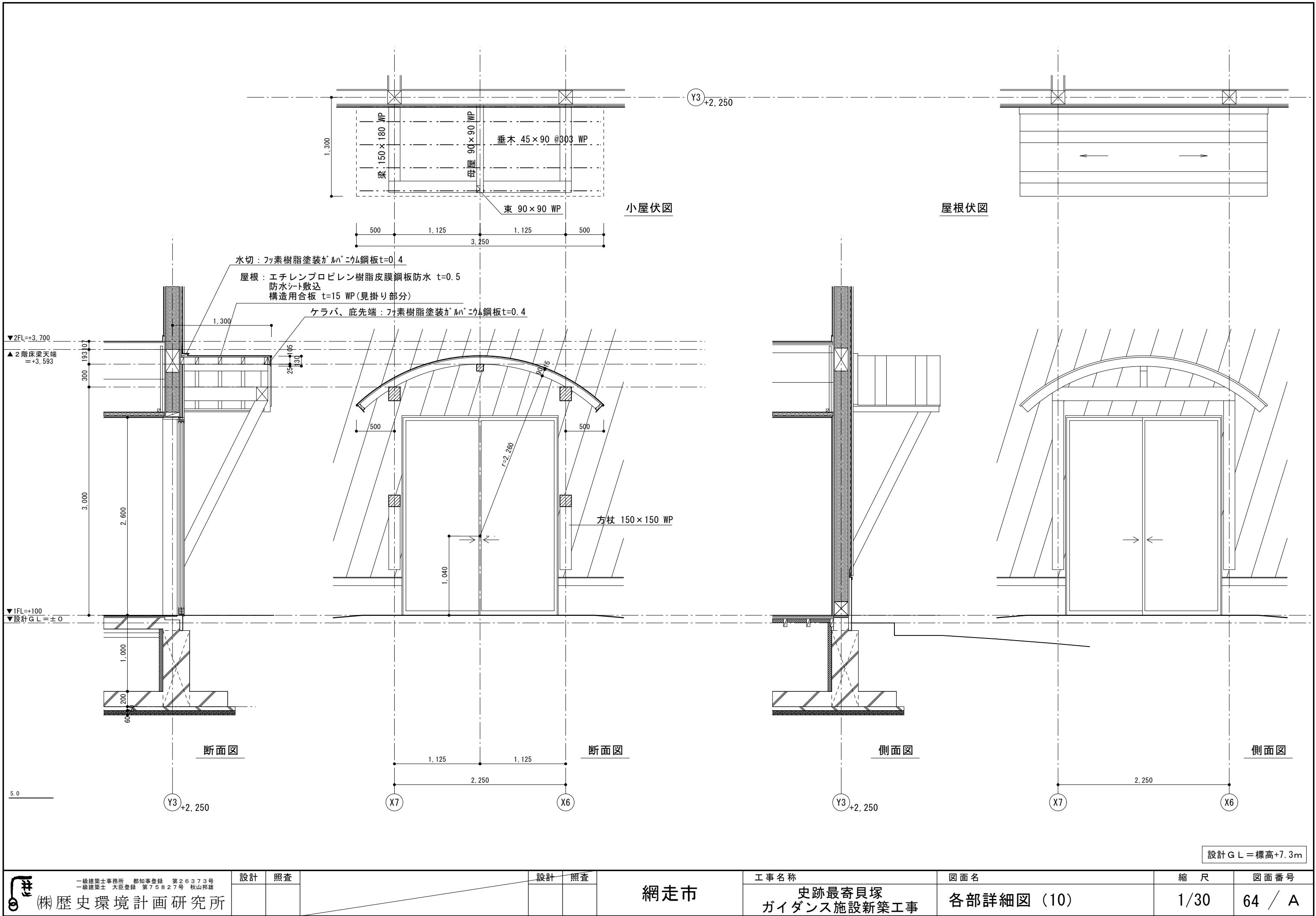


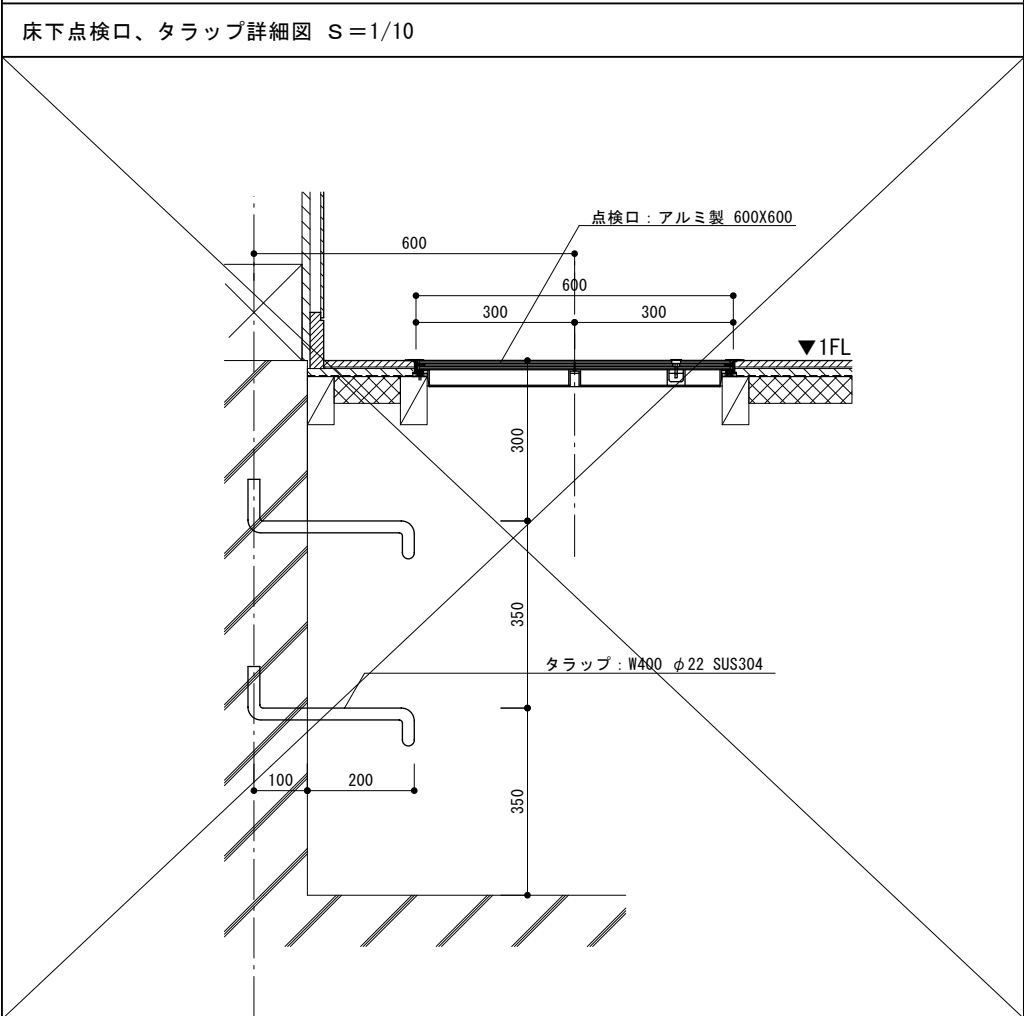
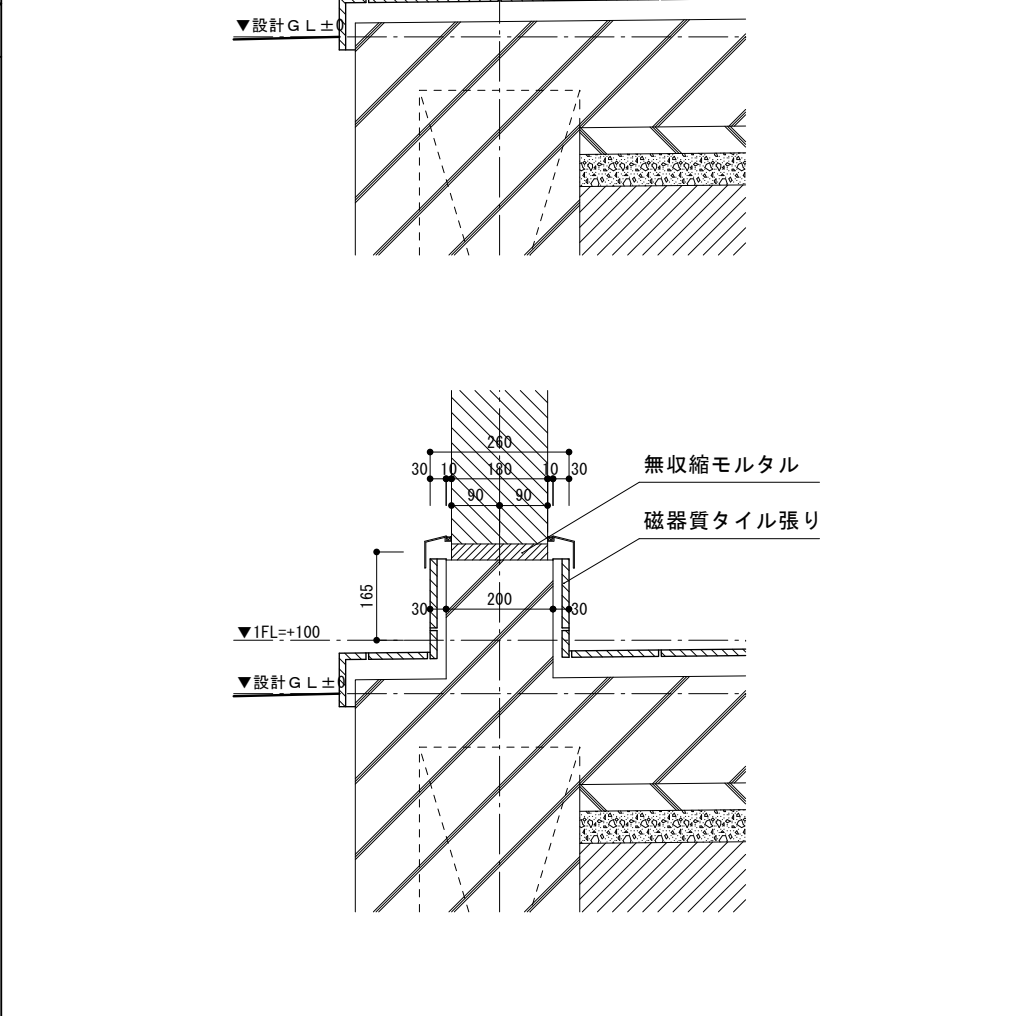
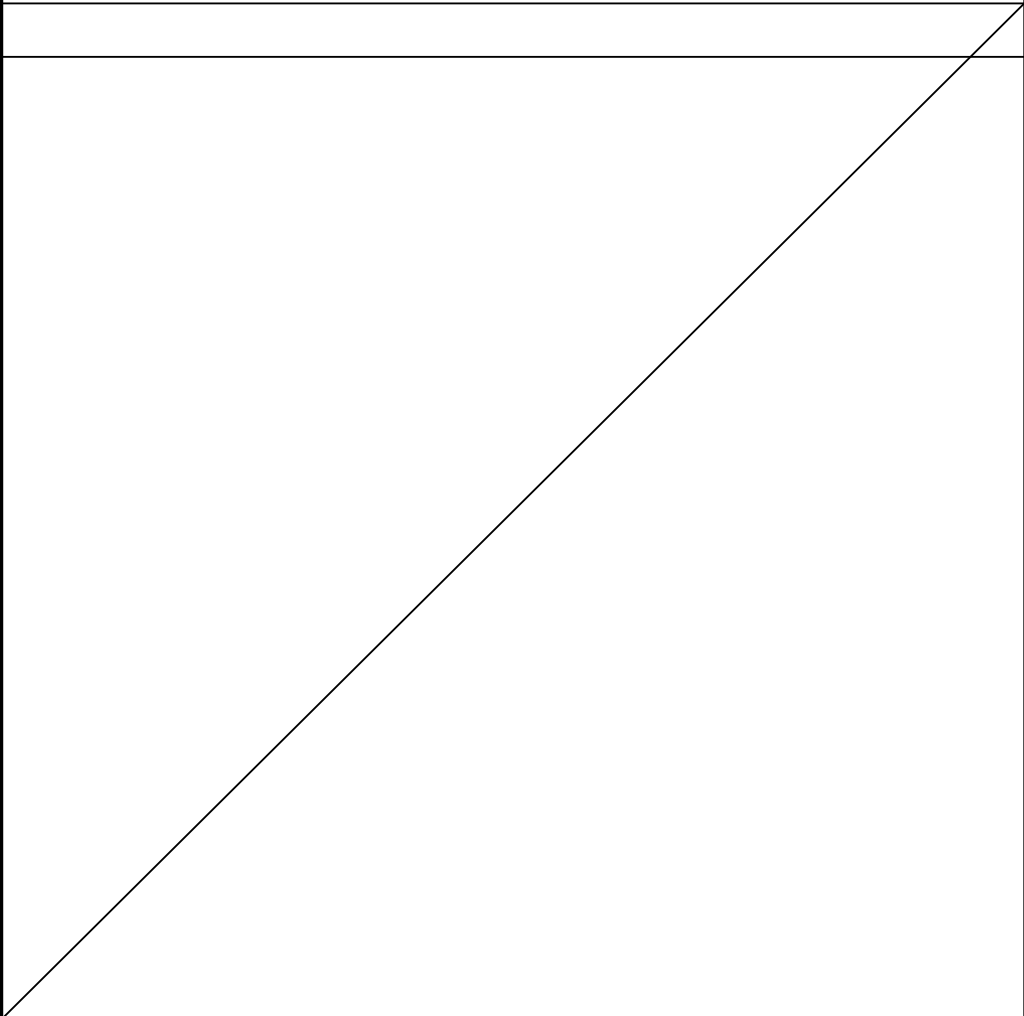
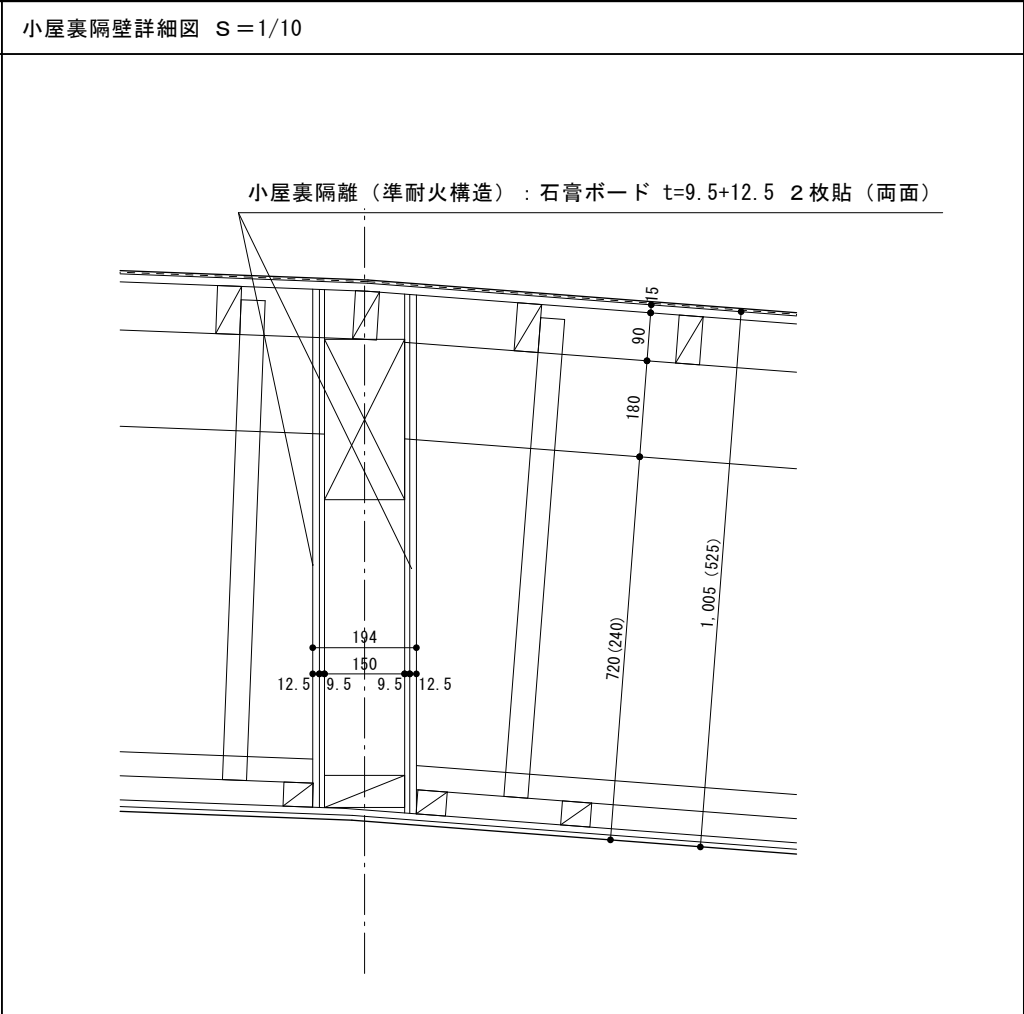
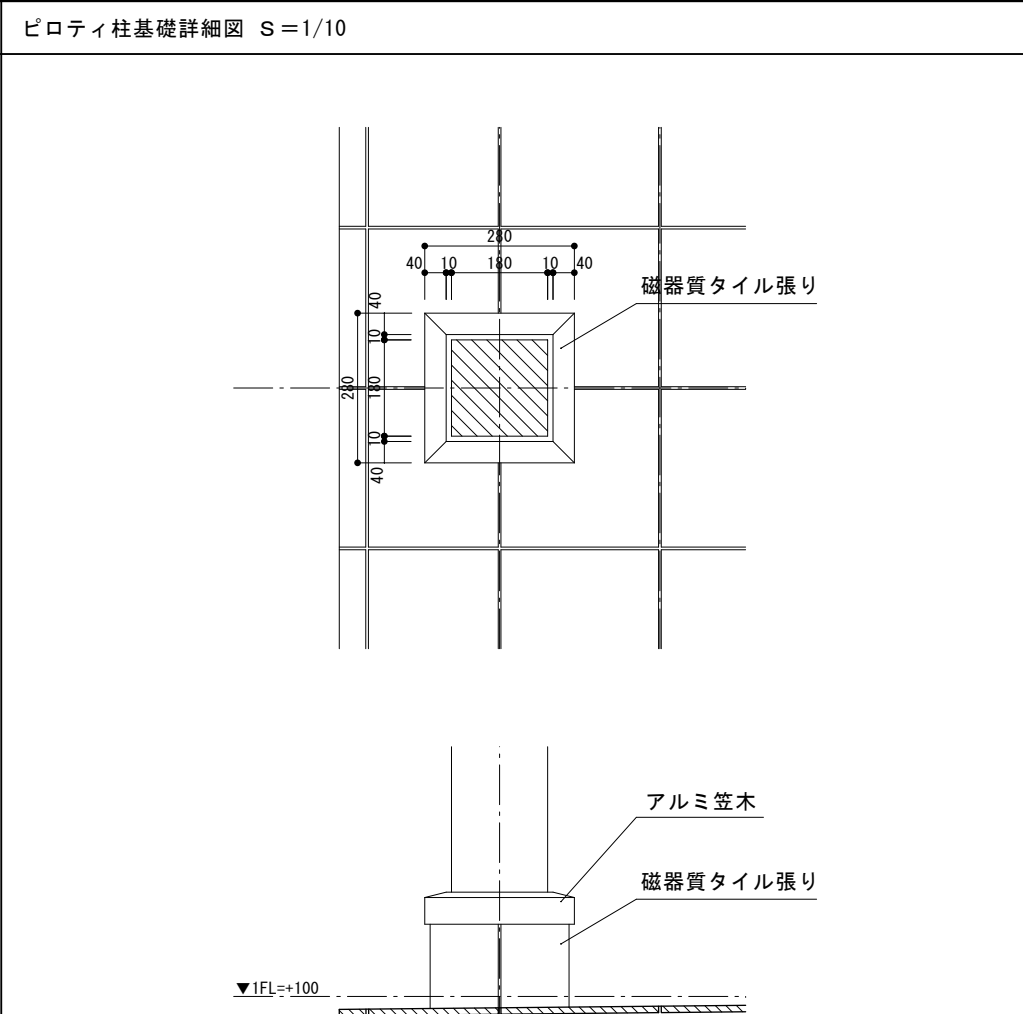
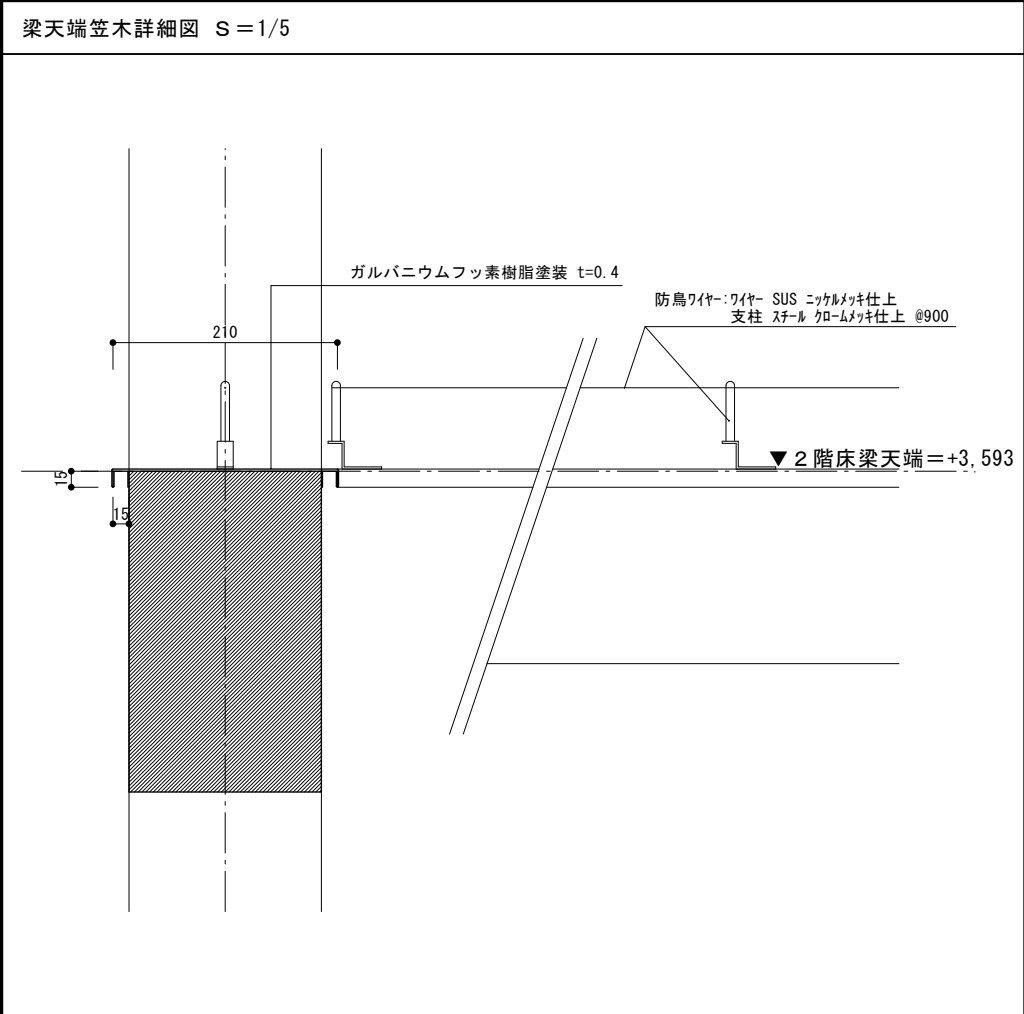
軒先詳細図(1) $S = 1/5$



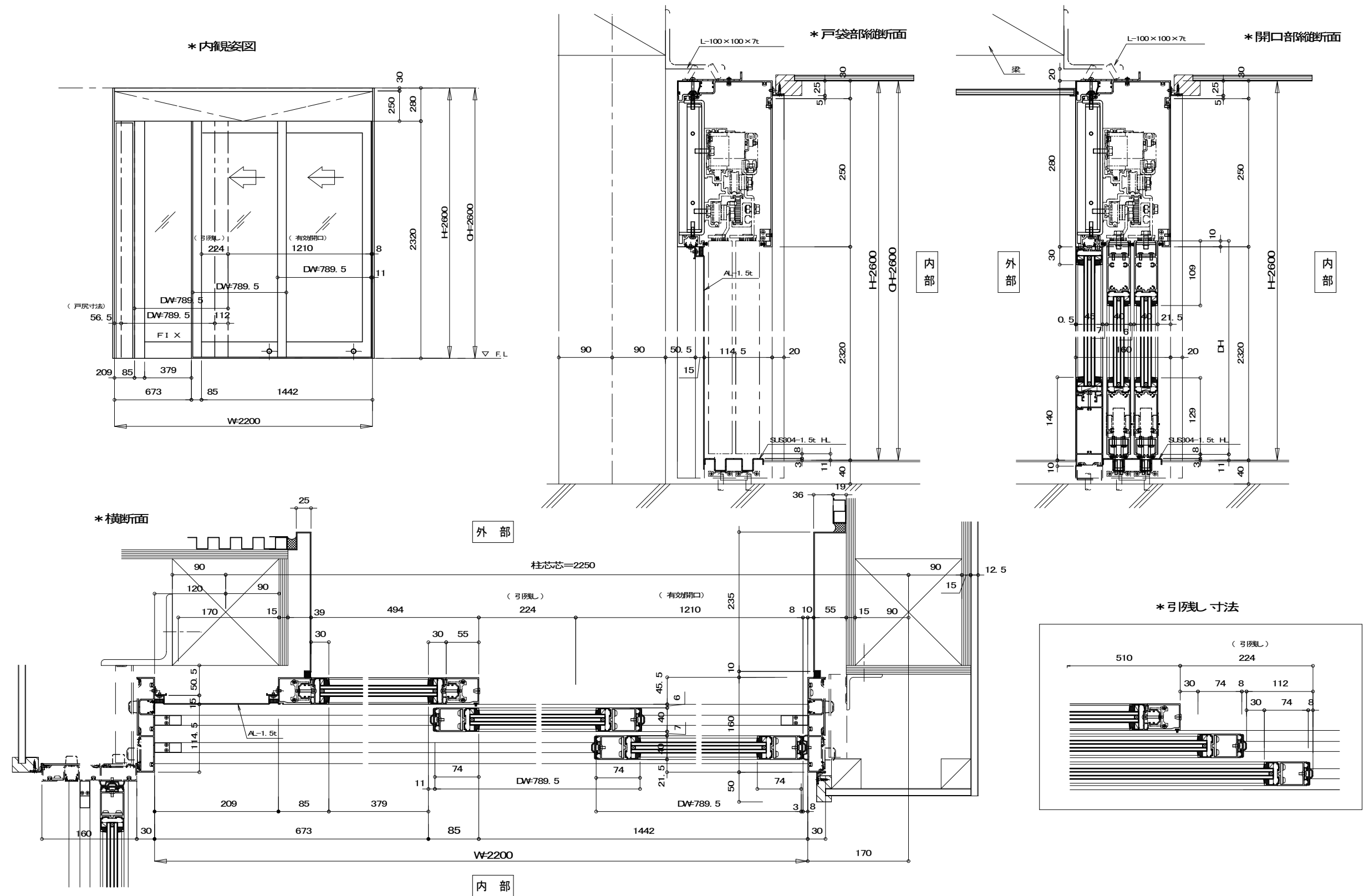
軒先詳細図(2) $S = 1/5$



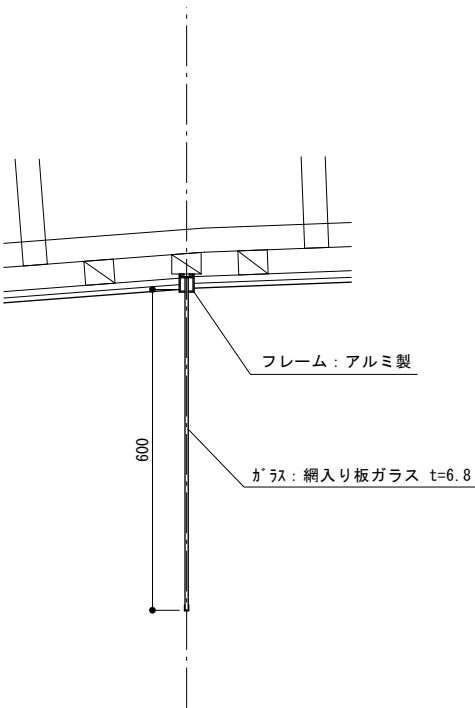
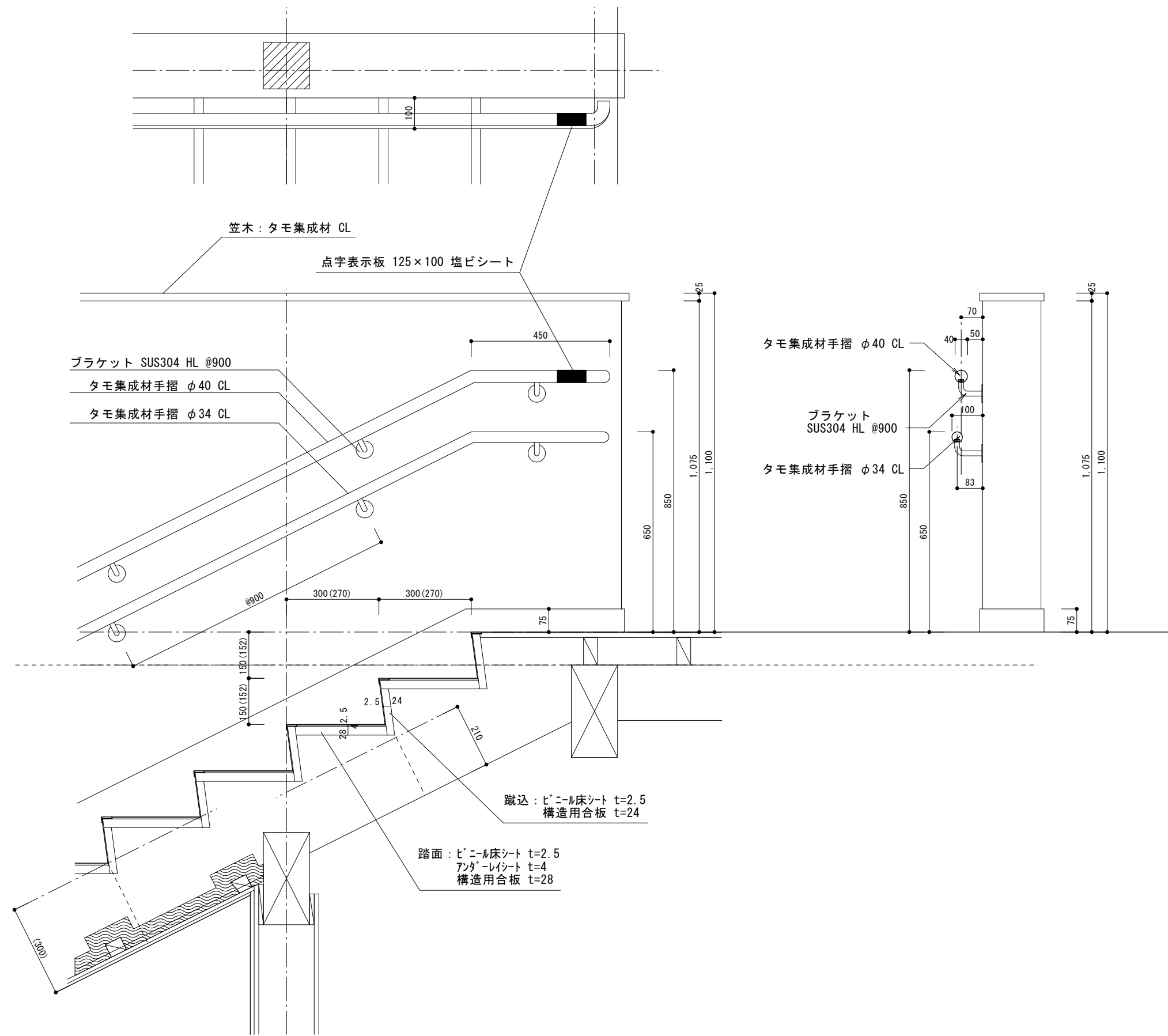




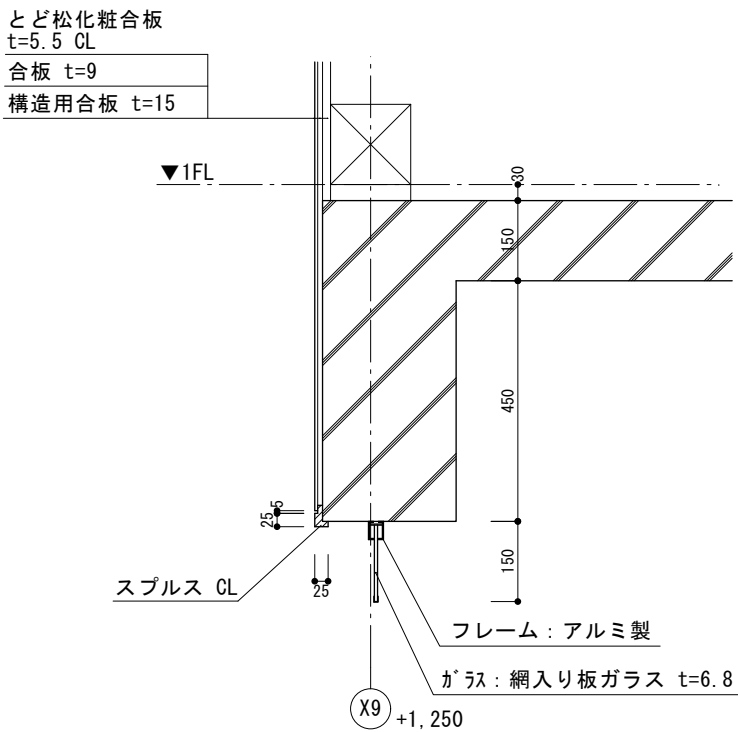
引違 建具枠標準詳細図（壁仕上：ビニルクロス貼）				排煙外倒窓 建具枠標準詳細図（壁仕上：ビニルクロス貼）			
引違 建具枠標準詳細図（壁仕上：とど松化粧合板貼）							
		設計		設計		網走市	
一級建築士事務所 都知事登録 第26373号 一級建築士 大臣登録 第75827号 秋山邦雄		照査		照査		工事名称 史跡最寄貝塚 ガイダンス施設新築工事	
株式会社 歴史環境計画研究所						図面名 各部詳細図（12）	
						縮尺 1/10	
						図面番号 66 / A	

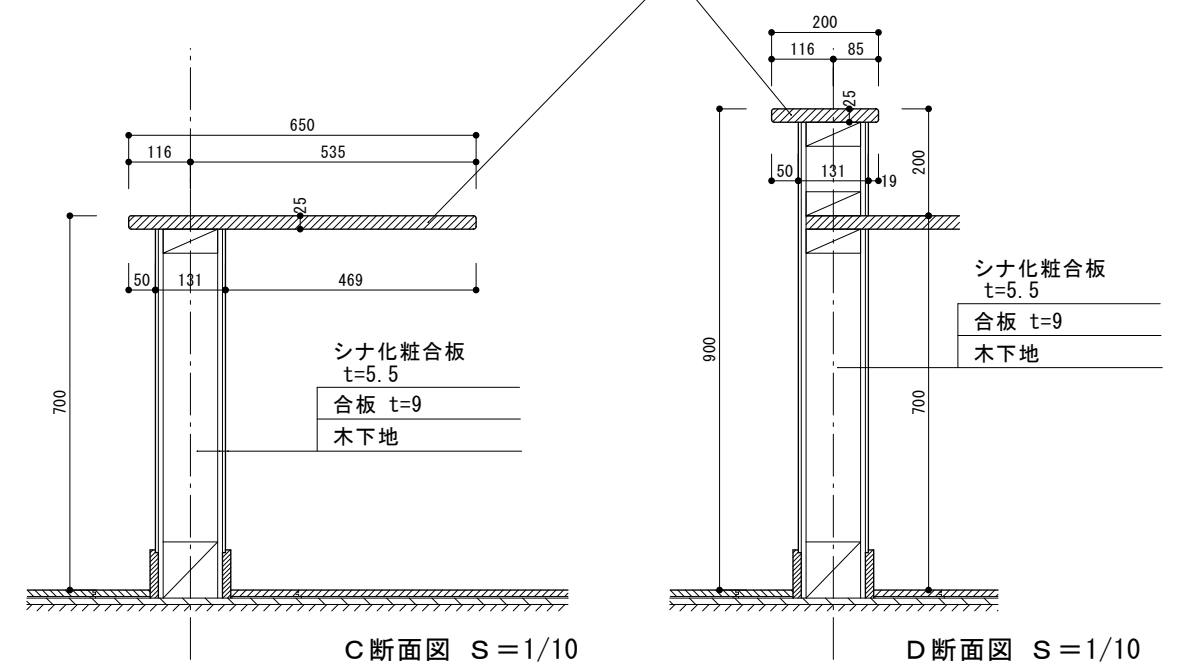
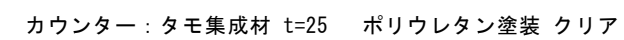
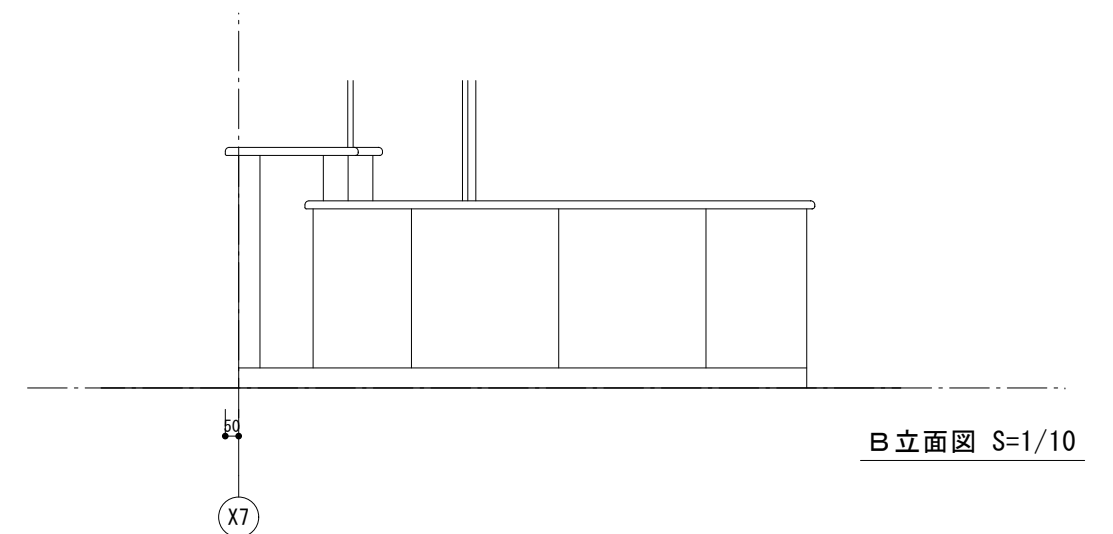
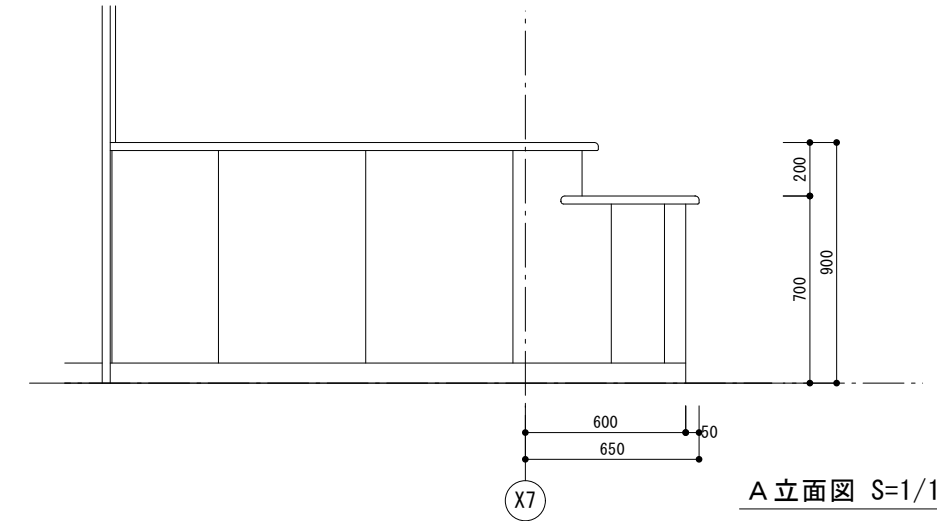
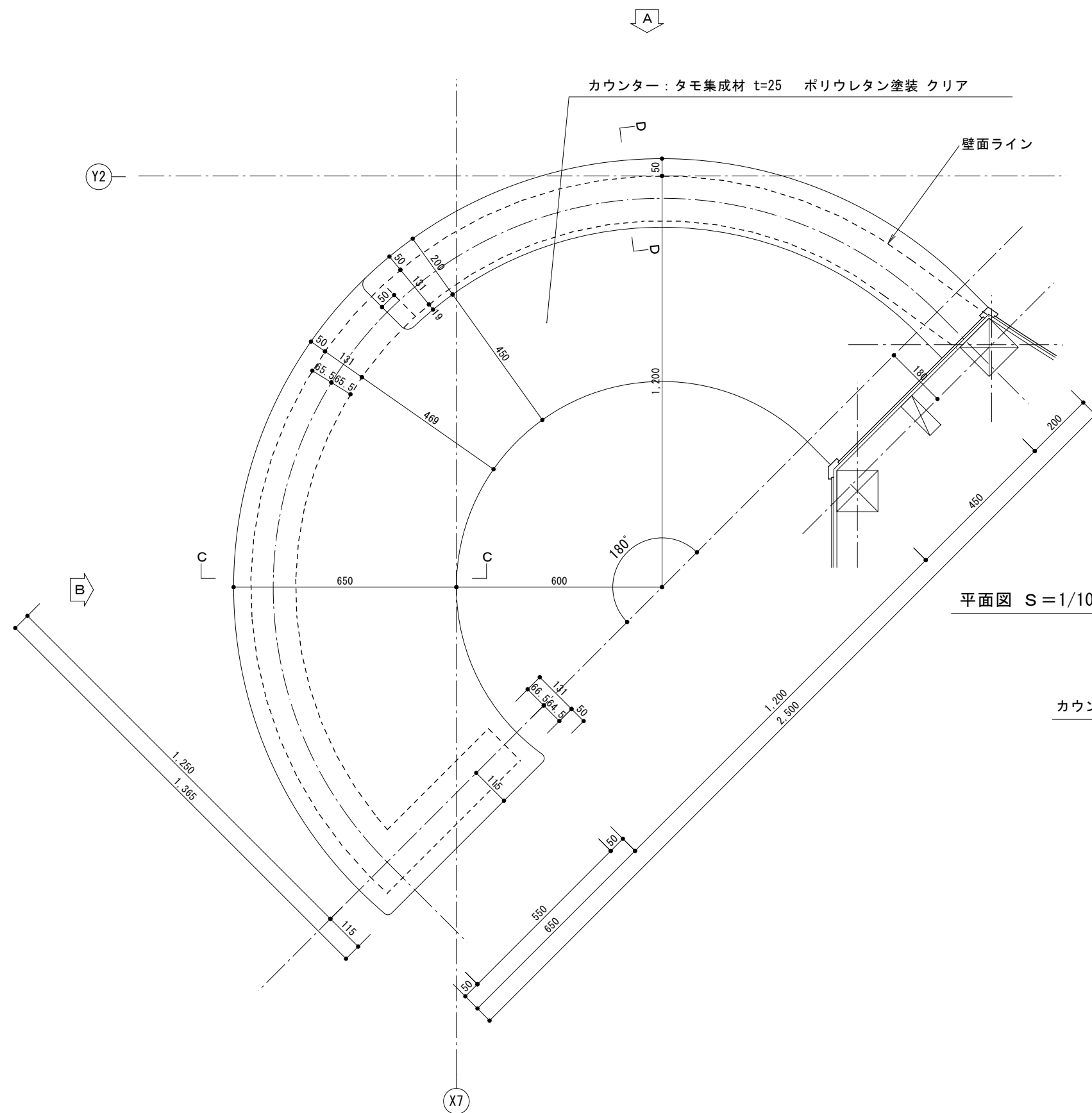


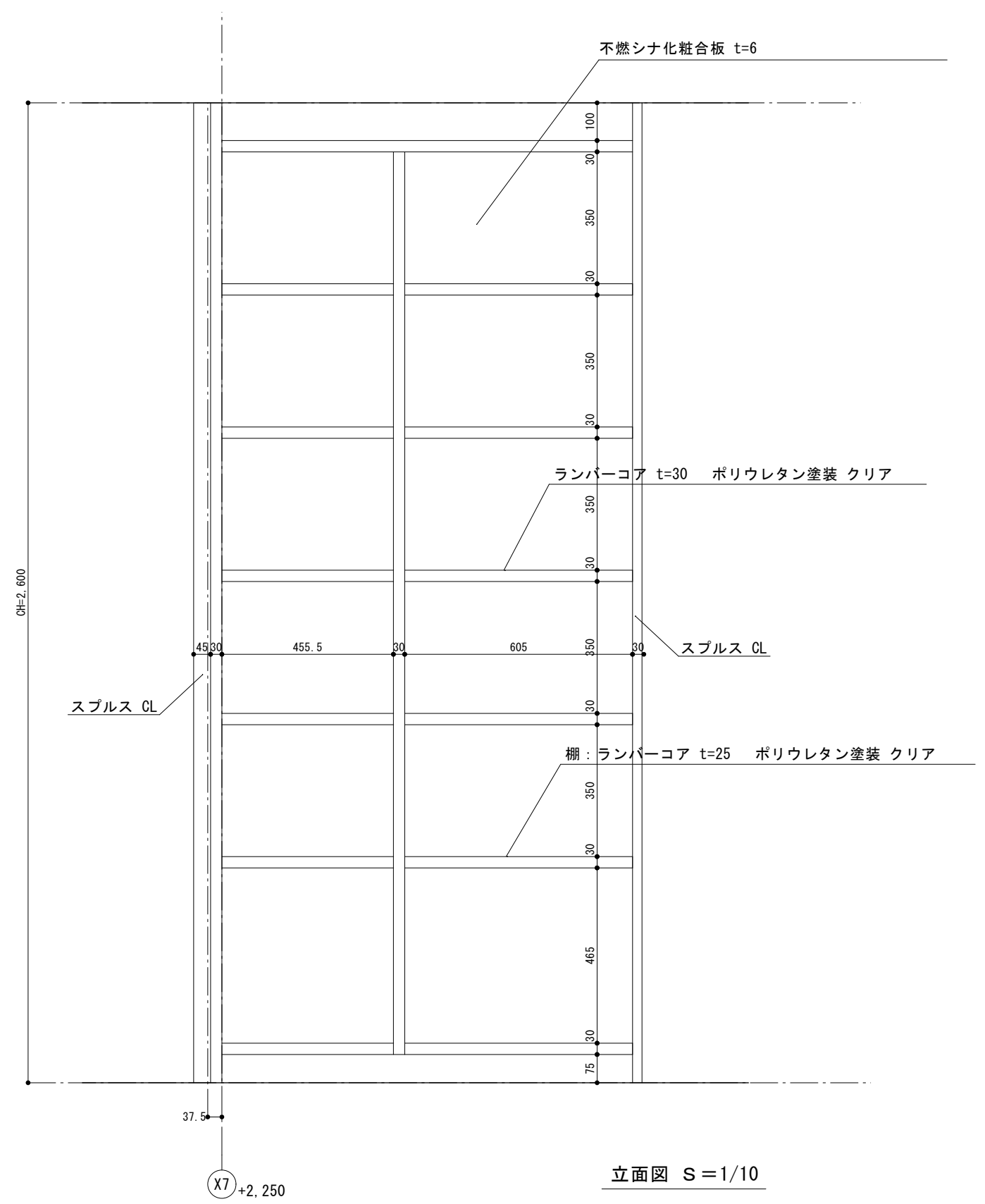
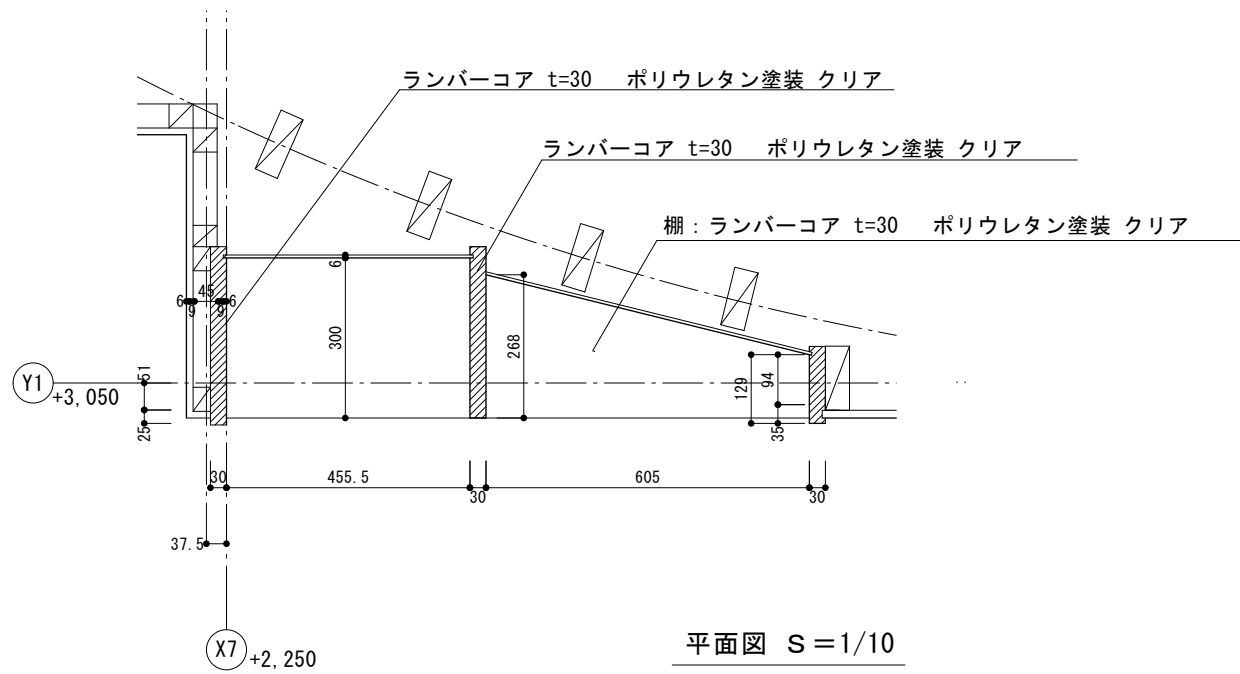
男子便所 小便器ライニング詳細図 S=1/20		男子便所・女子便所 洗面器詳細図 S=1/20		トイレブース詳細図 S=1/10											
				<p>脚部、巾木標準断面詳細図</p> <p>扉部標準断面詳細図</p> <p>戸当り標準断面詳細図</p> <p>仕様 表面材：メラミン樹脂化粧合板 エッジ、笠置：アルミ押出型材 巾木：ステンレス 吊り方式：中心吊りグレビティヒンジ 手摺取付部補強</p>											
女子便所 掃除用流しライニング詳細図 S=1/20		だれでもトイレ オストメイトライニング詳細図 S=1/20													
				<p>コーナー部、内開き扉標準平面詳細図</p>											
				<p>外開き扉標準平面詳細図</p>											
		設計 照査		設計 照査		網走市		工事名称 史跡最寄貝塚 ガイダンス施設新築工事		図面名 各部詳細図 (14)		縮尺 図示		図面番号 68 / A	
株式会社 歴史環境計画研究所															

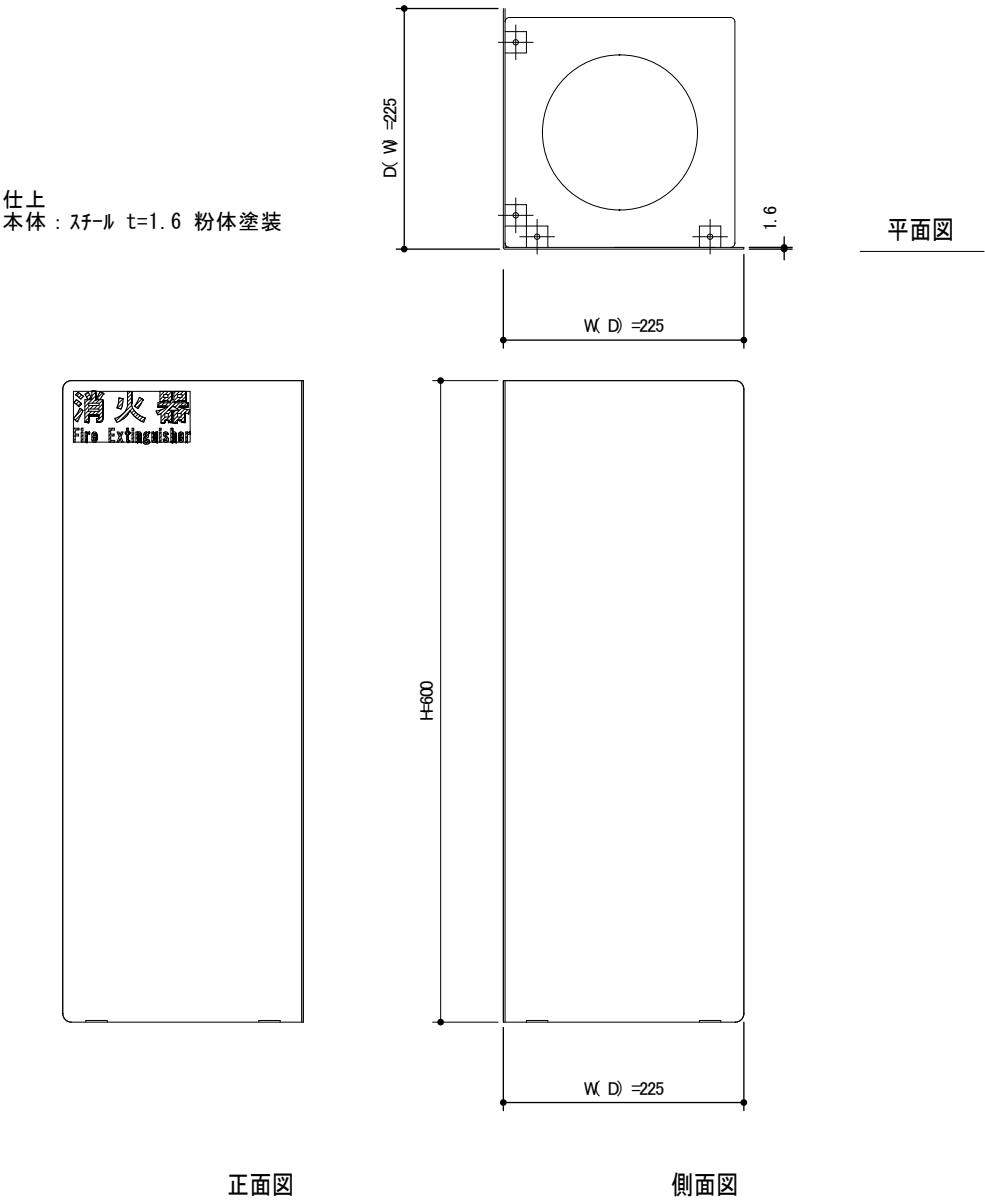
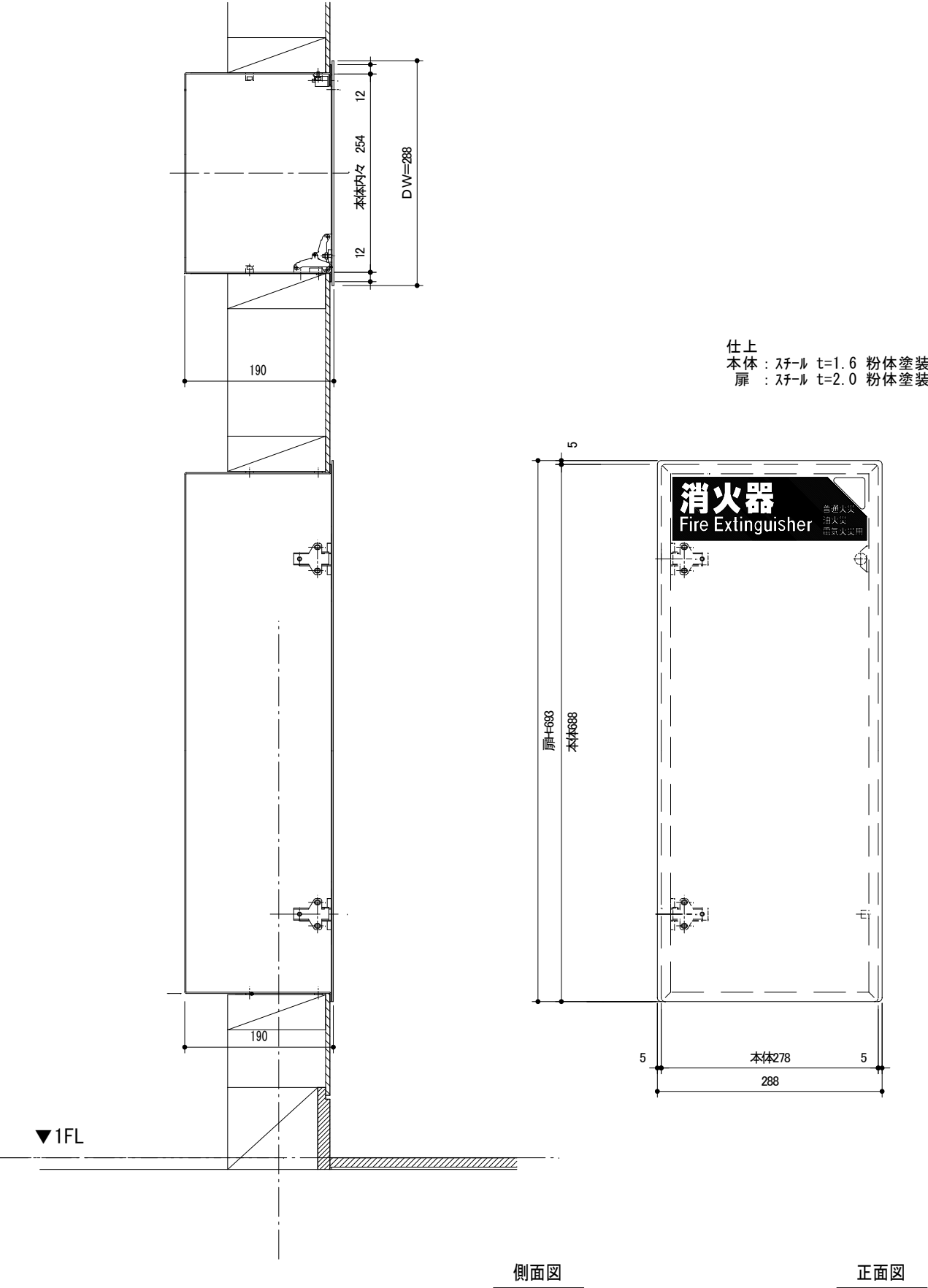


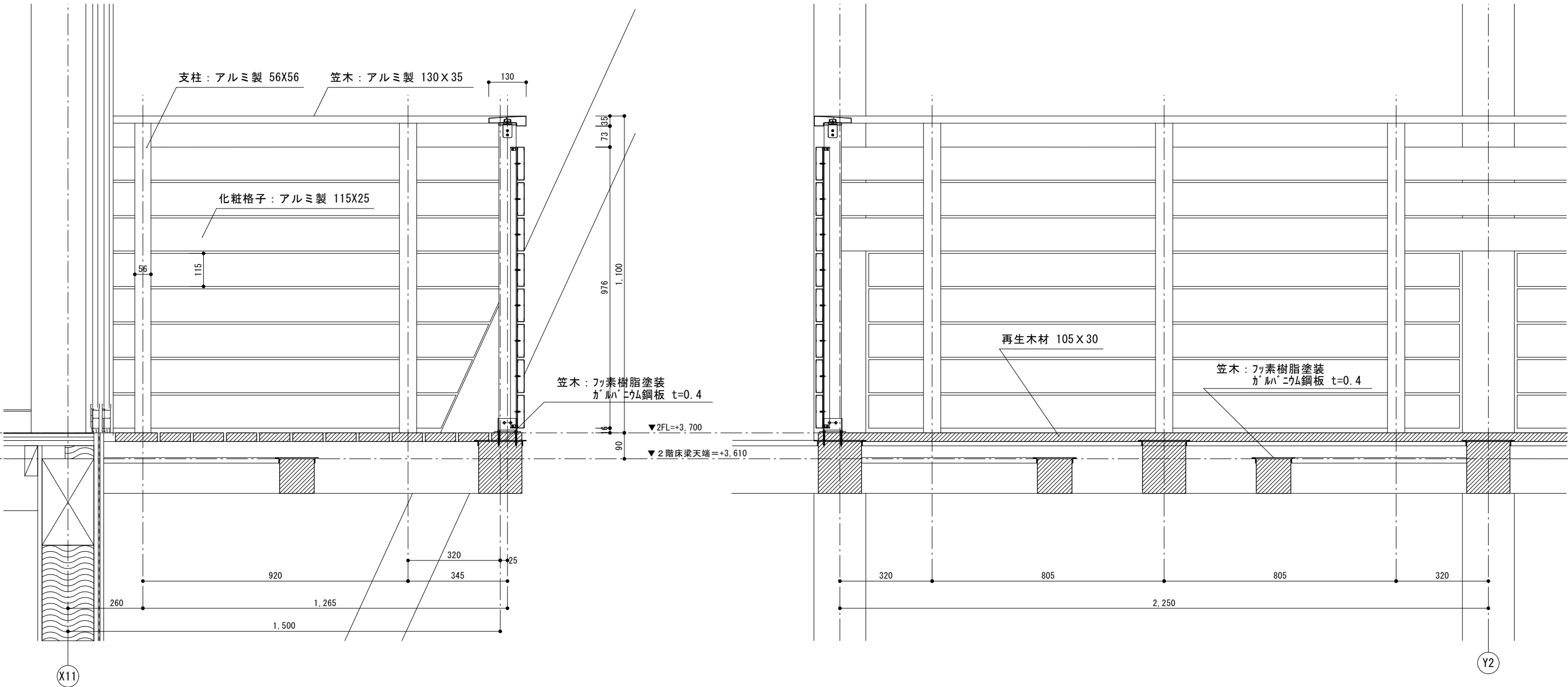
階段室(2)防災垂れ壁詳細図 S=1/10



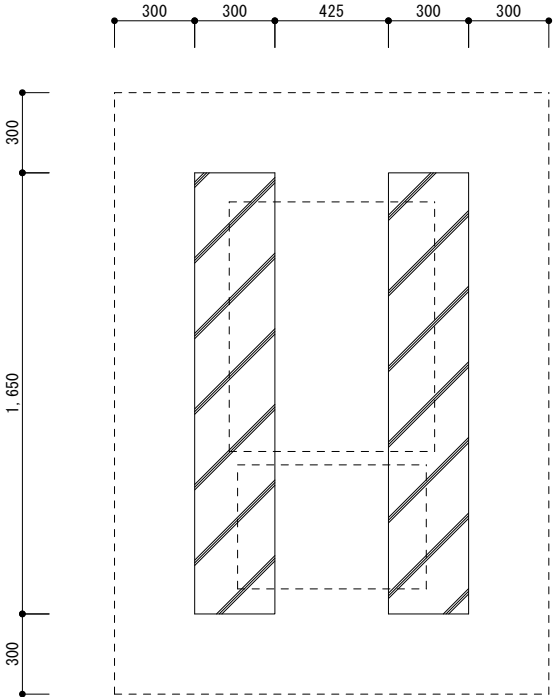
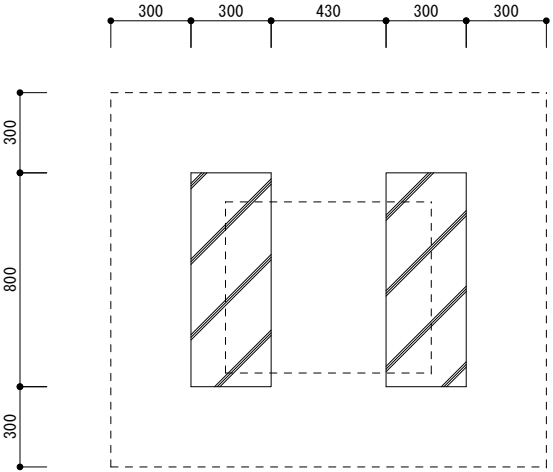
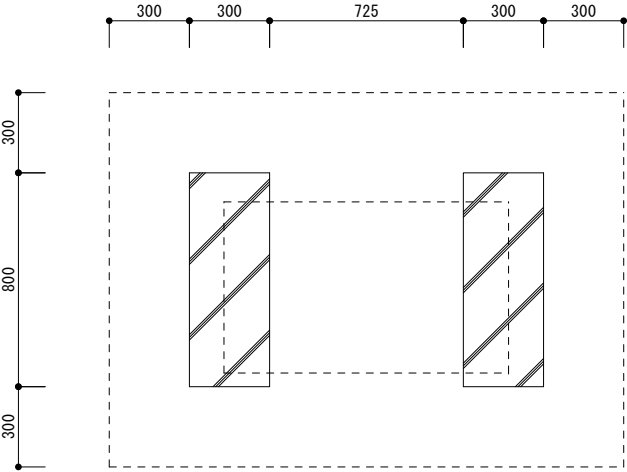
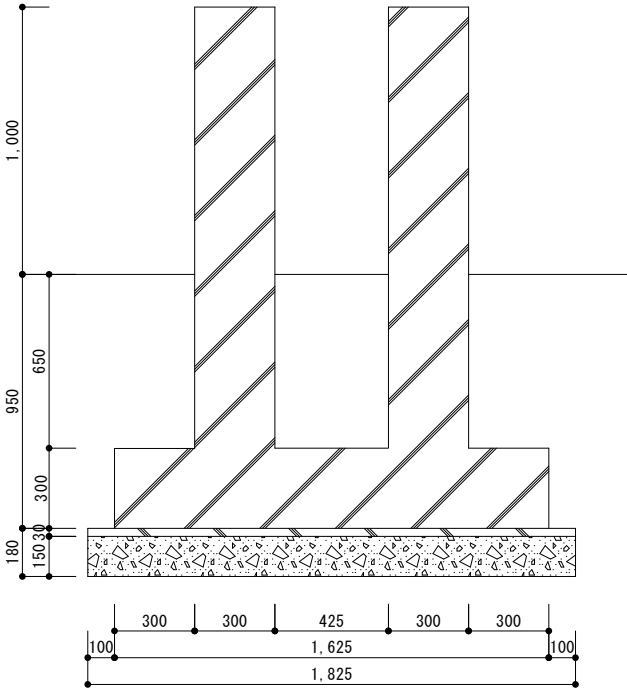
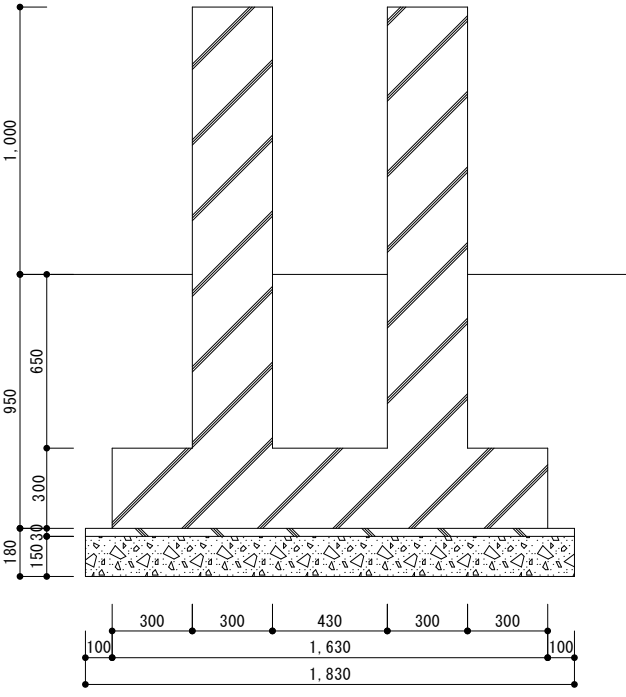
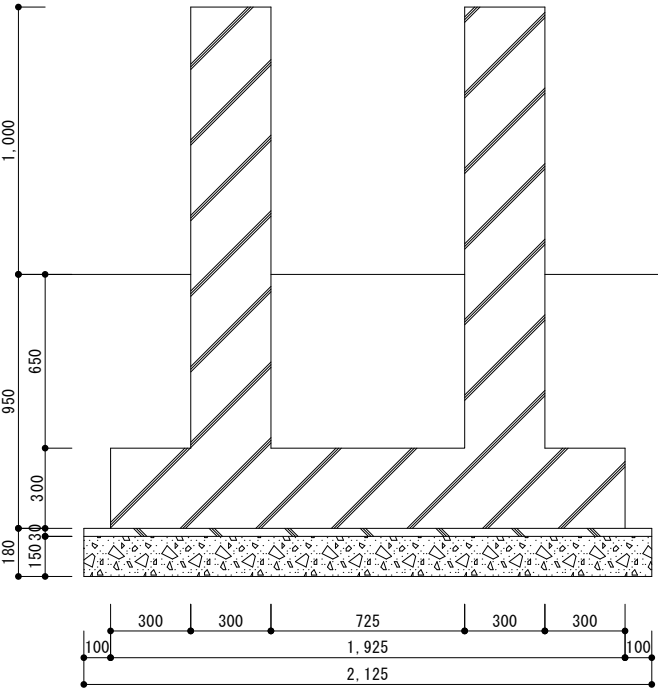





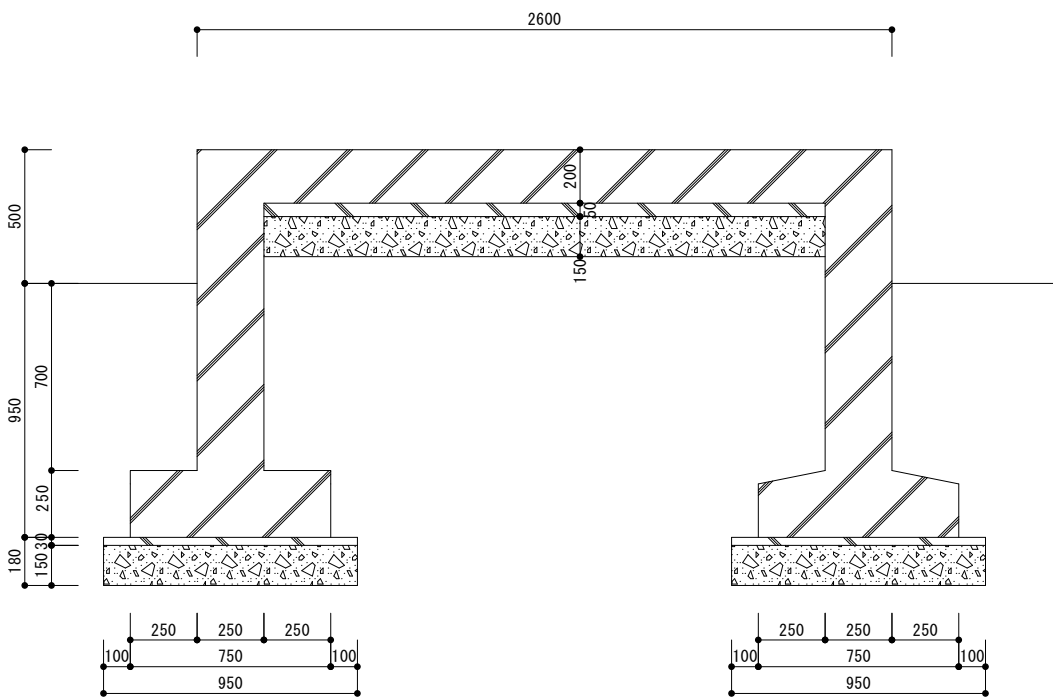
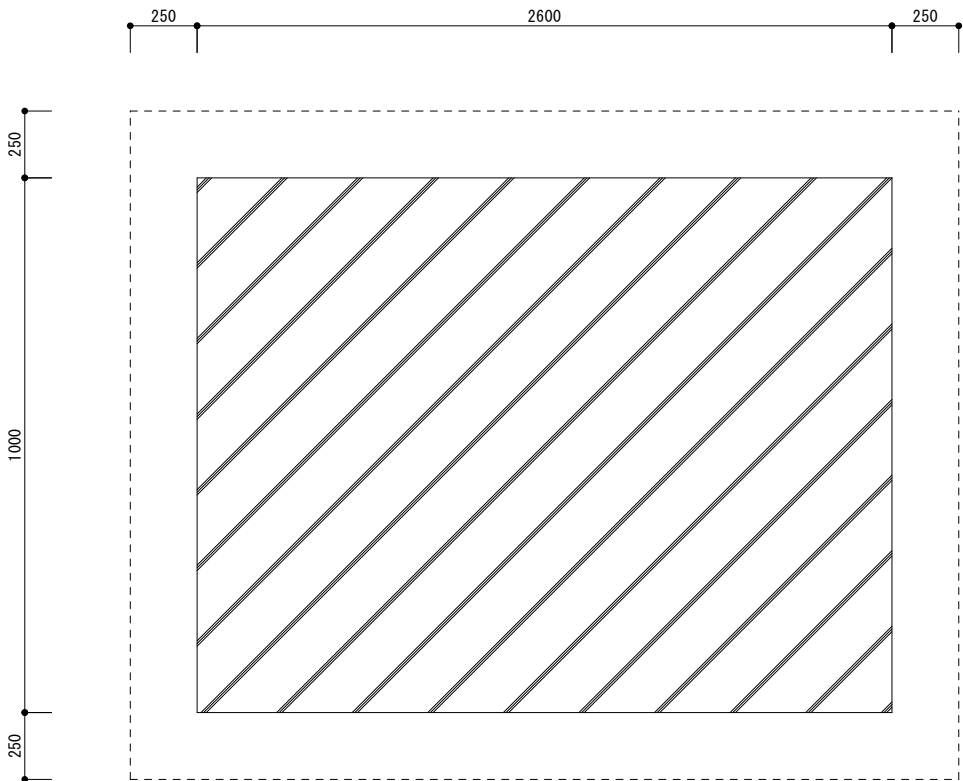




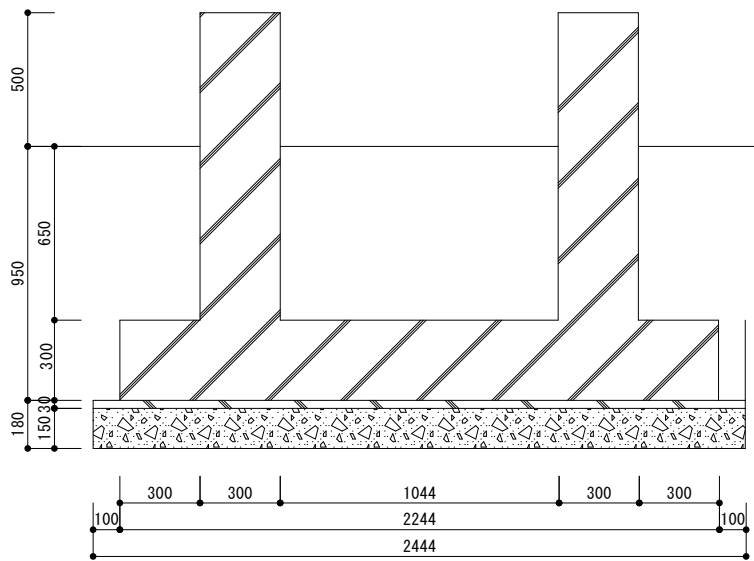
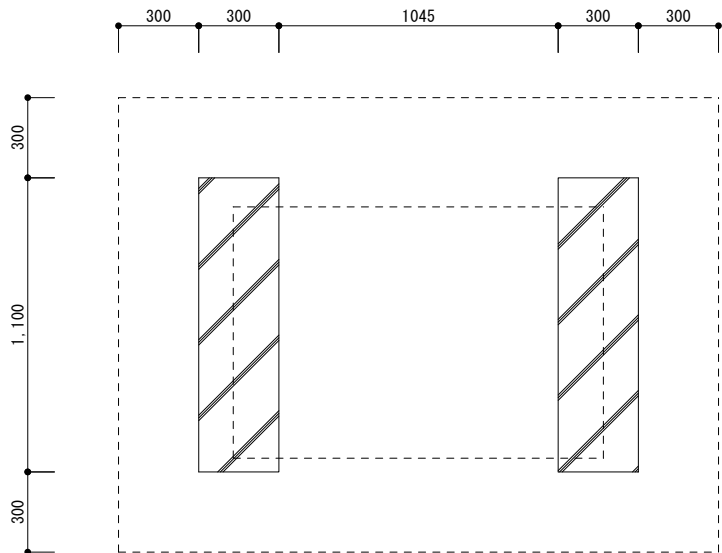
手摺：トステム ベランダ手摺モダンパネル 化粧格子横仕様 同等品
床：中村製作所 再生木材（合成木材）NAウッド同等品

設備基礎 A 詳細図 S = 1/20				設備基礎 B 詳細図 S = 1/20				設備基礎 C 詳細図 S = 1/20			
											
											
<div>  <div> <div> 一級建築士事務所 都知事登録 第26373号 二級建築士 大臣登録 第75827号 秋山邦雄 </div> <div> (株)歴史環境計画研究所 </div> </div> </div>				<div> <div>設計</div> <div>照査</div> </div>				<div> <div>設計</div> <div>照査</div> </div>			
				<div> <div>網走市</div> <div> 工事名称 史跡最寄貝塚 ガイダンス施設新築工事 </div> </div>				<div> <div>図面名</div> <div>各部詳細図 (20)</div> </div>			
				<div> <div>縮 尺</div> <div>1/20</div> </div>				<div> <div>図面番号</div> <div>74 / A</div> </div>			

設備基礎D詳細図 S=1/20



設備基礎E詳細図 S=1/20



一級建築士事務所 都知事登録 第26373号
二級建築士 大臣登録 第75827号 秋山邦雄

(株)歴史環境計画研究所

設計

照査

設計

照査

網走市

工事名称

史跡最寄貝塚
ガイダンス施設新築工事

図面名

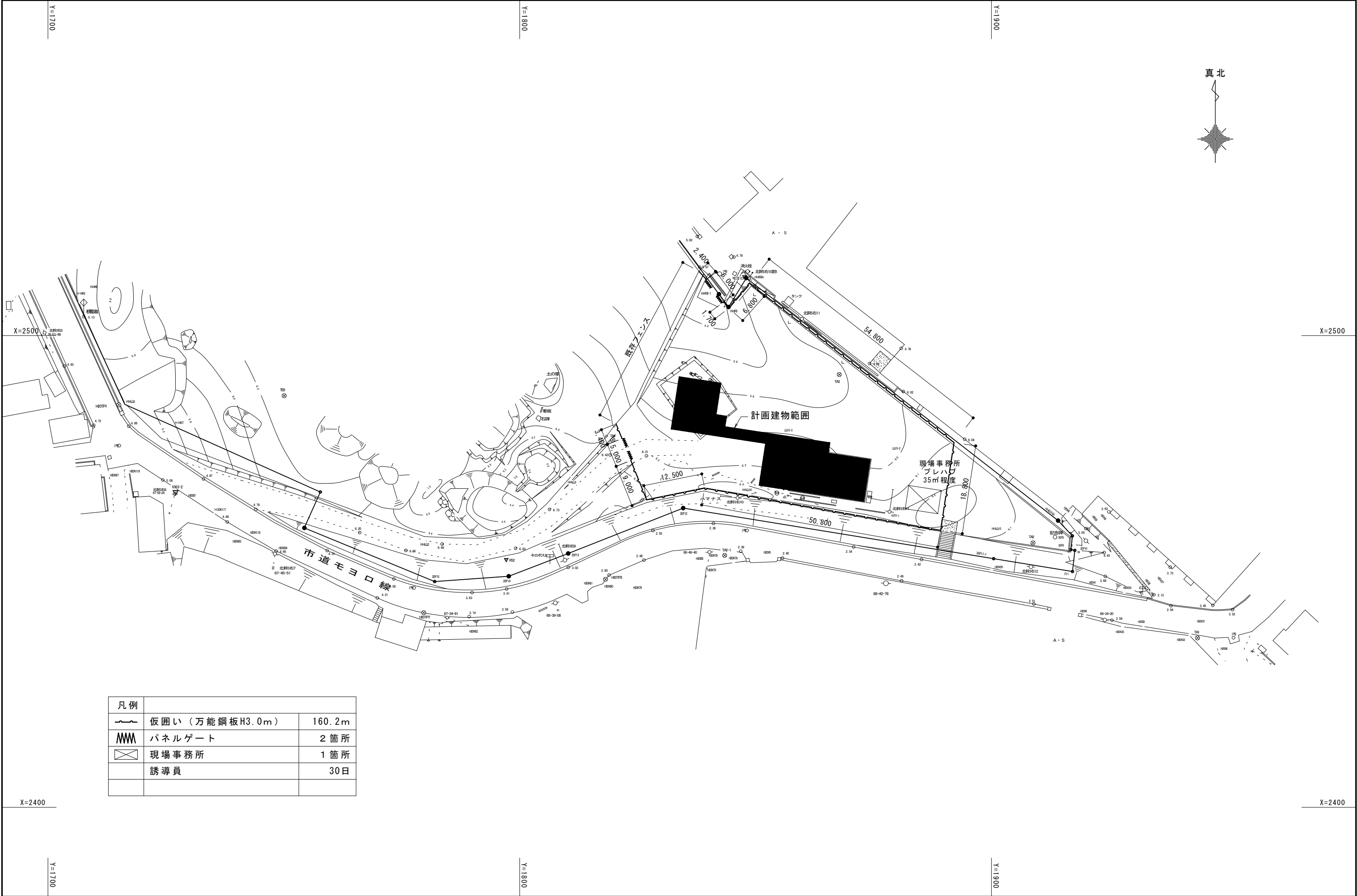
各部詳細図 (21)

縮尺

1/20

図面番号

75 / A



凡 例		
	仮 囲 い（万能鋼板H3.0m）	160.2m
	パ ネ ル ゲ ー ト	2 箇 所
	現 場 事 務 所	1 箇 所
	誘 導 員	30日

